基本計画書

	基		本		į	計 計	画		
事	項		記		入		欄	備	考
計	画 の 区 分	研究科の専	女の設置						
フ 設	リ ガ ナ 置 者	コクリツタ゛イガ クホウ 国立大学法。							
フ	リ ガ ナ	77/19 /15 /15		/ 1					
大		福井大学大学			School, Univ	ersity of Fuk	zui)		
	学本部の位置	福井県福井市			-	たきわめ 🏻 🌣	は高度の専門性が求め		
大	学 の 目 的		且うための				文化の進展に寄与する		
		【工学研究科】 将来の産業権 力の育成」を引	構造の変遣		可能な科学技術	デイノベーショ	ンの源泉となる「人材		
新	設学部等の目的	現が社会からす を創造し持続す 上に資する研究	にネルギー 食く求めい けるためい に開発と	ーの安定に っれてい こ必要な その教育	的確保や持続可る中, そのよう と会の抱えてい を行い, 持続可	な安全・安心 るリスクの軽 「能な社会の創	域のための社会基盤実で快適・効率的な社会 減や人類の利便性の向 造に必要な技術革新に することを目的とす		
	新設学部等の名称	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	開設時期及 び開設年次	所 在 地		
新設学部等の概要	工学研究科 [Graduate School of Engineering] 安全社会基盤工学専攻 [System and Infrastructure Engineering for Safe and Sustainable Society]	年 人	年次人	人	修士 (工学) [Master of Engineering]	年 月 第 年次 2020年4月 第1年次	福井県福井市文京三 丁目9番1号	【基礎となる学: 工学部 機械・システュ 学科 電気電子情幸 学科 建築・都市環 学科	ムエ
	計	84	_	168					
	設置者内における変更状況 員の移行,名称の変更等)	※2 大学教院機電情建材生物知識原 产生 建氯 阿斯斯 医甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	7 10 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	数 専事工事文文専学文ド 上 文亨 ジード 大 前(専す)では「はいずな」では「はいずな」では「はいずな」では、「はいずな」では、「はいずな」では、「はいずな」では、「はいずな」では、「はいずないでは、」はいいでは、「はいずないでは、「はいずないでは、「はいずないでは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいずないでは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいずないでは、「はいずないでは、」はいは、「はいでは、」はいは、「はいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	停止 学・・ ・ 学・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	[定員增]([廃止]([廃止]([廃止]([廃止]([廃止]([廃止]([廃此]([廃此]([死此](20年4月学生身 (85) (84)	職開発研究科 20) (2020年4月) △32) (2020年4月) △30) (2020年4月) △31) (2020年4月) △28) (2020年4月) △24) (2020年4月) △21) (2020年4月) △18) (2020年4月) △27) (2020年4月) △27) (2020年4月)		

w -t-	親	「設学部等の名称	** **			・目の総数		#	卒美	美要件単(立数]
教育 課程	# ^	工学研究科	講義 84科目	演習	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>実験・実習</u> 9科		97科目			30単位	
	女生	注社会基盤工学専攻 学 部 等	の 夕 称				専任都	教員等			兼任	
教		子 印 寺	の 名		教授人	准教授 人	講師人	助教人	計人	助手人	教員等人	
	新	工学研究科 産業創成工学専巧	な (博士前期課程	로)	18 (18)	20 (20)	1 (1)	1 (1)	40 (40)	0 (0)	39 (39)	2019年4月事前 伺い
		安全社会基盤工学	事 市 / 博 十 前 世	11年12	27 (27)	20 (20)	9 (9)	4 (4)	60 (60)	0 (0)	50 (50)	
	設				31 (31)	23 (23)	3 (3)	5 (5)	62 (62)	0 (0)	33 (33)	2019年4月事前 伺い
員		知識社会基礎工学 国際地域マネジメン 国際地域マネジメ	/ ト研究科	が 球性/	9	7	1	0	17	0	10	2019年3月意見
	分	国际地域マイング	(専門職学位	な課程)	(9) 85	(7) 70	1 14	(0) 10	(17) 179	(0)	(10)	伺い
	Ħ	連合教職開発研究科	計 ((85) 27	(70) 40	(14)	(10)	(179) 75	(0)	(-) 18	
	既	教職開発専攻(専			(27)	(40)	(6)	(2)	(75)	(0)	(18)	
組		医学系研究科 看護学専攻(修士	:課程)		8 (8)	5 (5)	5 (5)	11 (11)	29 (29)	0 (0)	70 (70)	
水丘		医学系研究科 統合先進医学専攻	文(博士課程)		42 (42)	39 (39)	31 (31)	104 (104)	216 (216)	0 (0)	9 (9)	
		工学研究科 総合創成工学専巧	文 (博士後期課程	로)	70 (70)	54 (54)	5 (5)	0 (0)	129 (129)	0 (0)	7 (7)	
		産学官連携本部			2 (2)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	
2.145		附属国際原子力工学	坐研究所		11 (11)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
織		高エネルギー医学研	ff究センター		2 (2)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	
		遠赤外領域開発研究	ピセンター		5 (5)	6 (6)	0 (0)	5 (5)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	
		子どものこころの発	達研究センター	-	2 (2)	2 (2)	1 (1)	6 (6)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	
	設	繊維・マテリアル研	T究センター		1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
の		ライフサイエンス支	で援センター		0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	
		ライフサイエンスイ	'ノベーションt	ニンター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0	0 (0)	
		アドミッションセン	/ター		1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
-tenr		語学センター			0 (0)	3 (3)	2 (2)	4 (4)	9 (9)	0	0 (0)	
概		国際センター			1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
		テニュアトラック推	É進本部		0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
		保健管理センター			1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4 (4)	0	0 (0)	
	分		計		174 (174)	160 (160)	55 (55)	136 (136)	525 (525)	0 (0)	(-)	
要		合	計		259 (259)	230 (230)	69 (69)	146 (146)	704 (704)	0 (0)	(-)	
		職	種		専	任		兼任		計		
教員		事 務	職	員		283 283)		332 (332)		615 (615	5	
以外の	-		職	員	1	, 132 , 132)		185 (185)		1, 31	17	
職員	ı	図 書 館 専	門 職	員		5 (5)		(185) 5 (5)		10 (10	1	
の概		そ の 他	の 職	員		17		17		34		
要		計			1	(17) , 437		(17) 539		1, 97	76	
		н			(1	, 437)		(539)		(1, 97	(b)	

校			F /			±		11.			共	用する	が他の	1	3 1	1
□ 型	校		区 分			専	用	共	用						計	_
中 計 361,924㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 361,924㎡ 2 0㎡ 2 0㎡ 181,060㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 181,050㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 181,050㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0㎡ 0													C	m²		-
空 で	地													_		_
安全 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日														_		⊣
枝	等						,							_		4
大学		台	□	t		54	l2, 984 m			0 m²	-11-	田十万		mi	542, 984 n	Î
138, 466ml 10ml 138, 166ml 138, 16						専	用	共	用						計	
新産室		ŧ	交 舎			13	88, 456 m²			0 m^2			0	m²	138, 456 n	î
## 第二					(138,	456 m²)	(0 m^2	(0	m²) (138, 456 m²)
1日 1日 1日 1日 1日 1日 1日 1		_	講義室			演習	室	実験	実習望	Ē	情報	処理学	全習施	设 語		
□ 中 任 教 員 研 完 室	教	室等		71室			99室		2	426室						大学全体
専任教員研究室 工学研究科安全社会基礎工学専攻 60 室 新設学部等の名称 (5.5 外国業) 第子文平一ナル 規應度資料機械・器具 標本 (5.5 外国業) (5.5 外国業) (2.7 00 194 560) 15,590 [1,490] 5,700 6,000 1 特定不能之产业、分、大学全体/特定不能之产业、分、大学全体/特定不能之产业、分、大学全体/特定不能之产业、企业会主会基準工学等政制、企业会主会基準工学等政制、企业会主会基準工学等政制、企业会主会基本企工学等政制、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会工工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学学生、企业会主会基本企工学等公司、企业会主会基本企工学学生、企业会主会基本企工学学生、企业会主会基本企工学学生、企业会主会基本企业会主会工学、企业会主会基本企业学生、企业会主会工学、企业会主会主会企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学、企业会主会工学企业会主会工作企业会工作企业会主会工作企业会主会工作企业会主会工作企业会工作企业会工作企业会工作企业会工作企业会工作企业会工作企业会工作企业								tele – te vi			(補.	助職員			力職員 3人)	
図書	専	任義	汝 員 研 究	室						T/r			至	数	co 🕏	4
日本語									上子导	攻					60 至	
図書・		新設	学部等の名称						電子	ジャー	ナル	視聴覚	覚資料	機械・器	具 標本	
- 工学研究科 変 女全社会基盤工学専攻 (66.3.11 [50.333) (32.516 [19.303) (16.541 [1.032) (5.436) (5.593) (1) か (5.456 [25.306) (5.436) (5.593) (1) か (5.456 [25.306] (5.436) (5.593) (1) か (5.456 [25.306] (5.436) (5.593) (1) か (5.436) (1) か (5.436) (1) か (5.436) (1) か (5.436) (1						₩			〔う゛	ち外国	[書]		点		点点	
世 学生が発露は上学呼収 (203,311 (201,332) (21,216 (19,306) (15,346 (14,002) (5,436) (5,893) (1) か。大学全体の				677, 450	[20	3, 350)	32, 700 [19	9, 450]	15, 500	(1, 40	00]			6, 0	00	
計 (85,311 (291,331) (32,400 [19,450] 15,500 [1,400] 57(70 [5,901] 1 (5,500 [1,400] 57(70 [5,901] 1 (5,500] 1 (5,50		安全社:	会基盤工学専攻									(5,	436)	(5,893) (1)	め、大学全体の
図書館 面積 展覧座席数 収 納 可 能 冊 数 788,333 大学全体 本育館	VIII		計				, ,		,	- /	-					1
図書館				(663, 3	11 [2		(32, 516 [19, 308])		- '		(5,	<u> </u>			
体育館		义	書館			面槓	0.650	2	阅	見坐席	一致	007	収	納 미		2
体育館						而瘄	8, 653	m		休杏鱼	つけん		ピー <i>ハ</i>	施設の概		大学全体
区 分 開設前年度 第1年次 第2年次 第3年次 第3年次 第5年次 第6年次 第6年次 2 回 所 究 費 等		体	育館			山竹	3 929	m² 层外Ŧ	求技コ					心収り	女	†
経費 の見 積 り 積 り 積 り 積 り 積 り 積 り 積 り 積 り 積 り 積			区分		開計	设前年度		_						第5年》	第6年次	
経費 の 月 積 り 複 り 複 り 複 方 費		∳⊽ #	#4 E 1 1 V 10 TT		_			7,1			-	7,1				1
 見積り 積り 及び株方法の 概要 学生1人当り 納付金 学生3内付金以外の維持方法の概要 大学の名称 福井大学 第2年次第3年次第3年次第3年次第6年次第6年次第6年次第6年次第6年次第6年次第6年次第十十年中一十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	経 費			費等	/	$\overline{}$	_		_		_		_	_	_	†
接	見積	り 積り	図書購	入費		_	_		_		_		_		_	■ 国費(運営費交
の概要 学生1人当り 納付金 第1年次 第2年次 第3年次 第4年次 第5年次 第6年次 大学の名称 福井大学学の名称 福井大学学の名称 一千円 一十月 一十月 <t< td=""><td></td><td></td><td>設備購</td><td>入費</td><td></td><td>_</td><td>_</td><td></td><td>_</td><td></td><td>_</td><td></td><td>_</td><td>_</td><td>_</td><td></td></t<>			設備購	入費		_	_		_		_		_	_	_	
学生納付金以外の維持方法の概要 - 大 学 の 名 称 福 井 大 学 学 部 等 の 名 称 修業		तार्च	学生1人当り	第1	年	次	第2年次	第	3年次		第4年	F次	第	5 年次	第6年次	1
大学の名称 福井大学 学部等の名称 福井大学 学部等の名称 年限 大学 展長 定員 定員 は称号 超過率 年度 所在 地 定員 は称号 超過率 年度 定員 は称号 超過率 年度 原子 定員 は称号 超過率 年度 原子 企員 によれ また により を定員 は称号 を定員 は称号 を定員 によれ また により を定します。			納付金	-	-	千円	- 千	円 -	- 千	円	_	千円	-	- 千円	- 千四	3
学部等の名称修業		A	学生納付金以外の	り維持ス	方法	の概要						_				
大学部 マンター 本田 定員 定員 定員 定員 に に に に に で に に に に		大 学	さ の 名		-											
大学等の状況 1.03 平成28年度上的学部名称変更 1.03 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学部名称変更 平成28年度上的学生多集停止 平成28年度上的省末 1.01 日本		学 部	等 の 名												在 地	
教育学部 学校教育課程 4 100 一 400 学士(教育学) 1.03 福井県福井市文京 三丁目9番1号 学部名称変更 学士 学士 学士 学士 学士 学士 学士 学		【学並】							10.	11.5			10			1
大学 学校教育課程 4 100 一 400 学士(教育学) 1.03 平成28年度 学部名称変更 学校教育課程 4 一 一 学士(教育学) 一 平成28年度より 学生募集停止 平成28年度より 学生募集停止 平成28年度より 学生募集停止 平成28年度より 学生募集停止 平成28年度より 学生募集停止 平成28年度より 学生募集停止 平成27年度より 第一次							人							短 + 1 1	ケード・ファ	亚出99年度上10
数育地域科学部 学校教育課程 4		教育学	部									1.03				
数育地域科学部 学校教育課程 4		学校	教育課程		4	100	_	400	学士	教育学)	1.03	平成28年	F度		
数育地域科学部 学校教育課程 4	HIT:			+												
大学 学校教育課程 4 - - 学士(教育学) 学士(地域科学) - 平成28年度より学生募集停止平成28年度より学生募集停止平成28年度より学生募集停止平成28年度より学生募集停止平成28年度より学生募集停止平成28年度より学生募集停止 状況 医学部 1.01 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地 医学科 6 110 5 685 学士(医学) 1.00 昭和55年度町松岡下合月23号3番地 石護学科 4 60 - 240 学士(看護学) 1.03 平成9年度 福井県福井市文京三丁目9番1号 工学部 機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度	設	教育地域	域科学部									_				
等の 状況 地域科学課程 4 - - - 学生募集停止 医学部 医学科 看護学科 6 110 5 685 学士(医学) 1.00 昭和55年度 平成27年度より 第一人学廃止 3番地 工学部 機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度 平成27年度より 第一人学廃止 福井県福井市文京 三丁目9番1号	大	学校	教育課程		4	_	_	_	学士	(教育学)	_	平成11年		о ш т у	
(ア) 状況 医学部 (医学部 (医学科 6 110 5 685 学士(医学) 1.00 昭和55年度 (福井県吉田郡永平寺 町松岡下合月 2 3号 3番地 (平成27年度より 編入学廃止 (報酬・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度 (福井県福井市文京 三丁目 9番 1 号 (本村) (本村) (本村) (本村) (本村) (本村) (本村) (本村)	等	地域	科学課程		4	_	_	_				_	平成20年	F度		平成28年度より
 次 医学部 医学科 看護学科 4 60 7 240 学士(医学) 1.00 昭和55年度 平成9年度 平成9年度 平成27年度より編入学廃止 工学部 機械・システム工学科 4 155 475 学士(工学) 1.01 平成28年度 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号 3番地 平成27年度より編入学廃止 福井県福井市文京三丁目9番1号 三丁目9番1号 									(202	災(口丁)						于工券采行业
医学科 6 110 5 685 学士(医学) 1.00 昭和55年度 3番地 看護学科 4 60 - 240 学士(看護学) 1.03 平成9年度 平成27年度より編入学廃止 工学部 3年次 1.02 二丁目9番1号 機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度		医学部										1 01				
看護学科 4 60 - 240 学士(看護学) 1.03 平成9年度 平成27年度より 編入学廃止 工学部 機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度			EI.		6	110		GOE	兴工	- (匠学)			R77∉ncr4			
有護子科 4 60 - 240 学士(看護学) 1.03 平成9年度 編入学廃止 工学部 機械・システム工学科 3年次 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度 福井県福井市文京 三丁目9番1号							б									平成27年度より
一機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度		有護	子科		4	60	_	240	字士	有護学	'	1.03	平成9年	- 度		
一機械・システム工学科 4 155 10 475 学士(工学) 1.01 平成28年度		xx			7						T	1 00		福士 但	福井市文市	
				st										三丁目		
				4												
電気電子情報工学科 4 125 20 395 学士(工学) 1.02 平成28年度		電気管	電子情報工学科		4	125	20	395	学士	:(工学)		1.02	平成28年	F度		1

建築・都市環境工学科 60 10 190 学士(工学) 1.05 平成28年度 物質・生命化学科 135 学士(工学) 平成28年度 4 405 1.03 応用物理学科 50 150 学十(丁学) 1 05 平成28年度 4 平成28年度より 機械工学科 4 学士(工学) 平成11年度 学生募集停止 平成28年度より 電気・電子工学科 4 学士(工学) 平成11年度 学生募集停止 平成28年度より 情報・メディア工学科 4 学士(工学) 平成11年度 学生募集停止 平成28年度より 学士(工学) 平成11年度 建築建設工学科 4 学生募集停止 平成28年度より 材料開発工学科 学士(工学) 平成11年度 4 学生募集停止 平成28年度より 生物応用化学科 学士(工学) 平成11年度 学生募集停止 平成28年度より 平成11年度 物理工学科 学士(工学) 学生募集停止 平成28年度より 知能システム工学科 学士(工学) 平成11年度 4 学生募集停止 福井県福井市文京 国際地域学部 1.05 三丁目9番1号 国際地域学科 4 60 240 1.05 平成28年度 【大学院】 福井県福井市文京 教育学研究科 三丁目9番1号 平成30年度より入学 学校教育専攻 2 27 修士(教育学) 0.82 平成20年度 定員変更(30→27) (修士課程) 福井県福井市文京 福井大学・奈良女子大 学・岐阜聖徳学園大学連 三丁目9番1号 合教職開発研究科 既 教職修士 教職開発専攻 2 40 80 0.84 平成30年度 設 (専門職) 大 (教職大学院の課程) 学 等 の 福井県吉田郡永平寺 医学系研究科 町松岡下合月23号 状 看護学専攻 2 12 修士(看護学) 0.83 平成13年度 24 3番地 況 (修士課程) 統合先進医学専攻 博士(医学) 0.90 平成25年度 25 100 4 (博士課程) 平成25年度より 先端応用医学専攻 博士(医学) 平成20年度 4 学生募集停止 (博士課程) 福井県福井市文京 工学研究科 三丁目9番1号 機械工学専攻 修士(工学) 1.32 平成15年度 2 32 64 (博士前期課程) 電気・電子工学専攻 平成15年度 2 30 60 修士(工学) 0.98 (博士前期課程) 情報・メディア工学専攻 2 31 62 修士(工学) 1.09 平成15年度 (博士前期課程) 建築建設工学専攻 2 28 56 修士(工学) 0.94 平成15年度 (博士前期課程) 材料開発工学専攻 修士(工学) 平成15年度 2 24 48 1.20 (博士前期課程) 2 生物応用化学専攻 21 平成15年度 42 修士(工学) 1.23 (博士前期課程) 物理工学専攻 修士(工学) 平成15年度 2 18 36 1.05 (博士前期課程) 知能システム工学専攻 2 2.7 修士(工学) 平成15年度 54 1.07 (博士前期課程) 繊維先端工学専攻 15 修士(工学) 1.83 平成25年度 2 30 (博士前期課程)

既設大	原子力・エネルギー 安全工学専攻 (博士前期課程)	2	27	-	54	修士(工学)	0.75	平成16年度	
八学 等の	総合創成工学専攻 (博士後期課程)	3	22	_	66	博士(工学)	0. 92	平成25年度	
状況	システム設計工学専攻 (博士後期課程)	3	-	_		博士(工学)	_	平成5年度	平成25年度より 学生募集停止
	C)医学部 目	附属病院 的:診		て医学の)教育及び研究	の向上を	図る。	

所 在 地:吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

設置年月:昭和58年4月1日

規 模 等:71,684m2

○教育学部附属幼稚園·義務教育学校

的: 幼児の保育, 児童・生徒の教育を実施し, 保育又は教育の理論及び

実践に関する研究に寄与するとともに、教育学部学生の教育実習の

実施に当たることを目的とする。 所 在 地:福井市二の宮4丁目45番1号

設置年月: 〔幼稚園〕昭和42年6月1日, 〔義務教育学校〕平成29年4月1日

規 模 等:11,726m²

○教育学部附属特別支援学校

的:知的障害児が、その障害に基づく生活上の困難を改善・克服し、可能

な限り社会参加ができるような生活態度と能力を育成することを目的

所 在 地:福井市八ツ島町1字3

設置年月:昭和46年4月1日

規 模 等:4,642m²

○産学官連携本部

的:地域企業に「技術開発」と「人材育成」に関するソリューションを

提供し、その連携を通じて大学における多様かつ持続的な「知」の創出に貢献する。

所 在 地:福井市文京三丁目9番1号

設置年月:平成19年11月1日

規模等:3,556m2

附属施設の概要

○附属国際原子力工学研究所

的:世界トップレベルの特色ある原子力人材育成及び研究開発を行い,

環境と調和した持続的なエネルギー供給基盤を持つ世界の構築に

貢献することを目的とする。

所 在 地:敦賀市鉄輪町1丁目3番33号 設置年月:平成21年4月1日

規 模 等:6,997m2 (借地)

○高エネルギー医学研究センター

目 的:放射線医学研究を通じて,原子力の平和利用と未来への扉をたたく, 高度先端医療技術推進水準の向上を目的とする。

所 在 地:吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

設置年月:平成6年5月20日

規 模 等:1,236m²

○遠赤外領域開発研究センター

的:独自に開発した高出力遠赤外光源「ジャイロトロン」をさらに高度化する研究開発とともに、高出力遠赤外光源を用いて初めて可能になる遠赤外領域の先進的・先導的研究の実践を目的とする。

所 在 地:福井市文京三丁目9番1号 設置年月:平成11年4月1日

規模等: 2,629m2

○保健管理センター

的:大学における保健管理に関する専門的業務を一体的に行い,学生

及び教職員の心身の健康の保持増進を図る。

所 在 地:福井市文京三丁目9番1号

設置年月:昭和47年4月1日

規 模 等:354m2

(白 紙 ペ ー ジ)

国立大学法人福井大学 設置申請に関わる組織の移行表

2019年度	大子 定員	定員	定員	2020年度	大子 神八子 定員 定員	定員	変更の事由

	疋貝	疋貝	疋貝
福井大学			
教育学部 学校教育課程	100	-	400
医学部	:	2年次	
医学科	110	5	685
 看護学科	60	_	240
工学部		3年次	
機械・システム工学科	155	10	640
電気電子情報工学科	125	20	
建築·都市環境工学科	60	10	260
物質•生命化学科	135	-	540
応用物理学科 	50	-	200
 国際地域学部			
国際地域学科	60	-	240
	:	2年次	
計	855	5 3年次	3,745
		40	•
福井大学大学院			
│ │ 教育学研究科			
学校教育専攻(M)	27	-	54
福井大学·奈良女子大学·岐阜	聖徳学	包園大学	連合
教職開発研究科			
教職開発専攻(P)	40	-	80
 医学系研究科			
看護学専攻(M)	12	_	24
統合先進医学専攻(D)	25	_	100
			100
工学研究科			
機械工学専攻(M)	32	-	64
電気·電子工学専攻(M)	30	-	60
情報・メディア工学専攻(M)	31	-	62
建築建設工学専攻(M)	28	-	56
材料開発工学専攻(M)	24	-	48
生物応用化学専攻(M)	21	-	42
物理工学専攻(M)	18	-	36
知能システム工学専攻(M)	27	-	54
繊維先端工学専攻(M)	15	-	30
原子力・エネルギー 安全工学専攻(M)	27	-	54
女王工子导攻(M)			
An A Aul B W	_		_
総合創成工学専攻(D)	22	-	66
計	379	-	830

2020年度	定員	定員	定員	変更の争出
福井大学				
】 教育学部				
学校教育課程	100	-	400	
 医学部				
		2年次	225	
医学科	110	5	685	
看護学科	60	-	240	
工学部		3年次		
機械・システム工学科 電気電子情報工学科	155 125	10 20	640 540	
・ ・	60	10		
物質・生命化学科	135		540	
応用物理学科	50	-	200	
国際地域学部				
国際地域学科	60	-	240	
計	855	2年次 5 .	3,745	
п	000 (3年次 7	3,743	
 福井大学大学院				
恒并入于入于阮 				
	0		0	2000年4日尚先苗集庐山
	<u>0</u>	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
福井大学・奈良女子大学・岐阜	聖徳学	園大学	連合	
教職開発研究科 教職開発専攻(P)	60	_	120	定員変更(20)
	<u>00</u>		120	KRXX (20)
医学系研究科 看護学専攻(M)	12		24	
有護字等以(M) 統合先進医学専攻(D)	25	-		
て 巻 皿 売 利				
工学研究科 	0	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
	0	-	0	2020年4月学生募集停止
	0	-	0	2020年4月学生募集停止
	<u>0</u>	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止 2020年4月学生募集停止
	<u>0</u> 0	-	<u>0</u> 0	2020年4月学生募集停止
	0	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
	0	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
	<u>0</u>	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
	<u>0</u>	-	<u>0</u>	2020年4月学生募集停止
<u>産業創成工学専攻(M)</u>	<u>85</u>	-	<u>170</u>	研究科の専攻の設置 (事前伺い)
<u>安全社会基盤</u> <u>工学専攻(M)</u>	<u>84</u>	-	<u>168</u>	研究科の専攻の設置 (事前伺い)
<u>知識社会基礎</u> 工学専攻(M)	<u>84</u>	-	<u>168</u>	研究科の専攻の設置 (事前伺い)
総合創成工学専攻(D)	22	-	66	· ·
国際地域マネジメント研究科				研究科(専門職大学院)の
国際地域マネジメント専攻(P)	7	_	14	設置(意見伺い)
計	379	-	830	

(自 紙 ペ ー ジ)

(-	丁学	研究	·科安全社会基盤工学専攻)	教育	課	: 程	₹ :	等	の	概	要	<u>.</u>					
(-		ת ועני	(村女王社云本监工于寺以)		,	単位数	ά	授	業形!	態]	専任参	女員等	の配置	<u>.</u>		
	科目区分		授業科目の名称	配当年次	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		備考
			科学英語コミュニケーション I	1前	1			0		н						兼3	共同
	共	外	科学英語コミュニケーションⅡ	1後	1			0								兼2	共同
	共通科目	PD	科学英語表現 I	2前		1		0								兼1	
	A 群	科日	科学英語表現Ⅱ	2後		1		0								兼3	共同
	44		科学英語特別講義	2前		2		0								兼2	共同
		シイ	大学院海外短期インターンシップI	1~2前後		1				0	1						
共		ツンプタ	大学院海外短期インターンシップⅡ	1~2前後		2				0	1						
通		科ト	長期インターンシップ	1~2前後		4				0	1						
科	共		PBL I	1~2前後		2				0		1					
目	通科目	IB ."	PBL II	1~2前後		4				0		1					
	B 群	生	生命複合科学特論 I	1前		2		0				1				兼14	オムニバス方式
	44	日科	生命複合科学特論Ⅱ	1後		2		0			1					兼14	オムニバス方式
		留	工業日本語特論 I	1前		2		0								兼1	
		科学目生向	工業日本語特論Ⅱ	1後		2		0								兼1	
			小計 (14科目)	_	2	25	0		_	l	3	1	0	0	0	兼33	_
			安全社会基盤工学特別演習及び実験 I	1前	4				0		24	18	5	1			共同
			安全社会基盤工学特別演習及び実験Ⅱ	1後	4				0		24	18	5	1			共同
	専		安全社会基盤工学特別講義I	1前		2		0			1						集中
	攻共通		安全社会基盤工学特別講義Ⅱ	1後		2		0			1						集中
	科目		安全社会基盤工学ゼミナールI	1通		2			0		24	18	5	1			共同
	н		安全社会基盤工学ゼミナールⅡ	2通		2			0		24	18	5	1			共同
			小計 (6科目)	_	8	8	0		_	l	24	18	5	1	0		_
			社会インフラ概論	1前		2		0			3	9	2	1			オムニバス方式
			量子エネルギー応用論	1前		2		0								兼14	オムニバス方式
			半導体デバイス	1後		2		0			1						
			電子物性特論	1前		2		0			1						
			システム工学特論	1前		2		0				1					
			信号処理特論	1前		2		0				1					
専		社 会	計算科学	1前		2		0				1					
攻	-	エイン	計算機工学特論	1後		2		0						1			
科	1	ンフラ	建築弾塑性力学	1前		2		0				1					
目	7		建築都市計画特論	1前		2		0				1					
群		群	都市論	1前		2		0				1					
			都市計画特論	1後		2		0			1						
			土木構造特論	1前		2		0				1					
			構造材料学	1前		2		0					1				
			日本建築史特論	1後		2		0					1				
			建築計画学特論	1前		2		0				1					
			建築インターンシップ	1~2前後		4		<u> </u>		0			1				

		エネルギー概論	1後	2	0		4	4	1	1		オムニバス方式
		エネルギー輸送	1後	2	0		1					
		数值流体力学	1前	2	0			1				
		燃燒工学	1後	2	0			1				
		統計力学	1前	2	0				1			
		エネルギー工学特論	1前	2	0		1					
		パワーエレクトロニクス特論	1後	2	0			1				
		電力システム	1前	2	0					1		
		熱事象・エネルギーシステム	1後	2	0		1					
		原子炉システム基礎I	1前	2	0		4	1				オムニバス方式
	エネ	原子炉システム基礎Ⅱ	1後	2	0		4	1				オムニバス方式
	ルギー	核燃料サイクル実習	1後	2		0		1				
	- 科 目	原子炉実習	2前	2		0		1	1			共同
	群	原子炉物理学	1後	2	0			1				
		次世代炉システム	1前	2	0			1			兼1	オムニバス方式
		熱水力安全工学	1後	2	0		1					オムニバス方式
		原子力材料学特論	1後	2	0		1					
		核燃料工学特論	1後	2	0		2					オムニバス方式
		プラント安全工学基礎 I	1前	2	0		1	2				オムニバス方式
		プラント安全工学基礎Ⅱ	1後	2	0		1	1				オムニバス方式
専		原子力の安全性と地域共生	1前	2	0		2	1				集中,オムニバス方式
攻		原子力プラント設計工学	1前	2	0		1					
科		原子力プラント保全工学	1後	2	0						兼2	オムニバス方式
目		リスクマネージメント概論	1前	2	0		5	3	1			オムニバス方式
群		安全安心の熱流体工学	1後	2	0			1				
		地震工学特論	1前	2	0		1					
		国土・地域計画特論	1前	2	0					1		
	IJ	原子力・エネルギー法規	1前	2	0		1					
	ッスク	原子力規制	1後	2	0		1					
	ママネ	放射線基礎 I	1前	2	0		1					
	ー ジ	放射線基礎Ⅱ	1後	2	0		2		1			オムニバス方式
	メン	放射化学特論	1前	2	0		1					
	ト 科	放射線化学・生物学特論	1後	2	0		1		1			オムニバス方式
	目群	原子力防災特論	1前	2	0		1	1				オムニバス方式
		放射線物理学・計測学	1前	2	0		1		1			オムニバス方式
		放射線利用	1前	2	0		3		1			オムニバス方式
		リスク評価特論	1後	2	0			1				
		廃止措置・廃棄物管理工学	1後	2	0			1				
		原子力・耐震耐津波工学特論	1前	2	0			1				
		安全設計概論	1後	2	0		7	2	4	1		オムニバス方式
	安 全	計算機援用制御系設計	1前	2	0			1				
	設 計	機械システム工学	1前	2	0		1					
	科 目	機械動力学	1後	2	0				1			
	群	破壊力学	1前	2	0		1					
		破壊力学実習	1後	2		0	1					
		ロボット工学	1後	2	0			1				

1 1		回路・システ	ム論	1後	[2		0	ĺ			1				1	
		システム制御	1104	1前		2		0			1	•					
		暗号と情報セ		1後		2		0			1						
		構造振動解析	(-) / -	1前		2		0			1						
		建築構造設計	学	1後		2		0			1						
専	#			1後		2											
攻	安全	建築耐震構造						0			1						
科	設計	建築都市設計	話館	1前		2		0					1				
目	科目	地盤解析学		1前		2		0					1				
群	群	環境水理学		1後		2		0						1			
		交通論		1後		2		0			1						
		建築換気力学		1前		2		0					1				
		光環境工学特	論	1後		2		0			1						
		原子力工学基	礎 I	1前		2		0			5		2				オムニバス方式
		原子力工学基	礎Ⅱ	1後		2		0			2						オムニバス方式
		小計(77科目))	_	0	156	0		_		24	19	9	4	0	兼16	_
		(研究指導)		_		_			_		24	17	5	1	0		
		小計		_		_			_		24	17	5	1	0		
		合計 ((97科目)	_	10	189	0		-		27	20	9	4	0	兼50	_
	学位	又は称号	修士 (工学)		学	や位又に	は学科	の分類	野						工学	/関係	
		修	了 要 件 及 び 履	修方法	去									授	業期	間等	
	了要件 該課程		E学し,次の条件を満たす。	ように合計	-30単	位以_	上を値		1	学年	の学丼	朝区を	4				2 学期
得し	·, かつ), 必要な研究	E指導を受けた上で,修士 が最終試験に合格しなけれ	倫文又は特	定の	課題	こつい	`	1	学期の	の授美	集期 [fl .				15週
		「究科共通科目		a.a. 9.a.v	0				1	時限の	の授美	集時 間					90分
1)			 科学英語コミュニケーシ 科学英語コミュニケーシ														
	自専攻	r科目															
1 /																	
	必修		安全社会基盤工学特別演習 安全社会基盤工学特別演習	図及び実験 図及び実験	iΙ,												
口口		科目8単位:	安全社会基盤工学特別演 安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目 14単位	習及び実験 12単位,	[Ⅱ 及び												
3)	· 選択 1)及	:科目8単位: : :科目14単位: : :び2)で修得	安全社会基盤工学特別演習 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目科	習及び実験 12単位, 詳から合わ	[Ⅱ 及び oせて	6 単位	立の計	+									
3)	· 選択 1)及	:科目8単位: : :科目14単位: : :び2)で修得	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目和 14単位 よりた単位以外に、工学研究	習及び実験 12単位, 詳から合わ	[Ⅱ 及び oせて	6 単位	立の計	+									
3)	選択 1)及 他専攻 修方法	科目8単位:科目14単位:び2)で修復科目(必修り	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目 14単位 身した単位以外に,工学研究 人外)から6単位以上	習及び実験 れ2単位, 详から合わ 究科共通科	[Ⅱ 及びて 目,	6 単位	立の言 牧科目	+									
3) [優各修	: 選択 1)専 方 で 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を 1)を	手科目8単位: 2科目14単位: 2び2)で修作 2科目(必修り 3 3の学生は、自 3と。	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目 14単位 よした単位以外に,工学研究 よ外)から6単位以上	習及び実験 12単位, 2単位, 2 2 2 2 3 4 4 4 4 4 7 4 7 4 7 4 7 1 7 1 7 1 7 1 7		6 単位 自専項 2 単位	立の言 文科目 立を履	十]									
3) [・ ・ ・ ・	選 1) 1) 4 6 6 7 7 7 7 8 7 7 8 7 7 7 8 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	刊 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目 14単位 小と単位以外に、工学研究 人外)から6単位以上 日専攻の4つの科目群から か学生は、安全設計科目群 は16単位を履修すること。	習及び実験 12単位, だから合わ	Ⅲ 及せ 目 科 一科	6 単位 自専事 2 単位 目群 ⁶	立の言 文科 E 立を 配 立 2 和	十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
3) [・・・・	選 1) 専 が が が が が が が が が が が が が	刊 8 単位: 2 科 目 14 単位: 2 び 2) で修作 2 (7 2) で修作 2 (7 2) で修作 2 (7 2) で修作 3 (7 2) で修作 3 (7 2) で	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目 14単位 身した単位以外に,工学研究 人外)から6単位以上 ま専攻の4つの科目群からる の学生は,安全設計科目群。	習及び実験 1 2 単 1 2 単 2 か 3 で 4 本 4 本 4 本 4 本 4 ト 1 1 キ 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も 4 も	Ⅲ 及せ 目 科 一科	6 単位 自専事 2 単位 目群 ⁶	立の言 文科 E 立を 配 立 2 和	十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
3 [・・・・・ 優各修機目電群建	選 1 他 修立する設計を 2 を 注 を 2 を 注 を 2 を 注 を 2 を 2 を 2 を 2	新日8単位: 2科目14単位: 2科目14単位: で2 で2 で2 で2 で3 で4 で4 で4 で4 で5 で6 で6 で6 で6 で6 で7 で7 で7 で7 で7 で7 で7 で7 で7 で7	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目和 14単位 引した単位以外に,工学研究 以外)から6単位以上 日専攻の4つの科目群から の学生は,安全設計科目群、 計目6単位を履修すると。 ラスの学生は,エネルギー系 ではて3科目6単位を履修 コスの学生は,社会インフェースの学生は,社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの学生は、社会インフェースの受力を対している。	習va で で で で で で で で で で	Ⅲ及せ目,科一人会	6単位自専事2単位目群の	立の計 文科目 立を配 アンス ライ アンス ライ アンス	十 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
3 [・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選 1他 修って被群気の築とり、子 大	 科目8単位: 2科目14単位: で2(2) (び2) (び2) (び2) (び2) (び3) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目表 14単位 より、から6単位以上 ま事攻の4つの科目群からる がから6単位以上 ま事攻の4つの科目群からる が学生は、安全設計科目群らる が学生は、をを設けること。 では、第1日の学生は、本ネルギーを では、3科目6単位ををレンギーを では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、単位ををして、 では、リスクマネージ	習 2 2 3 3 4 4 5 6 7 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6単位自専事2単位目群のプラー計利	立の科目をなる。	十 員, 量 斗 目 羊									
3 [・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選 1他 修って被群気の築とり、子 大	 科目8単位: 2科目14単位: で2(2) (び2) (び2) (び2) (び2) (び3) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4) (び4	安全社会基盤工学特別演 4つの科目群からそれぞれ 指定する2つの重点科目表 14単位 身した単位以外に,工学研究 人外)から6単位以上 日専攻の4つの科目群からる の学生は,安全設計科目群の から6単位を履修すること。 一スの学生は,エネルア履修 一スの学生は,社会インフランせて3科目6単位を履修する この学生は,社会インフランセて3科目6単位を履修する この学生は,社会インフランセて3科目6単位を履修する	習 2 2 3 3 4 4 5 6 7 7 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		6単位自専事2単位目群のプラー計利	立の科目をなる。	十 員, 量 斗 目 羊									

(白 紙 ペ ー ジ)

()	学部機	教 機械・システムエ学科)	有	課	程	等	0) ;	概	要						
					単位数	数	授	業形	態]	専任参	対員等	の配置	置		
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験・	教	准教	講	助	助		備考
				修	択	由	義	習	実習	授	授	師	教	手		
	科入	大学教育入門セミナー	1前	2			0			8	8	3	1			共同
	目門	小計(1科目)	_	2	0	0		_		8	8	3	1			
		情報処理基礎	1前	2			0			1	8					
		スポーツ健康科学I	1前		2			0							兼5	共同
		スポーツ健康科学Ⅱ	1前	_	2			0							兼4	共同
		英語Ⅰ	1前	1				0							兼18	共同
		英語Ⅱ	1前	1				0							兼18	共同
		英語II 英語IV	1後	1				0							兼18	
		英語 V	1後 2前	1				0							兼18	共同
		英語VI						0							兼18	
		大帝 VI ドイツ語 I	2前 1①	1		1		0							兼18 兼1	共同
		ドイツ語Ⅱ	1(2)			1		0							兼1	
		ドイツ語Ⅲ	13			1		0							兼1	
		ドイツ語W	1(4)			1		0							兼1	
	基	フランス語Ⅰ	1(1)			1		0							兼1	
	礎 教	フランス語Ⅱ	12			1		0							兼1	
	育	フランス語Ⅲ	13			1		0							兼1	
	科	フランス語IV	1(4)			1		O							兼1	
	目	中国語 I	1①			1		O							兼1	
		中国語Ⅱ	12			1		O							兼1	
		中国語Ⅲ	13			1		Ō							兼1	
		中国語IV	1(4)			1		0							兼1	
		日本語A	1前		1			0							兼1	
		日本語B	1後		1		0								兼1	※演習
		日本語C	1前		1			0							兼1	
١,,		日本語D	1後		1			0							兼1	
共通教		日本語E	1前		1			0							兼1	
教		日本語F	1後		1			0							兼1	
育科		日本語G	1前		1		0								兼1	※演習
目		日本語H	1後		1			0							兼1	
		小計 (29科目)	_	8	12	12		_		1	8	0	0	0	兼35	
		<地域コア科目群>														
		ものづくり・産業振興・技術経営分野														
		現代社会とビジネス	1前		2		0								兼1	
		現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ	1後		2		0								兼1	
		科学技術と社会	1前		2		0			1					*	
		衣生活の現状 ロボットの知能と学習	1前		2 2		0			1					兼1	
		進化する繊維の技術	1前		2		0			1	2	1			油に1	オムーバフ
		理化する繊維の技術 現場で役立つ機器分析	1前 1前		2		0			1	1	1			₩1	オムニバス
		半導体の科学	1制		2		0				1				兼1	
		十号体の付子 繊維の世界	1 後 1 後		2		0			1	1	0	1			オムニバス
	共	新素材の世界	1後 1後		2		0			1	2	U	1		飛2	オムニバス
	通 教	地方創生福井モデルの事例研究ー鯖江学ー	1後		2		0			1					兼1	N / / /
	教養	ふくいを知る・見る・考えるⅡ	1後		2		0								兼1	
	科目	持続可能な社会・環境づくり分野														★ 3 4 44
		こども環境学入門	1後		2		0								兼1	※演習
		環境問題と社会	1前		2		0			,	0					#6
		まちづくり論	1前		2		0			1	2	0				共同
		都市と建築の環境 科学技術と環境	1後		2 2		0			1	1 2	2				オムニバス
		科子技術と様児 科学技術と倫理	1前	0	2		0			2	2					オムニバス
		科子技術と偏理 地域の局地気象	1後	2	2		0			1					油仁	※演習
		地域の局地気家 自然史と生物	1前				0								兼1	
		日本海地域の自然と環境	1前		2 2		0								兼1	
		日本海地域の目然と環境 地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	1前 1前		2		0								兼1 兼1	
		地球の環境	1制		2										兼1	
l l		さいか、インボウル	11友		L 4	I	0	l	ı	I	I		l	l	₩1	

	To a contract of the contract										
	福井の経済と経営者	1前	2	0						兼1	
	コミュニティと住民組織	1後	2	0						兼1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\
	地域科学コミュニケーション	1前	2	0							※演習・共同
	これからの地方創生と経営学	1前	2	0							※演習
	ふくいを知る・見る・考える	1前	2	0						兼1	
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	1前	2	0						兼2	オムニバス
	エネルギー科学	1後	2	0		1					
	生活の中の熱とエネルギー	1後	2	0		1					
	熱と流れ	1後	2	0		2					オムニバス
	エネルギーと環境	1後	2	0		1					
	災害の科学	1後	2	0		2	2	2	1		オムニバス
	災害ボランティア論	1後	2	0		1					
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2	0						兼6	集中・オムニバス
	放射線利用-医学と産業-	1前	2	0		1		1			集中・オムニバス
	地域の防災・危機管理	1前	2	0				1		兼2	オムニバス
	<教養教育科目群>										
	人間理解・言語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	1前	2	0						兼0	
	「社会がわかる」とは?	1前	2	0	1					兼1	
1	心を探る(人間関係論)	1前	2	0						兼1	
1	こころの発達と健康	1前	2	0						兼1	
	人間の科学特別演習 A (教育学)	1後	2		0					兼1	
	人間の科学特別演習 B (心理学)	1後	2		0					兼3	
	人間の科学特別演習 C (障害児)	1後	2		0					兼3	
	子どもと学校	1後	2	0						兼1	
	教えることと学ぶこと	1後	2	0						兼1	
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1後	2	0						兼4	
	学問の入り口	1前	2	0						兼1	
	生まれること、産むこと	1前	2	0							
	健康科学・医科学概論	1後	2	0						兼15	オムニバス
	ニュースポーツと健康生活	1前	2	0						兼1	
共	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2		0					兼1	
共通教	健康メディアリテラシー	1後	2		0					兼1	
教	ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際	1後	2	0	_					7	
養科	哲学的人間学 I	1後	2	0						兼1	
目	哲学的人間学Ⅱ	1後	2	0						兼1	
	日本思想	1前	2	0							集中
	宗教と哲学	1前	2	0						兼1	集中
	哲学入門	1前	2	0						兼1	7. 1
	哲学とは何か	1後	2	0							集中
	スピーキングI	1前	2		0					兼1	* 1
	リスニングⅡ	1前	2		0					兼1	
	ライティングI	1前	2		0					兼1	
	ライティングⅡ	1後	2		0					兼1	
	リーディング	1後	2		0					兼1	
	リーティング ヨーロッパの言語事情	1版	2	0	0					兼1	
	多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA) 多文化コミュニケーションB(日本語コミュニケーションB)	1後 1前	2 2		0					兼1 兼1	
	多文化コミュニケーションB(ロ本語コミュニケーションB) 多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前	2 2		0					兼1	
	多文化3、3ユリージョン C (共文化3、3ユリージョン C) 言語生活論	1前	2	0						兼1	
	言語表現	1削 1後	2 2							兼1	
	言語衣現 応用日本語 I		2		0					兼1	
Ī	応用日本語Ⅱ	1前			0						
	応用日本語 II 中国語の世界 1	1後	2		0					兼1	
		1前	2		0					兼1	
	中国語の世界2	1後	2		0					兼1	
	中国語の世界 3	1前	2		0					兼1	
	中国語の世界4	1後	2		0					兼1	
	ドイツ語の世界1	1前	2		0					兼1	
	ドイツ語の世界2	1後	2		0					兼1	
	ドイツ語の世界3	1前	2		0					兼1	
	ドイツ語の世界4	1後	2		0					兼1	
	フランス語の世界1	1前	2		0					兼1	
	フランス語の世界 2	1後	2		0					兼1	
	フランス語の世界3	1前	2		0					兼1	
	フランス語の世界 4	1後	2		0					兼1	
Ī	こころの成長	1前	2	0						兼2	
1	教育の歴史から学ぶ~窓ぎわのトットちゃんと近代の教育~	1後	2	0						兼1	
											集中・オムニバス

	心理学的支援法	1後	2	0					兼1	
	健康管理と食生活	1後	2	0					兼1	
	歴史・文化理解分野									
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前	2	0					兼1	
	東洋史B (近代日本とアジア認識)	1後	2	0					兼1	
	日本史(中世社会の転換)	1後	2	0					兼1	
	日本史(近世社会の展開)	1前	2	0					兼1	
	発展途上国の人間地生態	1前	2	0					兼1	
	地図に見る歴史と景観	1前	2	0					兼1	
	「歴史」のトリビア (歴史文化論から歴史教育まで)	1後	2	0					兼1	
	ラテン語とキリスト教	1前	2	0					兼1	
	アメリカの文化	1後	2	0					兼1	※演習
	フランス文学入門	1前	2	0					兼1	
	フランスの文化A (文学と絵画)	1前	2	0					兼1	隔年
	フランスの文化B(ジャポニスムとその時代)	1後	2	0					兼1	隔年
	ヨーロッパの映画	1後	2	0					兼1	
	ドイツの文化	1前	2	0					兼1	
	中国の文化	1後	2	0					兼1	
	中国のことば			0						
		1前	2						兼1	
	中国の古典文学	1前	2	0					兼1	
	日本語の歴史	1後	2	0					兼1	
	自川文字学	1後	2	0		I			兼1	集中
	日本の文化	1前	2	0					兼1	
	日本事情A(日本語と文化)	1前	2	0					兼1	※演習
	日本事情B(社会と文化)	1後	2	0					兼1	※演習
	近現代の音楽芸術	1前	2	0					兼1	
	合唱の魅力を探る	1前	2		0				兼1	
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後	2	0					兼1	
	ピアノの魅力をさぐる			_						
		1後	2	0					兼1	
	現代音楽入門	1後	2	0					兼1	
	生活と美術ーみる、えがく、つくる	1前	2	0					兼1	
	造形美術の世界-表現世界の多様性	1前	2	0					兼1	
共	造形美術の世界ー絵画	1前	2	0					兼1	
通	考古学入門	1後	2	0					兼1	
教	数学史入門	1後	2	0					兼1	
養科	近現代文化昆虫学	1後	2	O					兼1	
目	モノから読み解く文化財学	1前	2	0				1	7/1/2	集中
	アートと地域コミュニティー	1前	2	0				1	¥-1	
									兼1	
	日本文学の楽しみ	1前	2	0					兼1	
	社会経済・科学技術分野									
	経済学A(金融って何だろう)	1後	2	0					兼1	
	経済学B (現代社会とワークルール)	1前	2	0					兼1	
	経済学C(経済学の基礎理論)	1前	2	0					兼1	
	マネジメント入門	1前	2	0					兼1	
	憲法概論	1前	2	0					兼1	
	日本国憲法	1前	2	0					兼1	
	主権者意識をはぐくむ	1後	2	0					兼1	
	土権有息職をはくい 社会学A(相互行為論入門)		2	0						
		1前		_					兼1	
	社会学B(現代農村の社会学)	1後	2	0					兼1	
	政治学A(現代政治学入門)	1前	2	0					兼1	
	政治学B (戦後日本の政治)	1後	2	0					兼1	
	ジェンダー論	1後	2	0		I			兼1	
	音と振動	1前	2	0		1				
	バイオの世界	1前	2	0		3	2			オムニバス・共同 (一部)
	電子の世界	1前	2	0		1	-			(PP/
	生体機能と化学物質	1後	2	0			4			オムニバス・共同(一部)
				_		1	11			~ ムーハク・共同(一部)
	数値計算の考え方	1前	2	0		1				
	計算機システムの基礎	1前	2	0		1	1			
	コンピュータと情報処理	1前	2	0					兼2	集中
	生体情報工学	1前	2	0			1			
	宮沢賢治と非線形科学	1後	2	0		1				
	ゲームとパズルの数学	1後	2	0					兼1	
	数学の歴史	1後	2	0					兼1	
	数学のことばで理解する物理学			_		,			JK1	
		1後	2	0		1				
	対称性と微分方程式	1前	2	0		1				
	ランダム現象の記述	1後	2	0					兼1	
	物理と微積分	1前	2	0					兼1	
i	科学的な見方・考え方	1後	2		0	I			兼2	※演習・共同
1				0		rii		Ī	兼1	

ı	ı		ヒトの生物学	1後	Ī	2	ı		l	l I	I	I		ı	l	兼1	I
			火山のはなし	1後		2		0								兼1	
共	±	共	宇宙の成り立ち	1後		2		0								AKI	
通		ī.	キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)	1後		2		0								兼1	
(通教育		教	対話と直観と共感で学ぶ物理	1後		2		0								兼1	
育科		養 科	数学的活動	1後		2		0								兼1	
目		目	数と方程式	1前		2		0								兼1	
			産業社会の中のセンサ技術	1後		2		0								兼1	
			小計(164科目)	-	2	326	0	Ŭ	_	1	30	21	8	2	0	兼123	
			微分積分 I	1前	2			0				1	1				
			線形代数 I	1前	2			0			2						
			物理学A(力学)	1前	2			0			1	1					
			微分積分Ⅱ	1後	2			0				2					
			線形代数Ⅱ	1後	2			0			1		1				
			コンピュータ入門	1後	2			0			1						
			コンピュータ演習	2前		1			0		1						
			物理学実験	1後		2				0	1		1				
			応用数学A(微分方程式)	2前	2			0			1	1					
			応用数学B (フーリエ解析)	2前	2			0			1					兼1	
			応用数学C(ベクトル解析)	2前		2		0			1						
			物理学B (電磁気学)	2前	2			0				1	1				
			物理学D(熱・波・光)	2前		2		0				1					
			応用数学D(複素関数論)	2後		2		0								兼1	
		専	応用数学E(確率・統計)	2後		2		0			1		1				
		明 基	応用電磁気学	2後		2		0			1						
	磁	谜	工業日本語I	1前		2		0								兼1	
		科 目	工業日本語Ⅲ	1後		2		0								兼1	
		H	工業日本語Ⅲ	2前		2		0								兼1	
			工業日本語IV	2後		2		0			,					兼1	
			留学基礎英語 学際実験・実習 I	1~4前後		2			0		1						
			学際実験・実習 II	2前		1				0	1	2					
			放射線安全工学	3前 2後		1 2		0			1 2	2	1			兼3	
			知的財産権の基礎知識	3後		2		0				1	1			兼1	
			ベンチャービジネス概論	4前		2		0								兼1	
			フロントランナー	3後		2		0			1					兼1	
			ものづくり基礎工学	1後		2		Ō				1					
専門			インターンシップ	3前		1				0	1						
教			海外短期インターンシップ I	1~4前後		1				0	1						
育			海外短期インターンシップⅡ	1~4前後		2				0	1						
科目			職業指導	4前			2	0								兼1	
			小計 (32科目)	_	18	39	2		_		13	10	5	0	0	兼10	_
			機械・システム工学科概論I	1前	2			0			16	15	6	2		兼8	
			物理化学	1前	2			0				1				兼1	
			機械・システム材料基礎	1前		2		0								兼1	
		1	情報処理演習	1前		1		_	0		_	_				兼1	
		1	人とロボット	1前		2		0			7	6	1			兼1	
			エネルギー環境概論 解析力学	1前	0	2		0			,	,				兼1	
		1	電気工学概論	1後 1後	2	2		0			1 2	1					
		1	先端材料入門	1後		2		0				1					
		*	生物システム入門	1後		2		0				1					
				1後	2			0			16	15	6	2		兼8	
		共	計算機システム	1後		2		0			10	10	,			AKO.	
	専	通科	計測工学基礎	1後		2		0			1	1					
	門		製図・CAD基礎	2前		1		ľ	0		2	1					
	科目	1	ロボットと医療・福祉	2前		2		0	Ĭ			1					
	Н		量子力学	2後		2		0				l -				兼1	
			制御工学 I	2後		2		0			1	1					
			創造演習 I	3前	1				0		4	5	1	1		兼4	
			剧坦俱 白 I		I	2	I	0			1	1					
			制御工学Ⅱ	3前						1	11 .	•					
				3前 3前		2		0			1	1					
			制御工学Ⅱ		1			0	0		3	1 6	2	1		兼8	
			制御工学Ⅱ 数値解析入門	3前 3後 4前	1 2			0	0				2	1 2		兼8 兼8	
			制御工学Ⅱ 数値解析入門 創造演習Ⅲ 科学技術英語 小計(22科目)	3前 3後		28	0		0		3	6			0		_
		п	制御工学Ⅱ 数値解析入門 創造演習Ⅱ 科学技術英語 小計(22科目) 製図基礎	3前 3後 4前 一 1後	12	2	0	0			3 16	6 15	6	2	0	兼8	-
		リス共	制御工学Ⅱ 数値解析入門 創造演習Ⅱ 科学技術英語 小計(22科目) 製図基礎 材料力学Ⅰ	3前 3後 4前 一 1後 2前	2	28 2	0	0			3 16 16	6 15 15	6	2	0	兼8	-
		ース共通な	制御工学Ⅱ 数値解析入門 創造演習Ⅱ 科学技術英語 小計(22科目) 製図基礎	3前 3後 4前 一 1後	12	28	0	0		0	3 16 16	6 15 15	6	2	0	兼8	_

ı		į	材料力学Ⅱ	2後	l	2		0			1 1			ı			
			機械材料	1後		2		0			1					兼 1	
			熱力学 I	2前	2	_		0				1				/IK I	
			流れ学 I	2前	2			0				1					
			機械推論基礎	2前		2		0				1					
			熱力学Ⅱ	2後		2		0			1						
			流れ学Ⅱ	2後		2		0			1						
		コ	機械力学I	2後	2			0			1						
		ース	メカトロニクス	2後		2		0			2						
		共	材料力学Ⅲ	3前		2		0				1					
		通科	流体力学	3前		2		0				1					
		目	伝熱工学	3前		2		0			1						
			機械力学Ⅱ	3前		2		0			1						
			ロボットメカニズム	3前		2		0				1					
			ロボット材料学	3前		2		0				1					
			材料強度学	3後		2		0				1					
			ロボット制御論	3後		2		0				1					
			ロボットと非線形動力学	3後		2		0			1						
			小計 (22科目)	-	8	35	0		_		8	8	0	1	0	兼1	_
1			加工学工	2前	2			0				1					
		機	加工学Ⅱ 機械再表記卦Ⅰ	2後	0	2		0 0			1						
		械工	機械要素設計 I 機械工学実験	2後 3前	2			0		0	1	3	2	1			
		学	機械要素設計Ⅱ	3前	1	2		0			1	J	4	1			
1		コー		3後		2		0			1						
1			エネルギー変換	3後		2		0			1	1					
1		科	流体機械	3後		2		0			1						
		目	生産システム工学	3後		2		0			1						
			小計 (9科目)	_	5	12	0				4	5	2	1	0	0	_
			ロボット工学基礎実験 I	2前	1					0	7	6	1				
			応用電気電子回路	2前		2		0								兼1	
			ディジタル回路	2前		2		0			1						
専			ロボットプログラム I	2前		2		0				1					
門粉	専門		生物とロボット	2前		2		0				1					
教育	科		ロボット工学基礎実験Ⅱ	2後	1					0	7	6	1				
科	目	ボテ	ロボットプログラムⅡ	2後		2		0				1					
目		7	グラフィクスと認知	2後		2		0				1					
		ク	人工知能論	2後		2		0			1						
		スコ	ものづくりを支える科学	2後		2		0				1					
		1	信号処理	3前		2		0				1					
		ス科	ロボットビジョン インテリジェントシステム処理論	3前 3前		2 2		0 0				1					
		-	インテッシェントシステム処理論 自律システム			2		0			1	1					
			生物ロボットの認知・情報処理	3後 3後		2		0			1						
			人とヒューマノイド	3後		2		0			1	1					
			人間情報システム	3後		2		0				1					
1			八回旧報マハテム ブレインマシンインターフェース	3後		2		0				1					
1			小計 (18科目)	-	2	32	0				7	6	1	0	0	兼1	-
			放射化学	2前		2		0								兼1	
			原子炉物理学序論	2前	2			0								兼1	
			核燃料サイクル工学入門	2前	2			0								兼2	
			原子力プラント工学	2後	2			0								兼2	
1		原	放射線の医療応用	2後		2		0				1					
1		子	放射線化学・生物学	2後		2		0								兼1	
		力安	原子炉工学	3前	2			0								兼1	
1		全	原子力安全工学実験 I	3前	1					0	2		1	1		兼4	
1		工	原子力材料学	3前		2		0								兼1	
		学コ	核燃料工学	3前		2		0								兼1	
1		1	リスク評価概論	3前		2		0								兼1	
			原子力安全工学実験 II	3後	1	_				0			1			兼4	
		科目	原子力・耐震耐津波工学	3後		2		0								兼1	
			原子炉制御工学	3後		2		0 0								兼2	
			廃止措置工学 放射線防護工学	3後		2 2		0								兼1	
			原子力防災論	3後 3後		2		0 0								兼2 兼2	
			原士刀防灰繭 小計 (17科目)	31友	10	22	0	J			2	1	2	1	0	兼8	_
1		卒				22	Ŭ								Ŭ		
1		平 業 研	卒業研究	4通	8					0	16	15	6	2		兼8	
1		研究	小計 (1科目)	_	8	0	0				16	15	6	2	0	兼8	_
_																	

教職科目	工業概論 工業科教育法 I 工業科教育法 II 理科教育法 II 理科教育法 III 教育の理念・歴史・思想 教職の意義 I (公教育と教職の意義) 教職の意義 II (学びの専門職としての教師) 教育の組織・制度・経営の基礎 成長・発達と学習の過程 特別教育支援総論 カリキュラムと教育方法 総合的な学習の時間と特別活動	3前 2後 3前 3後 2後 1後 2前 2前 2前 26前 3前			2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2	000000000000	C		5	2	2			兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼	
	学校教育相談 I (生徒指導を含む) 学校教育相談 II (進路指導を含む) 教育実習 (事前事後指導を含む) 教職実践演習 (中・高) 小計 (16科目)	3前 3後 4通 4後	0	0	2 2 3 2	0	0	0	6	2	2	0	0	兼3 兼3 兼4 兼5 兼15	_
	合計 (331科目)	-	75	506	45		_		16	15	6	2	0	兼179	_
学位	又は称号 学士(工学)				は学科	斗の分	野	工学	分野						
【燃盘工品	卒 業 要 件 及 び 履 学コース】	修	方	法								授業	期間	等	
共通教育	テュース』 育科目:必修12単位を含む32単位 巻科目:必修18単位を含む20単位以上							学年							2 学期
学科共通	通科目:必修12単位を含む17単位以上 共通科目:必修8単位を含む19単位以上							学期		,,,,,,,	•				15週
コース 草卒業研究	専門科目:必修5単位を含む7単位以上 宅:必修8単位 単位以上を修得する。						1	時限	:00授	兼時 [削				90分
共通教育研集が表現の表現では、東明本の表現では、東明本の表現では、東京のまでは、東京のまではでは、東京のまでは、東京のまでは、東京のではでは、東京のではでは、東京のではでは、東京のではでは、東京のではでは、東京のではではでは、東京のではでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではでは、東京のではでは、東京のではではでは、東京のではでは、東のではではではではではではではではではではではではではではではではではではでは	ィクスコース】 育科目:必修12単位を含む32単位 菱科目:必修18単位を含む22単位以上 通科目:必修12単位を含む14単位以上 共通科目:2単位以上 専門科目:必修2単位を含む10単位以上 完:必修8単位														
共通教育専門共通を関する。	安全工学コース】 育科目:必修12単位を含む32単位 菱科目:必修18単位を含む22単位以上 通科目:必修12単位を含む14単位以上 共通科目:必修8単位を含む10単位以上 専門科目:必修10単位を含む14単位以上 完:必修8単位														

_(⊐	学部電	教 『気電子情報工学科)	育	課	程	等	σ) i	既	要						
					単位数	女	授	業形	態	j	専任教	対員等	の配置	宣		
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
				修	択	由	義	習	· 実 習	授	教 授	師	教	手		
	科入	大学教育入門セミナー	1前	2			0	 	白	8	8	3	1			共同
	目門	小計 (1科目)	-	2	0	0		_		8	8	3	1			
		情報処理基礎	1前	2			0			1	8					
		スポーツ健康科学 I	1前		2			0							兼5	共同
		スポーツ健康科学Ⅱ	1前		2			0							兼4	共同
		英語 I	1前	1				0							兼18	共同
		英語Ⅱ	1前	1				0							兼18	共同
		英語Ⅲ	1後	1				0							兼18	共同
		英語IV	1後	1				0							兼18	共同
		英語V	2前	1				0							兼18	共同
		英語VI	2前	1				0							兼18	共同
		ドイツ語 I	1①			1		0							兼1	
		ドイツ語Ⅱ	12			1		0							兼1	
		ドイツ語皿	13			1		0							兼1	
	基	ドイツ語IV	14			1		0							兼1	
	礎	フランス語 I	1①			1		0							兼1	
	教育	フランス語Ⅱ	12			1		0							兼1	
	科	フランス語Ⅲ	13			1		0							兼1	
	目	フランス語Ⅳ	14			1		0							兼1	
		中国語I	1①			1		0							兼1	
		中国語Ⅱ	12			1		0							兼1	
		中国語Ⅲ	13			1		0							兼1	
		中国語IV	14			1		0							兼1	
		日本語A	1前		1			0							兼1	> >> >> > > > > > > > > > > > > > > >
		日本語 B 日本語 C	1後		1		0								兼1	※演習
		日本語D	1前		1			0							兼1	
共		日本語E	1後		1			0							兼1	
通教育		日本語F	1前		1			0							兼1 兼1	
教育		日本語G	1後 1前		1 1		0								兼1	※演習
科		日本語H	1後		1		0	0							兼1	次 便自
目		小計 (29科目)		8	12	12		_		1	8	0	0	0	兼35	
		<地域コア科目群>		Ü	12	12					Ŭ		Ť	Ů	AKOO	
		ものづくり・産業振興・技術経営分野														
		現代社会とビジネス	1 前		2		0								兼1	
		現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ			2		0								兼1	
		科学技術と社会	1前		2		0			1						
		衣生活の現状	1前		2		0								兼1	
		ロボットの知能と学習	1前		2		0			1						
		進化する繊維の技術	1前		2		0			1	2	1			兼1	オムニバス
		現場で役立つ機器分析	1前		2		0				1					
		半導体の科学	1後		2		0								兼1	
	ш.	繊維の世界	1後		2		0			1	1	0	1		兼2	オムニバス
	共 通	新素材の世界	1後		2		0			1	2					オムニバス
	教	地方創生福井モデルの事例研究-鯖江学-	1後		2		0								兼1	
	養	ふくいを知る・見る・考えるⅡ	1後		2		0								兼1	
	科目	持続可能な社会・環境づくり分野														
	Н	こども環境学入門	1後		2		0								兼1	※演習
		環境問題と社会	1前		2		0									
		まちづくり論	1前		2		0			1	2					共同
		都市と建築の環境	1後		2		0			1	1	2				オムニバス
		科学技術と環境	1前		2		0			2	2					オムニバス
		科学技術と倫理	1後	2			0			1						※演習
		地域の局地気象	1前		2		0								兼1	
		自然史と生物	1前		2	I	0								兼1	
		日本海地域の自然と環境	1前		2		0								兼1	
					2 2 2		0 0 0								兼1 兼1 兼1	

		Ē									
	福井の経済と経営者	1前	2	0						兼1	
	コミュニティと住民組織	1後	2	0						兼1	
	地域科学コミュニケーション	1前	2	0							※演習・共同
	これからの地方創生と経営学	1前	2	0						兼1	※演習
	ふくいを知る・見る・考える	1前	2	0						兼1	
	原子力・エネルギー分野										
	電磁波と物質	1前	2	0						兼2	オムニバス
	エネルギー科学	1後	2	0		1					
	生活の中の熱とエネルギー	1後	2	0		1					
	熱と流れ	1後	2	0		2					オムニバス
	エネルギーと環境	1後	2	0		1					
	災害の科学	1後	2	0		2	2	2	1		オムニバス
	災害ボランティア論	1後	2	0		1					
	東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2	0							集中・オムニバス
	放射線利用-医学と産業-	1前	2	0		1		1			集中・オムニバス
	地域の防災・危機管理	1前	2	0				1		兼2	オムニバス
	<教養教育科目群>										
	人間理解・言語コミュニケーション分野										
	批判的思考を伸ばす	1前	2	0						兼0	
	「社会がわかる」とは?	1前	2	0						兼1	
	心を探る(人間関係論)	1前	2	0						兼1	
	こころの発達と健康	1前	2	0						兼1	
	人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2		0					兼1	
	人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2		0					兼3	
	人間の科学特別演習C(障害児)	1後	2		0					兼3	
	子どもと学校	1後	2	0						兼1	
	教えることと学ぶこと	1後	2	0						兼1	
	アクティブ・ラーニングと生涯学習	1後	2	0						兼4	
	学問の入り口	1前	2	0						兼1	
	生まれること、産むこと	1前	2	0							
	健康科学・医科学概論	1後	2	0							オムニバス
	ニュースポーツと健康生活	1前	2	0						兼1	
共通	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2		0					兼1	
教	健康メディアリテラシー	1後	2		0					兼1	
養	ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際	1後	2	0							
· 科 目	哲学的人間学 I	1後	2	0						兼1	
H	哲学的人間学Ⅱ	1後	2	0						兼1	#- 1
	日本思想	1前	2	0						兼1	集中
	宗教と哲学	1前	2	0						兼1	集中
	哲学入門	1前	2	0						兼1	Hz da
	哲学とは何か スピーキング I	1後	2	0						兼1	集中
		1前			0					兼1	
	リスニングⅡ	1前	2		0					兼1	
	ライティング I ライティング Ⅱ	1前	2		0					兼1	
	リーディング	1後 1後	2 2		0					兼1 兼1	
	リーティング ヨーロッパの言語事情	1版	2	0						兼1	
	多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)										
	多文化コミュニクーションB(英文化コミュニクーションB)	1後 1前	2 2		0					兼1 兼1	
	多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前	2		0					兼1	
	言語生活論	1前	2	0						兼1	
	言語表現	1後	2		0					兼1	
	応用日本語 I	1前	2							兼1	
	応用日本語Ⅱ	1後	2							兼1	
	中国語の世界 1	1前	2							兼1	
	中国語の世界2	1後	2							兼1	
	中国語の世界3	1前	2							兼1	
	中国語の世界4	1後	2							兼1	
	ドイツ語の世界1	1前	2							兼1	
	ドイツ語の世界2	1後	2		0					兼1	
1	ドイツ語の世界3	1前	2							兼1	
	ドイツ語の世界4	1後	2		0					兼1	
1	フランス語の世界1	1仮 1前	2		0					兼1	
1	フランス語の世界 1 フランス語の世界 2										
1	フランス語の世界2 フランス語の世界3	1後 1前	2 2		0					兼1 兼1	
	フランス語の世界3 フランス語の世界4	1削 1後	2		0					兼1	
	- / / ハロソノ出が 4	1 1友	4	1	\cup	ll .					
		1 計	9	\cap	l I					- 油転の	<u> </u>
	こころの成長 教育の歴史から学ぶ~窓ぎわのトットちゃんと近代の教育~	1前 1後	2 2	0						兼2 兼1	

1	心理学的支援法	1.59		1 \(1	Ī	li		ı	1 1	}/- -1	
	心理子的叉接法健康管理と食生活	1後	2 2	0						兼1	
		1後	2							兼1	
	歴史・文化理解分野	1 34)/- 1	
	東洋史A(「東アジア世界」と日本)	1前	2	0						兼1	
	東洋史B(近代日本とアジア認識)	1後	2	0						兼1	
	日本史(中世社会の転換)	1後	2	0						兼1	
	日本史(近世社会の展開)	1前	2	0						兼1	
	発展途上国の人間地生態	1前	2	0						兼1	
	地図に見る歴史と景観	1前	2	0						兼1	
	「歴史」のトリビア (歴史文化論から歴史教育まで)	1後	2	0						兼1	
	ラテン語とキリスト教	1前	2	0						兼1	
	アメリカの文化	1後	2	0						兼1	※演習
	フランス文学入門	1前	2	0						兼1	
	フランスの文化A (文学と絵画)	1前	2	0						兼1	隔年
	フランスの文化B(ジャポニスムとその時代)	1後	2	0						兼1	隔年
	ヨーロッパの映画	1後	2	0						兼1	
	ドイツの文化	1前	2	0						兼1	
	中国の文化	1後	2	0						兼1	集中
	中国のことば	1前	2	0						兼1	
	中国の古典文学	1前	2	0						兼1	
	日本語の歴史	1後	2	0		[]]]			兼1	
	白川文字学	1後	2	0		ĺ					集中
	日本の文化	1前	2	0		[]]]			兼1	
	日本事情A(日本語と文化)	1前	2	0		[]]]			兼1	※演習
	日本事情B(社会と文化)	1後	2	0						兼1	※演習
	近現代の音楽芸術	1前	2	0						兼1	***************************************
	合唱の魅力を探る	1前	2		0					兼1	
	ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後	2	0						兼1	
	ピアノの魅力をさぐる	1後	2	0						兼1	
	現代音楽入門	1後	2							兼1	
	生活と美術ーみる、えがく、つくる	1前	2							兼1	
	造形美術の世界-表現世界の多様性	1前	2	0						兼1	
	造形美術の世界一絵画		2							兼1	
共 共通	考古学入門	1前		_							
数 教		1後	2	0						兼1	
	数学史入門	1後	2	0						兼1	
科 科 目 目	近現代文化昆虫学	1後	2	0				_		兼1	tte -t-
	モノから読み解く文化財学	1前	2	0				1		24.	集中
	アートと地域コミュニティー	1前	2	0						兼1	集中
	日本文学の楽しみ	1前	2	0						兼1	
	社会経済・科学技術分野	. ///								24.	
	経済学A(金融って何だろう)	1後	2	0						兼1	
	経済学B (現代社会とワークルール)	1前	2	0						兼1	
	経済学C (経済学の基礎理論)	1前	2	0						兼1	
	マネジメント入門	1前	2	0						兼1	
	憲法概論	1前	2	0						兼1	
	日本国憲法	1前	2	0						兼1	
	主権者意識をはぐくむ	1後	2	0						兼1	
	社会学A(相互行為論入門)	1前	2	0		[]]]			兼1	
	社会学B (現代農村の社会学)	1後	2	0		[]]]			兼1	
	政治学A(現代政治学入門)	1前	2	0		[]]]			兼1	
	政治学B(戦後日本の政治)	1後	2	0		[]]]			兼1	
	ジェンダー論	1後	2	0		[]]]			兼1	
	音と振動	1前	2	0		1]]				
	バイオの世界	1前	2	0		3	2				オムニバス・共同 (一部)
	電子の世界	1前	2	0		1					
	生体機能と化学物質	1後	2	0		1	4				オムニバス・共同 (一部)
	数値計算の考え方	1前	2	0		1					
	計算機システムの基礎	1前	2	0		1	1				
	コンピュータと情報処理	1前	2	0		[]]]			兼2	集中
	生体情報工学	1前	2	0		[]	1				
	宮沢賢治と非線形科学	1後	2	0		1					
	ゲームとパズルの数学	1後	2	0		11]]			兼1	
	数学の歴史	1後	2	0		[]]]			兼1	
	数学のことばで理解する物理学	1後	2	0		1 ,]]			₩1	
	数字のことはで理解 9 つ物理子 対称性と微分方程式			_		1]]				
	対 が性 と 似 ガ 力 程 工 ランダ ム 現象 の 記述	1前	2	0		1				*	
		1後	2	0		[]]]			兼1	
	物理と微積分	1前	2	0		[]]]			兼1	V >> 101
1	科学的な見方・考え方	1後	2		0	ĺ					※演習・共同
	植物の生活史と進化	1後	2	0			. 1	1	1 1	兼1	1

ı			ヒトの生物学	1 丝	ı	2			I		ll.	ı	I	ı	1	兼1	[
			火山のはなし	1後 1後		2		0								兼1	
共	41-	ŀ	宇宙の成り立ち	1後		2		0								朮□	
一八通	共通		ナ田 い成 リエ ら キャリアデザイン (自分の将来について考えてみる)					0								26. 1	
通教	教			1後		2										兼1	
育	養		対話と直観と共感で学ぶ物理	1後		2		0								兼1	
科目	科目		数学的活動	1後		2		0								兼1	
	H	1	数と方程式	1前		2		0								兼1	
			産業社会の中のセンサ技術	1後		2		0					_			兼1	
\vdash			小計(164科目)		2	326	0	_	_		30	21	8	2	0	兼123	3
			微分積分 I 線形代数 I	1前	2 2			0			2	1				兼1	
			応用数学E(確率・統計)	1前	2			0				1					
			物理学A(力学)	1前	2	0					1	1				26. 1	
			物理子A(刀子) 微分積分Ⅱ	1前	0	2		0			1					兼1	
			線形代数Ⅱ	1後	2 2			0			1	,				兼1	
			数学演習	1後	2	,					1	1		,			
			離散数学 I	1後	0	1			0		2	1		1			
				1後	2			0			1	1				}/- -1	
			電気数学 フーリエ解析	1後	2			0			1					兼1	
				2後		2		0			1	1				}/- -1	
1			ベクトル解析	2前		2		0								兼1	
1			電磁気学基礎 物理学D(熱・波・光)	1後	2			0			2						
	専		7. = 4	2前		2		0			1					36 •	
	門		工業日本語Ⅰ	1前		2		0								兼1	
	基礎		工業日本語Ⅱ	1後		2		0								兼1	
	科		工業日本語Ⅲ	2前		2		0								兼1	
1	目		工業日本語IV	2後		2		0								兼1	
			留学基礎英語	1~4前後		2			0		1	_					
			学際実験・実習 I	2前		1				0	1	2					
			学際実験・実習Ⅱ	3前		1				0	1	2				N/	
			放射線安全工学	3後		2		0			2	1	1			兼3	
			知的財産権の基礎知識	3後		2		0								兼1	
			ベンチャービジネス概論	4前		2		0								兼1	
			フロントランナー	3後		2		0			1					兼1	
			ものづくり基礎工学	1後		2		0				1					
			インターンシップ	3前		1				0	1						
			海外短期インターンシップI	1~4前後		1				0	1						
			海外短期インターンシップⅡ	1~4前後													
車			with all a life and			2		_		0	1						
専門			職業指導	4前			2	0		0						兼1	
門教			小計 (29科目)	4前 一	16	35	2		_	0	15	10	1	1	0	兼13	
門			小計(29科目) 電気電子情報工学概論	4前 — 1前	4			0	<u> </u>	0	15 15	13	1	1 3	0		オムニバス
門教育			小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎	4前 一 1前 1後	†	35		0		0	15 15 1	13 3		_	0	兼13	
門教育科			小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I	4前 一 1前 1後 2前	4	35		0 0		0	15 15	13		_	0	兼13 兼1	オムニバス
門教育科		-	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I	4前 一 1前 1後 2前 2前	4 3	35		0 0 0 0	_	0	15 15 1 1	13 3		_	0	兼13	オムニバス
門教育科		学科共	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路	4前 一 1前 1後 2前 2前 2前	4	35 2 2		0 0 0 0	_	0	15 15 1	13 3 1		3	0	兼13 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム	4前 一 1前 1後 2前 2前 2後	4 3 2	35		0 0 0 0 0			15 15 1 1	13 3		_	0	兼13 兼1 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語	4前 一 1前 1後 2前 2前 2後 3後	4 3 2	35 2 2		0 0 0 0	_		15 15 1 1 2	13 3 1	1	3	0	兼13 兼1 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I	4前 一 1前 1後 2前 2前 2後 3後 2後	4 3 2 2 1	35 2 2		0 0 0 0 0		0	15 15 1 1 2	13 3 1 1	1	3 1 3	0	兼13 兼1 兼1 兼2 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I	4前 一 1前 1後 2前 2前 2後 3後 2後 3前	2 2 1 2	35 2 2		0 0 0 0 0	_	00	15 15 1 1 2 15 15	13 3 1 1 1 13 13	1 1 1	3 1 3 3	0	兼13 兼1 兼1 兼2 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II	4前 一 1前 1前 2前 2前 2後 3後 2後 3 3後 3後	4 3 2 2 1 2 2	35 2 2 2	2	0 0 0 0 0		0	15 15 1 1 1 2 15 15 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II	4前 一 1前 1後 2前 2前 2 3後 3後 3後 3後 -	4 3 2 2 1 2	35 2 2 2		0 0 0 0 0 0		00	15 15 1 1 2 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13	1 1 1	3 1 3 3	0	兼13 兼1 兼1 兼2 兼1	オムニバス
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II	4前 一 1前 1後 2前 2前 2前 2後 3後 3後 3後 - 2後	4 3 2 2 1 2 2	2 2 2 2	2	0 0 0 0 0		00	15 15 1 1 1 2 15 15 15 15	13 3 1 1 13 13 13 13	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科		, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II	4前 一 1前 1前 2前 2前 2前 3後 3後 3後 3後 - 2後 3後	4 3 2 2 1 2 2	2 2 2 2 2	2	0 0 0 0 0 0		00	15 15 1 1 1 2 15 15 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	·····································	, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学表験 II	4前 一 1前 1前 2前 2前 2前 3後 2後 3 3後 2後 3 2後 2後 3 2後 3	4 3 2 2 1 2 2	35 2 2 2 2 6 2 1 2	2	0 0 0 0 0 0		00	15 15 1 1 1 2 15 15 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13 13 1	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門	, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気回路 II 電気回路 该図路 II 電気回路 (2) 電気回路 (3) 電気回路 (4) 電気回路 (4) 電気回路 (4) 電気回路 (5) 電	4前 一 1前 2前 2前 2前 3後 2後 3 3 4 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 3 8 4 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15	13 3 1 1 13 13 13 13	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	·····································	, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気回路 II 電気回路 (20世紀) 電磁気学 II 電磁気学演習 電子回路	4前 一 1前 2前 2前 2前 3後 2後 3 3 3 6 2 8 2 8 2 8 2 8 2 8 3 8 2 8 3 8 2 8 2 8	4 3 2 2 1 2 2	35 2 2 2 2 6 2 1 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13 13 1	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科	, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気回路 II 電気回路 (20日本) 電気回路 (20日本)	4前 一 1前 1前 2前 2前 26 36 28 38 28 28 28 28 28 28 28 28 28 2	2 2 1 2 2 16	35 2 2 2 2 2 1 2 1	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 15	13 3 1 1 13 13 13 13 1 1	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科	, 科共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気回路 II 電気回路 II 電気回路 I 電	4前 1前 1前 2前 2前 20 30 20 30 20 30 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 1 2 1 2 3	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15	13 3 1 1 1 13 13 13 13 1	1 1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	,科共通科目 コー	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路路 演回路路 演回路路 演習電磁磁気学 II 電磁磁気学 II 電域 で	4前 1前 1前 2前前 20 30 20 30 20 30 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 15	13 3 1 1 13 13 13 13 1 1	1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	科共通科目 コース	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気の第 I 電磁気学 I 論理回路 データ構造とアルゴリズム 技術気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気でます II 電がまず II でガラミング I プログラミング I プログラミング II 計測工学	4前 1前 1前 2前 2前 20 30 20 30 20 30 20 30 40 40 40 40 40 40 40 40 40 4	2 2 1 2 2 16	35 2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 3 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 15	13 3 1 1 13 13 13 13 1 1	1 1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	科共通科目 コース	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気回路 I 電磁気学 I 論理回路 データ横造とアルゴリズム 技術気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気回路 II 電気回路 II 電気の回路 II 電磁磁気学演習 電磁気気学 II 電磁数気学演習 電子回路 II でアグラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I 計測工学 形式言語とオートマトン	4前 1 1 1 1 2 2 1 2 2 3 3 2 2 2 3 3 3 3 2 2 2 2	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 12	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1	1 1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計 (29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気気学 I 論理の路 データ英語 電気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気配子付料 II 地計 (10科目) 電気の国路 II 電気磁気学 II 電磁磁気学演習 電子 回路 II 電が で	4前 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 12 1 1	13 3 1 1 13 13 13 13 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気図路 I 電磁気学 I 論理回路 データ英語情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報 I 型気 三 電子 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	4前 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 2 3 2 2 3 2 3	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 12	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1	1 1 1 1 1	3 1 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気図等 I 電磁理回路 データ英語情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報 I 電気 電子 I プログラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I プログラミング I 計測工学 形式言語とオートマトン 情報理論 コンピュータアーキテクチャ パワーエレクトロニクス	4前 11 11 12 13 13 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 12 1 1	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気の国路 I 電磁理回路 デルガリズム 技術気電子情報工学実験 I 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気の路 II 電気磁気学 I 電気磁気学 I 電気磁気 気管 I 電気 対	4前 11 11 12 13 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2 3 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 12 1 1	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電気気学 I 電磁理回解 デ・ケック 芸術・電子情報工学実験 I 電気気電子情報工学実験 II 電気電子情報工学実験 II 電気で、電子情報工学実験 II 電気で、電子情報工学実験 II 電気で、電子情報工学実験 II でカードでは、 100路 II 電気破験 回路 II 電気破験 回路 II 電気破験 回路 II 電気破験 可と	4前 11 11 12 13 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	2 2 1 2 2 16	2 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 1 1 1 2	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電域理の路等 活気気気がある。 電域理の特徴とアルゴリズム 技術気気気気部情報工学実験 II 電気では、100科目) 電気の路路 II 電気破磁・型の路路 II 電気破磁・気管・関 電気では、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気が、100科目) 電が、100科目) 電が、100科目) に対している。 に対してい	4 m 1 1 1 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 1 2 2 16	35 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 1 1 1 1 1 1	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電磁理の路 I 電磁理の路 で気気気回路 で表示で表示で表示である。 電話では、	4 m l 1 l 2 l 2 l 2 l 2 l 2 l 2 l 2 l 2 l 2	2 2 1 2 2 16	35 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 1 1 1 2	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習
門教育科	専門科目	·科共通科目 コース共通科	小計(29科目) 電気電子情報工学概論 プログラミング基礎 電域理の路等 活気気気がある。 電域理の特徴とアルゴリズム 技術気気気気部情報工学実験 II 電気では、100科目) 電気の路路 II 電気破磁・型の路路 II 電気破磁・気管・関 電気では、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気の音楽が、100科目) 電気が、100科目) 電が、100科目) 電が、100科目) に対している。 に対してい	4 m 1 1 1 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 1 2 2 16	35 2 2 2 2 1 2 1 2 3 2 2 2 2 2 2 3 2 2 2 2	2			00	15 15 1 1 2 15 15 15 15 15 1 1 1 1 1 1	13 3 1 1 13 13 13 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 3 3 3 3 3		兼13 兼1 兼1 兼2 兼1 兼1 兼1	オムニバス ※演習

					1									1				1
		П	オペレーティングシ	ノステム	3前		3		0				1					
		1	制御理論		3後		2		0			1						
		ス	電気機器学		3後		2		0				1					
		共	数値解析		3後		2		0			1						
		通	情報伝送システム		3後		2		0			1						
		科	情報セキュリティ		3後		2		0			2						
		目	小計 (25科目)		- O (X	4	47	0		<u> </u>	l	11	8	1	2	0	兼1	_
	ŀ	雷	量子力学			4	2	0				11	0	1	4	0		
		子			2前				0				_				兼1	
		物	エネルギー工学		2前		2		0				1					
		-	固体電子論		2後		2		0			1						
		工学	半導体工学		3前		2		0			1	1					
		, ,	量子エレクトロニク	フス	3前		2		0			1						
			プラズマ工学		3後		2		0			1						
		ス科	電子デバイス		3後		2		0			1						
			小計(7科目)		-	0	14	0		_		3	2	0	0	0	兼1	-
	ŀ	電	電気エネルギー発生	<u></u>	3前		2		0			1						
		ス	情報通信工学		3後		2		0			_			1			
古	-	佰	日報通信工子 システム工学		3後		2		0			I	1		1			
専門専	Į	ス		¥.									1				34. ∗	
教門		4	電気エネルギー伝送	<u> </u>	4前		2		0								兼1	
育科	4	*	電気機器設計	=	4前		2		0			I					兼1	
科目	1	7	電波・電気通信法規	=	4後		1		0			I					兼1	
目		科	電気法規及び施設管	7理	4後		1		0								兼1	
	L	目	小計(7科目)		_	0	12	0		_		1	1	0	1	0	兼4	ı
	ſ		論理回路演習		2前	1				0			1	1				
			データ構造とアルコ	ゴリズム演習	2後	1				0		1	1					
			プログラミングⅢ		2後		2		0				1					
		情	プログラミングIV		3前		3		O				1	1				
		土口	計算論とアルゴリス	ズム設計	3前		2		0			1	1	1				
		工	多変量解析	12,112,11	3前		2		0			1						
		7	罗及里牌切 データベース									1	,					
		コー			3後		2		0				1					
		ス	言語処理		3後		2		0				1					
		科	ソフトウェア工学		3後		2		0				1				兼1	
		目	コンピュータグラフ	フィックス	3後		2		0			1						
			符号・暗号		4前		2		0			1	1					
			データサイエンス		4前		2		0			1						
			小計 (12科目)		-	2	21	0		_		6	5	1	0	0	兼1	=
	Ī	卒	卒業研究		4通	8					0	15	13	1	3		兼1	
		業研			4.匝	0						10	15	1				
Ш		究	小計(1科目)		-	8	0	0		_		15	13	1	3	0	兼1	-
			工業概論		3前			2	0			5	2	2			兼1	
			工業科教育法 I		2後			2	0			I					兼1	
			工業科教育法Ⅱ		3前			2	0								兼1	
			理科教育法Ⅲ		3後			2	0			1						
			教育の理念・歴史・	・思想	2後			2	0			I					兼2	
			教職の意義Ⅰ(公教		1後			1	O								兼3	
				の専門職としての教師)	2前			1	0			I					兼3	
教	女		教育の組織・制度・		2前			2	0								兼2	
職	战		教育の組織・制度・ 成長・発達と学習の						_			I						
科	4			ノ旭任	2前			2	0			I					兼2	
目	1		特別教育支援総論	~ \u034.	2後			2	0								兼1	
			カリキュラムと教育		3前			2	0			I					兼1	
			総合的な学習の時間		3前			2		0							兼2	
			学校教育相談 I (生		3前			2	0			I					兼3	
			学校教育相談Ⅱ(近	進路指導を含む)	3後			2	0								兼3	
			教育実習(事前事後	後指導を含む)	4通			3			0	I					兼4	
			教職実践演習(中・	· 高)	4後			2		0							兼5	
			小計 (16科目)		_	0	0	31		_		6	2	2	0	0	兼15	-
			合計 (301科	目)	_	58	473	45		_		15	13	1	3	0	兼191	_
	33.7	<i>L</i> L: -) = ^		»·		10	1	Ű	L	AK101	
	学/	位フ	スは称号 学士	: (工学)		学	位又に	は学科	斗の分)野	工学	関係						

【電子物性工学コース】 共通教育科目:必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目:必修16単位を含む10単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む10単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む10単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【電気通信システム工学コース】 共通教育科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修48単位を含む41単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【情報工学コース】 共通教育科目:必修6単位を含む18単位以上 マース共通科目:必修6単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修6単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修6単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修6単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修6単位を含む18単位以上 コース専門科目:必修6単位を含む4単位以上 コース専門科目:必修6単位を含む4単位以上 マ業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。	卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法	授業期間等
学科共通科目: 必修4単位を含む20単位以上 コース共通科目: 必修4単位を含む10単位以上 コース専門科目: 6単位以上 卒業研究: 必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【電気通信システム工学コース】 共通教育科目: 必修16単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目: 必修16単位を含む14単位以上 コース共通科目: 必修66単位を含む14単位以上 コース共通科目: 必修68単位 合計124単位以上を修得する。 【情報工学コース】 共通教育科目: 必修61単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修61単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目: 必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目: 必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目: 必修16単位を含む18単位以上 コース専門科目: 必修2単位を含む4単位以上 コース専門科目: 必修2単位を含む4単位以上 マ業研究: 必修8単位		1 学年の学期区分 2 学期
コース専門科目:6単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【電気通信システム工学コース】 共通教育科目:必修16単位を含む32単位 専門基礎科目:必修16単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修4単位を含む14単位以上 コース専門科目:2単位以上 卒業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【情報工学コース】 共通教育科目:必修16単位を含む32単位 専門基礎科目:必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース専門科目:必修2単位を含む4単位以上 卒業研究:必修8単位		1 学期の授業期間 1 5 週
共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修16単位を含む20単位以上 コース共通科目: 必修4単位を含む14単位以上 コース専門科目: 2単位以上 卒業研究: 必修8単位 合計124単位以上を修得する。 【情報工学コース】 共通教育科目: 必修12単位を含む32単位 専門基礎科目: 必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目: 8世616単位を含む18単位以上 コース共通科目: 18単位以上 コース共通科目: 18単位以上 コース東門科目: 必修2単位を含む4単位以上 卒業研究: 必修8単位	コース専門科目:6単位以上 卒業研究:必修8単位	1 時限の授業時間 9 0 分
共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:18単位以上 コース専門科目:必修2単位を含む4単位以上 卒業研究:必修8単位	共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目:必修16単位を含む20単位以上 コース共通科目:必修4単位を含む14単位以上 コース共通科目:2単位以上 マ業研究:必修8単位 合計124単位以上を修得する。	
	共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修16単位を含む18単位以上 学科共通科目:必修16単位を含む18単位以上 コース共通科目:18単位以上 コース専門科目:必修2単位を含む4単位以上 卒業研究:必修8単位	

(学部建	建築・都市環境工学科)	育	課	程	等	O		概	要						
					単位数	女	授	業形	態]	専任教	対員等	の配置	<u> </u>		
	斗目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	講	演	実験	教	准	講	助	助		備考
				修	択	由	義	習	· 実 習	授	教授	師	教	手		
T	科入	大学教育入門セミナー	1前	2			0		Ц	8	8	3	1			共同
	目門	小計(1科目)	_	2	0	0		_	•	8	8	3	1			
		情報処理基礎	1前	2			0			1	8					
		スポーツ健康科学 I	1前		2			0							兼5	共同
		スポーツ健康科学Ⅱ	1前		2			0							兼4	共同
		英語 I	1前	1				0							兼18	共同
		英語Ⅱ	1前	1				0							兼18	共同
		英語Ⅲ	1後	1				0							兼18	共同
		英語IV	1後	1				0							兼18	
		英語V	2前	1				0							兼18	共同
J		英語VI	2前	1		,		0							兼18	共同
		ドイツ語 I ドイツ語Ⅲ	1① 1②			1		0							兼1 兼1	
		トイン語Ⅱ ドイツ語Ⅲ	1(2)			1		0							兼1	
J		ドイン語III ドイツ語IV	1(3)			1 1		0							兼1	
	基	フランス語Ⅰ	1(1)			1		0							兼1	
	礎 教	フランス語Ⅱ	12			1		0							兼1	
	育	フランス語Ⅲ	13			1		0							兼1	
	科	フランス語IV	14			1		0							兼1	
	目	中国語I	1(1)			1		0							兼1	
		中国語Ⅱ	12			1		0							兼1	
		中国語Ⅲ	13			1		0							兼1	
		中国語IV	1(4)			1		0							兼1	
		日本語A	1前		1			Ö							兼1	
		日本語B	1後		1		0								兼1	※演習
		日本語C	1前		1			0							兼1	
		日本語D	1後		1			0							兼1	
共通		日本語E	1前		1			0							兼1	
通教育		日本語F	1後		1			0							兼1	
育		日本語G	1前		1		0								兼1	※演習
科目		日本語H	1後		1			0							兼1	
		小計 (29科目)		8	12	12				1	8	0	0	0	兼35	
		<地域コア科目群>														
		ものづくり・産業振興・技術経営分野					_									
		現代社会とビジネス	1前		2		0								兼1	
		現代社会とキャリア・アントレプレナーシップ 科学技術も社会			2		0			1					兼1	
		科学技術と社会 衣生活の現状	1前		2 2		0			1					油	
		水生活の現状 ロボットの知能と学習	1前 1前		2		0			1					兼1	
Į		進化する繊維の技術	1前		2		0			1	2	1			姜1	オムニバス
		現場で役立つ機器分析	1前		2		0			1	1	1			₩1	7
ļ		半導体の科学	1後		2		0				1				兼1	
		繊維の世界	1後		2		0			1	1	0	1			オムニバス
	共	新素材の世界	1後		2		0			1	2	ľ			7154	オムニバス
	通 教	地方創生福井モデルの事例研究ー鯖江学ー	1後		2		0			1]				兼1	
	養	ふくいを知る・見る・考えるⅡ	1後		2		0								兼1	
	科日	持続可能な社会・環境づくり分野														
	目	こども環境学入門	1後		2		0								兼1	※演習
		環境問題と社会	1前		2		0									
		まちづくり論	1前		2		0			1	2					共同
		都市と建築の環境	1後		2		0			1	1	2				オムニバス
I		科学技術と環境	1前		2		0			2	2					オムニバス
I		科学技術と倫理	1後	2			0			1						※演習
		地域の局地気象	1前		2		0								兼1	
		自然史と生物	1前		2		0								兼1	
		日本海地域の自然と環境	1前		2		0								兼1	
		地域の自然と環境(福井や日本海地域を中心に)	1前		2	l	0			I	1				兼1	
		地球の環境	1後		2										兼1	

1 1		福井の経済と経営者	1前	2	0		1		l		兼1	
		コミュニティと住民組織	1後	2	0						兼1	
		地域科学コミュニケーション	1前	2	0						兼2	※演習・共同
		これからの地方創生と経営学	1前	2	0						兼1	※演習
		ふくいを知る・見る・考える	1前	2	0						兼1	
		原子力・エネルギー分野										
		電磁波と物質	1前	2	0						兼2	オムニバス
		エネルギー科学	1後	2	0		1					
		生活の中の熱とエネルギー	1後	2	0		1					
		熱と流れ	1後	2	0		2					オムニバス
		エネルギーと環境	1後	2	0		1					
		災害の科学	1後	2	0		2	2	2	1		オムニバス
		災害ボランティア論	1後	2	0		1					
		東日本大震災をどう受け止めるか	1後	2	0						兼6	集中・オムニバス
		放射線利用-医学と産業-	1前	2	0		1		1		兼4	集中・オムニバス
		地域の防災・危機管理	1前	2	0				1		兼2	オムニバス
		<教養教育科目群>										
		人間理解・言語コミュニケーション分野										
		批判的思考を伸ばす	1前	2	0						兼0	
		「社会がわかる」とは?	1前	2	0						兼1	
		心を探る(人間関係論)	1前	2	0						兼1	
		こころの発達と健康	1前	2	0						兼1	
		人間の科学特別演習A(教育学)	1後	2		0					兼1	
		人間の科学特別演習B(心理学)	1後	2		0					兼3	
		人間の科学特別演習 C (障害児)	1後	2		0					兼3	
		子どもと学校 教えることと学ぶこと	1後 1後	2 2	0						兼1 兼1	
		アクティブ・ラーニングと生涯学習	1後	2	0						兼4	
		学問の入り口	1版	2	0						兼1	
		生まれること、産むこと	1前	2	0						W.I	
		健康科学・医科学概論	1後	2	0						兼15	オムニバス
		ニュースポーツと健康生活	1前	2	0						兼1	
共	共	アウトドアスポーツとバリアフリー	1前	2		0					兼1	
通	通	健康メディアリテラシー	1後	2		0					兼1	
教育	教	ネット型球技(バレーボール)指導の理論と実際	1後	2	0							
科	養 科	哲学的人間学 I	1後	2	0						兼1	
目	目	哲学的人間学Ⅱ	1後	2	0						兼1	
		日本思想	1前	2	0						兼1	集中
		宗教と哲学	1前	2	0						兼1	集中
		哲学入門	1前	2	0						兼1	
		哲学とは何か	1後	2	0						兼1	集中
		スピーキング I	1前	2		0					兼1	
		リスニング Ⅱ	1前	2		0					兼1	
		ライティング I	1前	2		0					兼1	
		ライティング I	1後	2		0					兼1	
		リーディング	1後	2		0					兼1	
		ヨーロッパの言語事情	1前	2	0						兼1	
		多文化コミュニケーションA(異文化コミュニケーションA)	1後	2		0					兼1	
		多文化コミュニケーションB (日本語コミュニケーションB)	1前	2		0					兼1	
		多文化コミュニケーションC(異文化コミュニケーションC)	1前	2		0					兼1	
		言語生活論	1前	2	0						兼1	
		言語表現	1後	2		0					兼1	
		応用日本語I	1前	2		0					兼1	
		応用日本語Ⅱ	1後	2		0					兼1	
		中国語の世界1	1前	2		0					兼1	
		中国語の世界2	1後	2		0					兼1	
		中国語の世界3	1前	2		0					兼1	
		中国語の世界4	1後	2		0					兼1	
		ドイツ語の世界1	1前	2		0					兼1	
		ドイツ語の世界 2 ドイツ語の世界 3	1後	2 2		0					兼1 兼1	
		ドイツ語の世界4	1前 1後	2 2		0					兼1	
		トイン語の世界 4 フランス語の世界 1	1俊 1前	2 2		0					兼1	
		フランス語の世界 2	1削	2 2		0					兼1	
		フランス語の世界3	1仮 1前	2 2		0					兼1	
		フランス語の世界 3 フランス語の世界 4	1例	2		0					兼1	
		こころの成長	1版	2	0						兼2	
		立 こ つックルス区 教育の歴史から学ぶ~窓ぎわのトットちゃんと近代の教育~	1後	2	0						兼1	
		情報化社会の現在と未来	1後	2	0							集中・オムニバス
1 1		1	- 🔉	1 1 - 1	. ~		11	ı	•	ı I	1 /11/2	Internal Control of the Intern

) an 57 ff + 125 ft	I 1	ī			Ī	11	Ī		L 26.	1
		心理学的支援法 健康管理と食生活	1後		2	0					兼1	
		歴史・文化理解分野	1後		2						兼1	
			1 347		0						¥-1	
		東洋史A(「東アジア世界」と日本) 東洋史B(近代日本とアジア認識)	1前 1後	1	2 2	0		1			兼1 兼1	
		日本史(中世社会の転換)			2							
		日本史(近世社会の展開)	1後 1前		2						兼1 兼1	
		発展途上国の人間地生態	1前		2						兼1	
		地図に見る歴史と景観	1前		2						兼1	
		「歴史」のトリビア(歴史文化論から歴史教育まで)	1後		2						兼1	
		ラテン語とキリスト教	1前		2						兼1	
		アメリカの文化	1後		2						兼1	※演習
		フランス文学入門	1前		2						兼1	* IA E
		フランスの文化A(文学と絵画)	1前		2						兼1	隔年
		フランスの文化B (ジャポニスムとその時代)	1後		2						兼1	隔年
		ヨーロッパの映画	1後		2						兼1	113 1
		ドイツの文化	1前		2	0					兼1	
		中国の文化	1後		2						兼1	集中
		中国のことば	1前		2						兼1	
		中国の古典文学	1前		2						兼1	
		日本語の歴史	1後	1	2	0		1			兼1	
		白川文字学	1後	1	2	0		1			兼1	集中
		日本の文化	1前	1	2	0		1			兼1	
		日本事情A(日本語と文化)	1前	1	2	0		1			兼1	※演習
		日本事情B(社会と文化)	1後	1	2	0		1			兼1	※演習
		近現代の音楽芸術	1前	1	2	0		1			兼1	
		合唱の魅力を探る	1前	1	2		0	1			兼1	
		ポピュラー音楽の魅力をさぐる	1後		2	0					兼1	
		ピアノの魅力をさぐる	1後		2	0					兼1	
		現代音楽入門	1後		2	0					兼1	
		生活と美術ーみる、えがく、つくる	1前		2	0					兼1	
		造形美術の世界-表現世界の多様性	1前		2	0					兼1	
共	共	造形美術の世界ー絵画	1前		2	0					兼1	
通 教	通 教	考古学入門	1後		2	0					兼1	
育	養	数学史入門	1後		2	0					兼1	
科	科	近現代文化昆虫学	1後		2	0					兼1	
目	目	モノから読み解く文化財学	1前		2	0				1		集中
		アートと地域コミュニティー	1前		2	0					兼1	集中
		日本文学の楽しみ	1前		2	0					兼1	
		社会経済・科学技術分野	1.60								36 4	
		経済学A(金融って何だろう) 経済学B(現代社会とワークルール)	1後		2	0					兼1	
		経済学C(経済学の基礎理論)	1前 1前		2						兼1 兼1	
		マネジメント入門	1前		2						兼1	
		憲法概論	1前		2						兼1	
		日本国憲法	1前		2						兼1	
		主権者意識をはぐくむ	1後		2						兼1	
		社会学A(相互行為論入門)	1前	1	2			1			兼1	
		社会学B (現代農村の社会学)	1後	1	2			1			兼1	
		政治学A(現代政治学入門)	1前	1	2	0		1			兼1	
		政治学B(戦後日本の政治)	1後	1	2	0		1			兼1	
		ジェンダー論	1後	1	2	0					兼1	
		音と振動	1前	1	2	0		1				
		バイオの世界	1前	1	2	0		3	2			オムニバス・共同 (一部)
		電子の世界	1前	1	2	0		1				
		生体機能と化学物質	1後	1	2	0		1	4			オムニバス・共同 (一部)
		数値計算の考え方	1前	1	2	0		1				
		計算機システムの基礎	1前	1	2	0		1	1			
		コンピュータと情報処理	1前	1	2	0		1			兼2	集中
		生体情報工学	1前	1	2	0		1	1			
		宮沢賢治と非線形科学	1後	1	2	0		1				
		ゲームとパズルの数学	1後	1	2	0		1			兼1	
		数学の歴史	1後	1	2	0		1			兼1	
		数学のことばで理解する物理学	1後	1	2	0		1				
		対称性と微分方程式	1前	1	2	0		1				
		ランダム現象の記述	1後	1	2	0		1			兼1	
		物理と微積分	1前	1	2	0					兼1	
		科学的な見方・考え方 植物の生活史と進化	1後 1後		2 2		0				兼2 兼1	※演習・共同

I	I		ヒトの生物学	1後	l	2	1	0	Ī	l I	Ī		I	l		兼1	
			火山のはなし	1後		2		0								兼1	
共	共	±	宇宙の成り立ち	1後		2		0								AK1	
通	通		キャリアデザイン(自分の将来について考えてみる)	1後		2		0								兼1	
教	老		対話と直観と共感で学ぶ物理	1後		2		0								兼1	
育科	養彩		数学的活動	1後		2		0								兼1	
目	Ē		数と方程式	1前		2		0								兼1	
			産業社会の中のセンサ技術	1後		2		0								兼1	
			小計(164科目)	=	2	326	0		_		30	21	8	2	0	兼123	
			基礎線形代数	1前	2			0				1					
			応用線形代数	1後	2			0					1	1			
			微分積分 I	1前	2			0								兼1	
			微分積分Ⅱ	1後	2			0								兼1	
			物理学A(力学)	1前	2			0								兼1	
			基礎物理学実験	1前		2				0	1					兼2	
			確率・統計	1後		2		0								兼1	
			応用数学A(微分方程式)	2前	2			0			1						
			応用数学B(フーリエ解析)	2後		2		0			1						
			工業日本語Ⅰ	1前		2		0								兼1	
	専	卓	工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅲ	1後		2		0								兼1	
	門		7151 1 100	2前		2		0								兼1	
	基礎		工業日本語IV	2後		2		0			,					兼1	
	和		留学基礎英語 学際実験・実習 I	1~4前後		2			0		1	0					
	E	1	学院実験·実習Ⅱ 学際実験·実習Ⅱ	2前 3前		1				0	1	2					
			対 放射線安全工学	3削		1 2					1 2	2 1	1			兼3	
			知的財産権の基礎知識	3後		2		0 0				1	1			兼3	
			ベンチャービジネス概論	4前		2		0								兼1	
			フロントランナー	3後		2		0			1					兼1	
			ものづくり基礎工学	1後		2		0			1	1				NK1	
			インターンシップ	3前		1		0		0	1	-					
			海外短期インターンシップ I	1~4前後		1				O	1						
			海外短期インターンシップⅡ	1~4前後		2				0	1						
			職業指導	4前			2	0								兼1	
			小計 (25科目)	_	12	32	2		_		9	4	2	1	0	兼13	-
			建築・都市環境工学概論	1前	2			0			6	5	5	2			
専			建築構造基礎第一														
				1前	2			0			1						
門			測量学第一及び実習	1前	2 4					0	1 2					兼1	
教			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二	1前 1後	4	2		0		0	2	1				兼1	
教育			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習	1前 1後 1後				0	0	0	2	1		1		兼1	
教			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学	1前 1後 1後 1後	4	2		0 0	0	0	2			1		兼1	
教育科			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論	1前 1後 1後 1後 1後 1後	3			0		0	2	1		1		兼1	
教育科			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一	1前 1後 1後 1後 1後 1後	3 2	2		0 0 0	0	0	1 1		2	1		兼1	
教育科			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球·都市環境工学	1前 1後 1後 1後 1後 1後 16 16 16 16 17	3 2 2	2		0 00 0		0	2	1	1	1		兼1	
教育科			測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史	1前 1後 1後 1後 1後 1後 1後 1 2前 2前	4 3 2 2 2	2		0 0 0	0	0	1 1 1	1 2	1	1		兼1	
教育科		学	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史 設計演習基礎第二	1前 1後 1後 1後 1後 1後 1 2 前 前 2 前 2 前	4 3 2 2 2 2 2	2		0 00 00		0	1 1	1	1 1 2	1		兼1	
教育科		科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史 設計演習基礎第二 材料学	1前 1後 1後 1後 1後 1後 2前 前前 2前	4 3 2 2 2 2 2 2	2		0 00 0	0	0	1 1 1	1 2 3	1			兼1	
教育科		科共	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史 設計演習基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習	1前 1後 1後 1後 1後 1後 1 2 前 前 2 前 2 前	4 3 2 2 2 2 2	2		0 00 00	0	0	1 1 1	1 2	1 1 2	1		兼1	
教育科		科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史 設計演習基礎第二 材料学	1前 1後 1後 1後 1後 2前前前 2前 2前 2前	4 3 2 2 2 2 2 2	2 2		0 00 00 0	0	0	1 1 1	1 2 3	1 1 2			兼1	
教育科		科共通	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用樂計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築史 設計演習基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画	1前 1後 1後 1後 1後 2前前前前 2前 2前 2前 2前	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2		0 00 00 0 0	0	0	1 1 1	1 2 3	1 1 2 1			兼1	
教育科	専	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築共 設計演習基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一	1前 1後 1後 1後 2 2前前前前前 2 1 2 1 2 1 3 1 6 6 6 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2		0 00 00 0 00	0	0	1 1 1	1 2 3	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計画通論 設計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築計演習基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一 国土・地域づくり論	1前 1後後後後 1後後後 2前前前前前後 2前前前前後後 26	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2		0 00 00 0 000	0	0	1 1 1 2	1 2 3	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応用地質学 建築計演習基礎第一 地球・都市環境工学 建築計演習基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一 国土・地域づくり論 鉄筋コンクリート構造	1前 1後後後後 1後後後後前前前前前後後前 2前前前前後後前 26 27	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2 2		0 00 00 0 0000	0	0	1 1 1 2	1 2 3 1 1	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応東資連論 設計資理 設計資理基礎第一 地球・報力学基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一 国土・地域づくり論 鉄筋コンクリート構造 鋼構造	1前 1後後後後後 10 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 00000	0	0	1 1 1 2 2	1 2 3 1 1	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応東第一型調通論 設計演習基礎第一 地球・東史 設計改革を開始を開始を 建築計算型基礎第二 材料学 構造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一 国土・地域づくり論 鉄筋コンクリート構造 鋼構造 都市デザイン	1前 1後後後後後前前前前後後前前前 200 200 200 200 200 200 200 200 200	4 3 2 2 2 2 2 2 3	2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 000000	0	0	1 1 1 2 2	1 2 3 1 1	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学第一及び演習 応建築計画運動 設計調理基礎第一 地球・東史 設計改革を開発工学 建築計画型基礎第二 材料造力学第二及び演習 都市計画 建築環境工学第一 国土・地域づくり論 鉄筋コシクリート構造 鋼構造 新市デザイン 住環境計画論	1前 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	3 2 2 2 2 2 2 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 000000	0		1 1 1 2 1 1	1 2 3 1 1	1 1 2 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学質 建築精力学等 連額 計資習 連額 計資 連 主 計算 計算 理 基礎第二 材 地 建 主 計 計 一 世 生 発 計 計 一 世 生 発 計 半 一 大 一 大 一 、 一 、 世 、 り 一 、 一 、 し 、 り 一 り 一 り 一 り も り も り も り も り も り も り も	1前 1後後後後後前前前前後後前前前前後 2前前前前後後前前前前後 33 33 33 33	2 2 2 2 2 2 3 2	2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 000000	0		1 1 1 2 1 1 6	1 2 3 1 1	1 1 2 1 1 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造事等 建築計算 建築計算 連連 計算 連連 計算 連連 計算 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	2 2 2 2 2 2 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 0000000 000	0		1 1 1 2 1 1 6	1 2 3 1 1	1 1 2 1 1 1	1		兼1	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学質 連築精力学算 通基礎第一 地球等更 選上市 電子 連上。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4 3 2 2 2 2 2 2 3 3 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		0 00 00 0 0000000 00	0		1 1 1 2 1 6 1 1 2 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1	1 2		兼1 兼2	
教育科	専門科	科共通科	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学質 建築計學学 建築計學習 連連部 設計 で 建築計學 計學 で 表 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3	4 3 2 2 2 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000	0		1 1 1 2 1 1 6 1 1 2 2	1 2 3 1 1 1 5 5 1 5 5	1 1 2 1 1 1 5 1	1	0	兼1	
教育科	専門科	科共通科目	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造力学質 連築計画運動 設計資本 建築計資工 建築計算型基礎第二 材料造力学第二及び演習 都等型工学等第二及び演習 都等類型基礎第二 材料造力計画 建築計画 大部立 一国生土・コンクリート構造 網構造デザイン 住環築を設備 建築を設備 建築を設備 建築を設け、 建築に対して 建築に対して 建築に対して を を を を を を を を は が の と の と は の と の と の と の と の と の と の と の	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3	4 3 2 2 2 2 2 2 3 3 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 000	0 0		1 1 1 2 1 6 1 1 2 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	
教育科	専門科目	科共通科目 建築	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造事等 建築精造第字 建築計解。 建築計解。 建築計解。 建築計解。 建築計解。 建築計解。 基礎第二 材構造市等。 基礎第二 材料造計解。 基本の が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 2 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000	0		1 1 2 1 6 1 2 1 6 6	1 2 3 1 1 1 5 5 1 5 5	1 1 2 1 1 1 5 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	_
教育科	専門科目	科共通科目 建築学	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造事等 連築精力学質 重通基礎第一 地建設計解。 建築計解。 建築計解。 建築計解。 建築計解。 建立 、地理, 、地理, 、地理, 、地理, 、地理, 、地理, 、地理, 、地理,	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 2 4 4 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000	0 0		1 1 2 1 6 1 6 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	
教育科	専門科目	科共通科目 建築学	測量学第一及び実習 建築構造基礎第二 構造事等学 建築精力学質質通基。 一地建設計画習工學 建築計學之學 計画工學等第二 大大大学 一個工學, 一個工學 一個工學 一個工學 一個工學 一個工學 一個工學 一個工學 一個工學	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 2 4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000 0 0	0 0		1 1 2 1 6 1 2 1 6 6	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	
教育科	専門科目	科共通科目 建築学コース	測量学第一及び実習 建築構造工 構造工 機造工 機造工 機造工 資質 一 建築計 計 型 工 建築計 計 型 工 子 一 工 子 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 4 4 2 2 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000	- 0		1 1 2 1 6 1 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	_
教育科	専門科目	科共通科目 建築学コース科	測量等第二及び実置 建築第二人 構成型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 2 4 4 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000 0 0 0	0 0		1 1 2 1 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	
教育科	専門科目	科共通科目 建築学コース	測量学第一及び実習 建築構造工 構造工 機造工 機造工 機造工 資質 一 建築計 計 型 工 建築計 計 型 工 子 一 工 子 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一 工 一	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 2 2 2 2 3 3 2 2 3 3 1 2 4 4 2 2 3 3	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	0 00 00 0 0000000 0000 0 0	- 0		1 1 2 1 6 1 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 2 3 1 1 1 5 5 1 1 1	1 1 2 1 1 1 5 1 1	1 2	0	兼1 兼2 兼4	

1		建	建築設計演習第三	3後	Ī	4	Ī	1		1 1	1	2	1	I	I	1		
		築学	建築構造計算演習	3後		2			0		1	1	1					
		コース	意匠・造形学	3後		2		0)		1	2	2					
		科目	小計 (11科目)	-	15	14	0		_	_	4	3	3	0	0	兼2	_	
		н	建設構造工学及び演習	2後		3			0			1				2014-		
			地盤工学第一	2後	2			0	_				1					
			水理学	2後	2			0					-	1				
		都	都市設計演習第一	2後	2				0		1	1		_				
			測量学第二及び演習	3前	3				0		1	1				兼1		
専	_	環	地盤工学第二	3前		2		0	0		1		1			71142		
門教	専門	境工	建設環境工学	3前		2		0						1				
育	科	工学	都市設計演習第二	3前	2	2			0		1	1		1		兼1		
科	目	7	建設施工法	3後	2			0			1	1	1			NK1		
目		1	数值解析演習	3後		1			0		1	1	2	1				
		ス科	地震・防災工学	3後		2		0	0		1	1	2	1		兼1		
		目	交通計画	3後		2		0			1		_	1		/IK1		
			都市設計演習第三	3後		1			0		1	1						
			建設工学実験実習	2後	2	1				0	1	1	2	1				
			小計 (14科目)	-	15	13	0		_		4	2	2	1	0	兼3		
		卒	71.01 (1341 07)		10	13	0				-1			1	0	AK-9		
		業研	卒業研究	4通	8					0	6	5	5	2				
		究	小計(1科目)	_	8	0	0		_		6	5	5	2	0	0	_	
			工業概論	3前			2	0			5	2	2			兼1		
			工業科教育法I	2後			2	0								兼1		
			工業科教育法Ⅱ	3前			2	0								兼1		
			理科教育法Ⅲ	3後			2	0			1							
			教育の理念・歴史・思想	2後			2	0								兼2		
			教職の意義 I (公教育と教職の意義)	1後			1	0								兼3		
			教職の意義Ⅱ(学びの専門職としての教師)	2前			1	0								兼3		
	教職		教育の組織・制度・経営の基礎	2前			2	0								兼2		
	科		成長・発達と学習の過程	2前			2	0								兼2		
	目		特別教育支援総論	2後			2	0								兼1		
			カリキュラムと教育方法	3前			2	0								兼1		
			総合的な学習の時間と特別活動	3前			2		0							兼2		
			学校教育相談 I (生徒指導を含む)	3前			2	0								兼3		
			学校教育相談Ⅱ (進路指導を含む)	3後			2	0								兼3		
			教育実習(事前事後指導を含む)	4通			3			0						兼4		
			教職実践演習(中・高)	4後			2		0							兼5		
			小計 (16科目)	_	0	0	31		_		6	2	2	0	0	兼15		
			合計 (286科目)	_	93	419	45		_		6	5	5	2	0	兼192		
	学	を位こ	マは称号 学士 (工学)		学	位又は	は学科	斗の分	野	工学	分野							
			卒 業 要 件 及 び 履	修	方	法								授業	期間	等		
	【建築学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位								1 学年の学期区分							:	2 学期	
具	鴚門	基礎	科目:必修12単位を含む14単位以上 科目:必修31単位を含む37単位以上						1	学期	の授	業期	間					1 5 週
5		ス専	門科目:必修15単位を含む17単位以上						1	時限	の授	業時	間					9 0 分
			:: 必修8単位 単位以上を修得する。							- 112		<i>></i> 1< •1						>*
【老	都市	環境	江学コース】															
#	【都市環境工学コース】 共通教育科目:必修12単位を含む32単位 専門基礎科目:必修12単位を含む14単位以上																	
7	学科	共通	科目:必修31単位を含む37単位以上															
<u> </u>	本業	研究	『門科目:必修15単位を含む17単位以上 ::必修8単位															
1 6	什	124	単位以上を修得する。															

			授	業	科	目	の	概	要					
(I	学研 3	究科写	安全社会基盤工学専攻)	Τ						1				
	区分		授業科目の名称				養等の内容			備考				
			科学英語コミュニケー ション I	ミュニケー 現 オー ス 表 で イ ス 表 る 目 じ た し た し た り に り た り に り に り に り に り に り し し り し り し り し り	ション力英とからなるをいるとのである。ションのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	養成する。 養成する。 表のうちとを る文法事項の イライティン ション力の Paul) (92	学英語コミ 学術発表する。 目的とする。 の確認と、また とのなど、授	ュニケーショ 必要なスピー 基本的な英語 , 段落構成の 業内・授業タ	っ、基本的なココ コンⅠは、研究 ーキングカ、ラ 唇発音指導や自 D整った文章 トでの実践学習	共 同				
			科学英語コミュニケー ションⅡ	彙養ス行修となったのでは、まままでは、ままままでは、ままままままままままままままままままままままま	確認となが 本授業の を を を を を を で を で で で で で で で で で で で	ら、研究現場に学術発表で を目的とする 表カッションプランショップラ	場で必要とな 時に必要なプ る。効果的な イドのデザイ	るコミュニクレゼン シボンアーシンなどを解説 かなどを解説 かなせて、名	D関連領域の語 アーションカテンカーションカーションカーションカーションカーション アーションを 発した上で、履 子受講者が主体	共 同				
	共通科目A群	外国語科目	科学英語表現 I	見を発言で 予め読修 る。 で の ま を れ て の ま を れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ に れ	きそは短書, ないにす, というにす, め,れ	することを る短い講義 または3人 、クラス全 その内容を	目的とする。 を聴く,また 阻でディスカ 本に発表する グループ内で	与えられたさ はショートと ッションし, 。他のグルー 改めて議論す	自分自身の意文章を授業前に 文章を授業前に ごデオを視聴す グループとしつ 一プの意見れらの トる。これらの トアウトプット					
共 通 科 目			科学英語表現Ⅱ	かつ書面上 ループリング かったいない。 でではいる。 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	で自己の考りののできるできるできるできるできるできるできます。 こうしん こうしん こうしん こうしん でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん でんしん で	えを表現で ーク主体で , 授業成果 , 文章構成 ションで特 上を狙う。 91 Butler-	きるようにす ディスカッシ かとして短い を意識したレ	ることを目的 ョン,プレセ エッセイを書 ポートを書く る表現の習得	身し、口頭上、 りとする。グ ジンテ時間をションけ くことに関いて とと、短時間で くこと、短時間で	共 同				
			科学英語特別講義	する。エスのよりには、アンスで修ったは、アンスで修った。サン技術を	英検等各種やの定角を行う。を表現をでいる。	英語検定試験 読解問題に 分野に関連 疑応答, デ 修者と共に	験に出題され 取り組む。授 実際の使用方 した一般的な	る語彙や表明 業外学習で与 法を学ぶ。 ニ 話題について ンを通して,	すえられた課題 ロース後半で て各自プレゼン より伝わりや	共 同				
	共通共	インターン	ンター	サ 単 通	レ は 風 一	ンタ	大学院海外短期イン ターンシップ I	異なる地域 力を養う。 知識基盤を して貢献で	においても さらに,様 参考に,日 きる能力と	適応できる。 々な国の暮 本全体や福 国際的に活品	基礎的な知識 うしを形作る	・教養及び専 産業創成, 罗 域社会の暮ら 専門技術者		
	科目B群	ンシップ科目	大学院海外短期イン ターンシップⅡ	異なる地域 力を養う。 知識基盤を して貢献で IMAGINEER」	においても さらに,様 参考に,日 きる能力と としての	適応できる。 々な国の暮 本全体や福 国際的に活 長養を高める	基礎的な知識 うしを形作る 片県などの地 躍できる高度	・教養及び専 産業創成, 安 域社会の暮ら 専門技術者 同科目 I に比	べ、より長い現					

		インターンシップ科目	長期インターンシップ	様々なインターンシップや特定のスキル向上を図る短期の講座・講習を補完する形で、国内・国外の企業への2か月を目途とする長期の派遣教育を通して、産業が必要とする総合的な視野の判断能力と高度知識の育成を図る。具体的には以下のような能力の開発を目標とする。1. 高度専門知識、職業意識、高度専門スキル、2. 産業の現実の中から自発的に問題提起・目標設定し遂行する能力、3. 目標に対し系統的に達成計画を設計できる能力、4. 企業活動全体の中で自分の専門の位置づけと果たすべき役割を理解する能力、5. 目標達成のために組織を運営する能力、6. 国際的なコミュニケーション能力・状況対応能力	
		P B	PBLI	このPBLでは、工学研究科または専攻の承認を得て教員が設定したプロジェクトを、学生が主体的に推進する。具体的には、履修学生は、与えられたプロジェクトに関して個人またはグループを単位として、自ら課題を見出し、その課題解決のために調査や実験を行い、その成果をレポートにまとめる、プレゼンテーションを行う、試作品を開発するなどの形でアウトプットする。各学生が工学研究科の目指すImagineerに到達するために不可欠な、座学だけでは得られない、コミュニケーションカ、チームワークカ、課題認識力、問題解決力、行動力など実践的能力を身に着けることを目的とする。	
		L科目	PBLII	このPBLでは、工学研究科または専攻の承認を得て教員が設定したプロジェクトを、学生が主体的に推進する。具体的には、履修学生は、与えられたプロジェクトに関して個人またはグループを単位として、自ら課題を見出し、その課題解決のために調査や実験を行い、その成果をレポートにまとめる、プレゼンテーションを行う、試作品を開発するなどの形でアウトプットする。各学生が工学研究科の目指すImagineerに到達するために不可欠な、座学だけでは得られない、コミュニケーション力、チームワークカ、課題認識力、問題解決力、行動力など実践的能力を身に着けることを目的とする。通年により行う。	
共 通 科 目	共通科目B群	生命科学科目	生命複合科学特論I	(概要) 将来,生命・医学分野などへ進出できるような複合的な視野を持った研究者・技術者の育成を目指す。 広く生命科学全体にわたる知見を学び、様々な工学の専門分野で活用することができるようになる。 (オムニバス方式/全15回) (73 牧野 顕/1回) PETによる分子イメージングについて (62 松岡 達/1回) 心臓のエネジェティクスについて (74 西住 裕文/1回) 脳を究め、心を探る (63 藤井 豊/1回) 生物進化の地球史ー人類とその未来ー (75 千原 一泰/1回) アレルギー反応におけるマスト細胞の役割 (64 菅井 学/1回) 獲得免疫細胞の分化活性化制御機構 一免疫反応を制御する治療法開発へのヒントー (66 松本 英樹/1回) 低線量放射線流で落と放射線誘発バイスタンダー効果~ (89 老木 成稔/1回) 生体電気信身とその分子機構 (66 安倍 博/1回) 生脈とサーカディアンリズム (83 竹内 健司/1回) 試薬のウイルス汚染が問題となった医学研究の一例 (76 法木 左近/1回) 腫瘍学概論について (67 石塚 全/1回) 喘息・COPDについて (77 西塚 徹/1回) Pasteur的展開について (68 青木 耕史/1回) 腫瘍生物学について (47 寺田 聡/1回) 重瘍生物学について (47 寺田 聡/1回) 工業用細胞のための細胞工学/培養工学	オムニバス方式

 	生命科学科目	生命複合科学特論Ⅱ	(概要) 将来、生命・医学分野などへ進出できるような複合的な視野を持った研究者・技術者の育成を目指す。 広く生命科学全体にわたる知見を学び、様々な工学の専門分野で活用することができるようになる。 (オムニバス方式/全15回) (84 本田 信治/1回) 生命を解読・編集・創造する技術について (69 山田 雅己/1回) 細胞内ロジスティクスと脳疾患について (78 徳永 蛯憲/1回) 発生工学の基礎と応用研究について (70 大嶋 勇成/1回) アレルギーと疾病について (86 島田 浩二/1回) 認知脳科学について (79 北井 隆平/1回) 最先端技術を応用した脳神経外科手術について (71 深澤 有吾/1回) ・ を以 1回) ・ を以 1回) ・ な 1回) ・ な 2 松崎 秀夫/1回) ・ 頭類部がんのメカニズムと治療戦略について (80 成田 憲彦/1回) ・ 頭類部がんのメカニズムと治療戦略について (81 小久保 安朗/1回) 人工股関節の開発と臨床応用 (87 山口 朋子/1回) 人間とこの復権を支える科学技術 (85 辻 隆宏/1回) Clear vision for life (82 折坂 誠/1回) 妊娠のしくみと不妊治療の実際 (27 小西 慶幸/1回) 神経の細胞生物学について	オムニバス方式
	留学生中	工業日本語特論 I 工業日本語特論 I	最新の新聞、雑誌、テレビ番組等から科学工業関連記事を抜粋し、その 聴解、読解、および内容に関する作文作業を行う。この作業を通して、科 学技術関係の語彙・表現を修得すると同時に、内外の科学技術動向に関し で視野を広め、幅広い視点からの研究を促すことを目的とする。また、科 学技術の現状に沿った形で、自己の研究分野について日本語で表現・作文 する能力を高めることも目的の一つである。 学生の専攻学科内容を越えた幅広い科学技術動向の紹介により研究の深 化と、他分野専門家との交流への導入を行う。	
	向科目	上来口平前竹圃 11	取材の利雨、雑誌、アレビ番組等がら件子工業関連記事を扱行し、その 瞭解、読解、および内容に関する作文作業を行う。この 作業を通して、科 学技術関係の語彙・表現を修得すると同時に、内外の科学技術動向に関し て視野を広め、幅広い視点からの研究を促すことを目的とする。また、科 学技術の現状に沿った形で、自己の研究分野について日本語で表現・作文 する能力を高めることも目的の一つである。 学生の専攻学科内容を越えた幅広い科学技術動向の紹介により研究の深 化と、他分野専門家との交流への導入を行う。	
専攻共通科目		安全社会基盤工学特別 演習及び実験 I	(概要) 指導教員の指導のもと、先行研究の調査や予備実験等を行い、その結果をふまえて、修士論文テーマの具体的かつ詳細な研究背景・研究目的・研究目標・研究計画を策定する。 (2 鞍谷 文保) 数値解析と実験解析を併用した手法を用いて、振動・音響工学に関する課題の研究指導を行う。 (4 山田 泰弘) 安全社会基盤を高度化するための次世代型機械システムの研究課題を対象として、研究指導を行う。 (32 田中 太) 理論解析、模型実験、数値シミュレーションなどの手法を用いて、トンネル火災時における煙流動や火災拡大性状などに関する課題の研究指導を行う。 (31 酒井 康行) 量子化学および化学反応の統計論的手法を用いて、内燃機関の燃焼が抱える課題の研究指導を行う。	共 同

目

安全社会基盤工学特別 演習及び実験 I

(3 永井 二郎)

沸騰や凝縮の気液相変化現象を用いた伝熱技術やエネルギー機器を対象として、それらの現象解明や性能向上に関する研究指導を行う。

(29 川井 昌之)

人と機械の相互作用の観点から,人工現実感で用いる力覚提示やパワー アシスト機器に関する課題の研究指導を行う。

(1 太田 淳一)

マイクロバブルや微小粒子などを含む液である混相媒体に超音波を照射した場合の各々の挙動の解明について研究指導を行う。

(28 太田 貴士)

数値シミュレーションの技術を用いた乱流のような複雑な流体現象のメ カニズム解明と予測,制御に関する課題の研究指導を行う。

(30 川谷 亮治)

現代制御理論を活用して,実システムに対する制御系設計ならびにその 実装に関する研究指導を行う。

(18 飯井 俊行)

数値解析と材料強度実験を通じて、実際の構造物が無欠陥ではないということを前提とした強度評価の高度化に関する研究指導を行う。

(5 小原 敦美)

数理モデルに基づくシステム制御・最適化の理論的な方法とそれらの実 応用に関する研究指導を行う。

(6 葛原 正明)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバイス応用に関する課題の研究指導を行う。

(7 橋本 明弘)

分子線エピタキシャル(Molecular Beam Epitaxy: MBE)法及び有機金属気相成長(Organometallic Vapor Phase Epitaxy: OMVPE) 法を用いたIII族窒化物半導体及びナノカーボン材料の結晶成長及びその太陽電池応用に関する研究指導を行う。

3 研 九 拍 导 を 17 7 6 (9 福 井 一 俊)

半導体デバイス材料の物理的性質を主に光学的手法で明らかにすることを目的に,実験手法や解析方法を身に付けさせるための研究指導を行う。

(8 廣瀬 勝一)

暗号方式の設計,安全性解析および実装に関する課題の研究指導を行う。

(38 Asubar Joel Tacla)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバイス応用に関する課題の研究指導を行う。

(37 伊藤 雅一)

次世代電力システムにおける再生可能エネルギーシステムの制御, 導入 に関する課題の研究指導を行う。

(33 王 栄龍)

ソフトコンピューティングの技術を用いて,最適化問題に関する課題の 研究指導を行う。

(36 木村 欣司)

計算機代数, 教値計算について, 高効率, 高精度の行列演算アルゴリズムとそのソフトウェア実装に関する研究指導を行う。

(34 坂口 文則)

有理関数の波束の組を正規直交基底に用いて整数の四則演算だけで微分 方程式が解く手法や,それを利用した微分作用素の固有値の整数型高確度 計算法について,研究指導を行う。

(35 茂呂 征一郎)

電気・電子回路およびそれらを用いたシステムの設計・解析等をとおして、非線形理論の工学的応用に関する研究指導を行う。

(58 重信 颯人)

次世代電力システムの配電系統におけるエネルギー運用に関する課題の 研究指導を行う。

(10 明石 行生)

社会背景の調査と文献調査に基づいて光環境に関する課題を明らかに し、その課題を視覚・色覚のメカニズムに基づいて解決するための研究指 導を行う。

(11 石川 浩一郎)

金属系及び木質系建築構造物の塑性論や振動論等を用いて, 弾塑性解析 法や性能評価等の課題の研究指導を行う。

(12 磯 雅人)

鉄筋コンクリート造建物の設計・施工・維持管理に関する様々な課題・ 問題に対して、実験および解析等を通じて、それらを解決・克服するため の開発・提案ができるように研究指導を行う。

(13 小嶋 啓介)

地域の三次元地下構造の解明を目的とし、地盤の振動計測情報から弾性波速度構造を求める方法等に関する基礎的研究指導を行う。

(14 野嶋 慎二)

文献調査や事例調査、現場視察等を通して都市計画及びまちづくりの課題の研究指導を行う。

(39 井上 圭一)

建築構造物や構造部材の力学的挙動の解明や構造性能の評価法などに関して解析や実験を用いた研究指導を行う。

専 攻 共 通 科 目

安全社会基盤工学特別
演習及7K宝驗 Ⅰ

(15 川本 義海)

地方都市や過疎地域における生活交通の確保,環境負荷の小さな交通のあり方,人と車のより良い関係づくり,原子力施設立地と地域との共生, 雪国らしい地域づくり,地域の自立的・持続的発展のための方法論に関する研究指導を行う。

(40 菊地 吉信)

フィールドワーク, 統計分析等の手法を用いて, 住環境計画, 居住政策, 都市計画の諸課題に関する研究指導を行う。

(42 鈴木 啓悟)

構造物の維持管理向上を目的とする研究課題について,構造物モニタリング,構造耐荷力,非破壊評価に関する研究指導を行う。

(43 原田(山形)陽子)

人口減少時代における低未利用地の創造的活用による住環境や生活の質の向上に関する研究指導を行う。

(51 藤本 明宏)

熱・水分収支法の手法を用いて、積雪寒冷地の斜面崩壊の課題の研究指導を行う。

(53 桃井 良尚)

熱・空気環境の分野について、専門書の輪講および最新論文の調査を行わせ、環境設計に用いる定量的評価指標について習得させる。各研究室で開発した自作プログラムあるいはそれらの評価指標が計算できる市販ソフトを調査することにより計算シミュレーション技術の現状を把握させる。学生には、これらの計算ツールを用いさせて、実務的課題の解決に取り組ませる。

(54 山田 岳晴)

日本建築史・文化財学に関する実測調査・史資料調査・先行研究調査等 を行い、課題を明らかにし、解明に導くための研究指導を行う。

(17 玉川 洋一)

小型原子炉ニュートリノモニターの開発について研究指導を行う。

(16 桑水流 理)

構造材料の強度に関する知識を身に付けさせ、実験力学および計算力学 の手法を用いた新しい評価・設計方法について研究指導を行う。

(44 川崎 大介)

放射性廃棄物処分や廃止措置における計算機シミュレーションを用いた 安全評価手法の高度化を課題とし、放射性廃棄物管理の安全確保及び合理 化に関する研究指導を行う。

(56 松尾 陽一郎)

放射線の被ばくによる生体応答・影響の解明について研究指導を行う。 (55 中島 恭平)

放射線計測技術を用いた素粒子・原子核実験について研究指導を行う。 (19 有田 裕二)

核燃料サイクル,新型炉,燃料デブリに関する知見を調査させ,関連材料評価に対する物性論的研究指導を行う。

(21 宇埜 正美)

(20 泉 佳伸)

放射線の生体分子及び細胞への影響について理解させ、培養及び試料精製・作製、照射、分析、データの取り扱い等の一連の研究指導を行う。 (24 渡辺 正)

原子炉事故時の熱流動現象について理解させ,安全評価解析の高精度 化,事故管理の最適化,応用解析技術について研究指導を行う。

(22 福元 謙一)

照射下における材料挙動の素過程や原子力材料の照射効果・照射損傷について、中性子・イオン・電子照射を用いた実験や現象論模擬シミュレーション・速度論計算等を用いて理解し、材料健全性評価や予防/対応措置手法を習得する。

(23 安田 仲宏)

原子力災害に強い地域連携について研究指導を行う。

(46 Van Rooijen Willem Frederik Geert)

原子炉の安全設計と安全運転のための基礎研究: (1)原子炉の数値解析手法の開発, (2)原子炉の新たな分野への適用とその設計, (3)社会的な負担を減らす原子炉の開発などの研究指導を行う。

(45 大堀 道広)

(49) 入畑 垣瓜) 原子力施設の立地地域とその周辺自治体において,地震と津波に関する 被害事実・観測結果を調査させた上で,将来の災害軽減を目指した地震・ 津波の解析研究の指導を行う。

安全社会基盤工学特別 演習及び実験 II

(概要)

研究計画に沿って修士論文の研究を遂行し、中間報告を行う。これらを通して、修論研究に関する専門知識を獲得し、さらに情報を収集・分析・整理し問題を解決する問題解決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

(2 鞍谷 文保)

数値解析と実験解析を併用した手法を用いて、振動・音響工学に関する 課題の研究指導を行う。

(4 山田 泰弘)

安全社会基盤を高度化するための次世代型機械システムの研究課題を対象として、研究指導を行う。

共 同

共 同

安全社会基盤工学特別 演習及び実験Ⅱ

(32 田中 太)

理論解析、模型実験、数値シミュレーションなどの手法を用いて、トン ネル火災時における煙流動や火災拡大性状などに関する課題の研究指導を

(31 酒井 康行)

量子化学および化学反応の統計論的手法を用いて, 内燃機関の燃焼が抱 える課題の研究指導を行う。

(3 永井 一郎)

沸騰や凝縮の気液相変化現象を用いた伝熱技術やエネルギー機器を対象 として、それらの現象解明や性能向上に関する研究指導を行う。

(29 川井 昌之)

人と機械の相互作用の観点から、人工現実感で用いる力覚提示やパワー アシスト機器に関する課題の研究指導を行う。

(1 太田 淳一)

マイクロバブルや微小粒子などを含む液である混相媒体に超音波を照射 した場合の各々の挙動の解明について研究指導を行う。

(28 太田 貴士) 数値シミュレーションの技術を用いた乱流のような複雑な流体現象のメ カニズム解明と予測、制御に関する課題の研究指導を行う。

(30 川谷 亮治)

現代制御理論を活用して、実システムに対する制御系設計ならびにその 実装に関する研究指導を行う。

(18 飯井 俊行) 数値解析と材料強度実験を通じて,実際の構造物が無欠陥ではないとい うことを前提とした強度評価の高度化に関する研究指導を行う。

小原 敦美)

数理モデルに基づくシステム制御・最適化の理論的な方法とそれらの実 応用に関する研究指導を行う。

葛原 正明)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバ イス応用に関する課題の研究指導を行う。

橋本 明弘) (7

分子線エピタキシャル(Molecular Beam Epitaxy : MBE)法及び有機金 属気相成長(Organometallic Vapor Phase Epitaxy : OMVPE)法を用いた III族窒化物半導体及びナノカーボン材料の結晶成長及びその太陽電池応用 に関する研究指導を安全社会基盤工学特別演習及び実験Iに引き続き修士 論文の完成に向けて行う。

一俊) 福井

半導体デバイス材料の物理的性質を主に光学的手法で明らかにすること を目的に、実験手法や解析方法を身に付けさせるための研究指導を行う。 廣瀬 勝一)

暗号方式の設計、安全性解析および実装に関する課題の研究指導を行

(38 Asubar Joel Tacla)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバ イス応用に関する課題の研究指導を行う。

(37 伊藤 雅一)

次世代電力システムにおける再生可能エネルギーシステムの制御,導入 に関する課題の研究指導を行う。

(33 王 栄龍)

ソフトコンピューティングの技術を用いて、最適化問題に関する課題の 研究指導を行う

(36 木村 欣司)

計算機代数,数値計算について,高効率,高精度の行列演算アルゴリズ ムとそのソフトウェア実装に関する研究指導を行う。

(34 坂口 文則)

有理関数の波束の組を正規直交基底に用いて整数の四則演算だけで微分 方程式が解く手法や,それを利用した微分作用素の固有値の整数型高確度 計算法について,研究指導を行う。

(35 茂呂 征一郎)

電気・電子回路およびそれらを用いたシステムの設計・解析等をとおし 非線形理論の工学的応用に関する研究指導を行う。

(58 重信 颯人)

次世代電力システムの配電系統におけるエネルギー運用に関する課題の 研究指導を行う

(10 明石 行生)

社会背景の調査と文献調査に基づいて明らかにした課題を解決するため の実験またはコンピュータシミュレーションを計画・実施し、論文を執筆 するために研究指導を行う。

(11 石川 浩一郎)

金属系及び木質系建築構造物の静的及び動的弾塑性解析や実験等を用い て、耐雪性能評価や耐震・制振等の性能設計の課題の研究指導を行う。

(12 磯 雅人)

鉄筋コンクリート造建物の設計・施工・維持管理に関する様々な課題・ 問題に対して、実験および解析等を通じて、それらを解決・克服するため の開発・提案ができるように研究指導を行う。

(13 小嶋 啓介)

地域の三次元地下構造の解明を目的とし, 地盤の振動計測情報から弾性 波速度構造を求める方法等に関する応用的研究指導を行う。

攻 共 诵 科

目

車

安全社会基盤工学特別
演習及び宝輪Ⅱ

(14 野嶋 慎二)

具体的なプロジェクトに取り組み、実践や提言を通して、都市計画及び まちづくりの計画技術を習得し、望ましい都市構造と自律的な都市再生の 方法論を研究課題とし、包括的な計画技術の研究指導を行う。

(39 井上 圭一)

建築構造物や構造部材の力学的挙動の解明や構造性能の評価法などに関 して解析や実験を用いた研究指導を行う。

(15 川本 義海)

道路空間の利活用、冬期の道路交通確保、安全安心な交通環境づくり、 公共交通の維持及び活性化、原子力と地域との共生に関する課題の研究指 導を行う

(40 菊地 吉信)

フィールドワーク, 統計分析等の手法を用いて, 住環境計画, 居住政 策,都市計画の諸課題に関する研究指導を行う。

(42 鈴木 啓悟)

構造物の維持管理向上を目的とする研究課題について,構造物モニタリ ング,構造耐荷力,非破壊評価に関する研究指導を行う。 (43 原田(山形)陽子)

人口減少時代における低未利用地の創造的活用による住環境や生活の質 の向上に関する研究指導を行う。

(51 藤本 明宏)

冬期道路における路面凍結問題を取り上げ,凍結予測や凍結防止剤散布 の効率化の課題の研究指導を行う

(53 桃井 良尚)

熱・空気環境の分野について、専門書の輪講および最新論文の調査を行 わせ、環境設計に用いる定量的評価指標について習得させる。それらの評 価指標を算出するための現場測定方法や測定技術の現状を把握させる。学 生には、これらの測定機器を用いて、実務的課題の解決に取り組ませる。 また、測定機器を使用するにあたって重要な機器の取り扱い方や注意点、 機器の較正方法についても習得させる。

(54 山田 岳晴)

日本建築史・文化財学に関する調査結果・史資料等をまとめ、課題につ いて解明し、学術的に適切に表現するための研究指導を行う。

(17 玉川 洋一)

小型原子炉ニュートリノモニターの開発について研究指導を行う。

(16 桑水流 理)

構造材料の強度に関する知識を身に付けさせ、実験力学および計算力学 の手法を用いた新しい評価・設計方法について研究指導を行う。

(44 川崎 大介)

放射性廃棄物処分や廃止措置における計算機シミュレーションを用いた 安全評価手法の高度化を課題とし、放射性廃棄物管理の安全確保及び合理 化に関する研究指導を行う。

(56 松尾 陽一郎) 放射線の被ばくによる生体応答・影響の解明について研究指導を行う。 (55 中島 恭平)

放射線計測技術を用いた素粒子・原子核実験について研究指導を行う。

(19 有田 裕二) 核燃料サイクル,新型炉,燃料デブリに関する知見を調査させ、関連材 料評価に対する物性論的研究指導およびプレゼン指導を行う。

(21 字埜 正美)

燃料ペレットと被覆管からなる燃料について、通常運転時および事故時 の熱的 性質および機械的性質について,模擬物質を用いた実験や熱力学計算等により理解するとともに,その評価方法を習得する。

泉 佳伸) (2.0)

放射線の生体分子及び細胞への影響について理解させ、培養及び試料精 製・作製、照射、分析、データの取り扱い等の一連の研究指導を行う。

(24 渡辺 正) 原子炉事故時の熱流動現象について理解させ,安全評価解析の高精度

化、事故管理の最適化、応用解析技術について研究指導を行う。 (22 福元 謙一)

照射下における材料挙動の素過程や原子力材料の照射効果・照射損傷に ついて,中性子・イオン・電子照射を用いた実験や現象論模擬シミュレー ション・速度論計算等を用いて理解し、材料健全性評価や予防/対応措置 手法を習得する。

(23 安田 仲宏)

原子力災害に強い地域連携について研究指導を行う。

Van Rooijen Willem Frederik Geert)

原子炉の安全設計と安全運転のための基礎研究:(1)原子炉の数値解析手 法の開発、(2)原子炉の新たな分野への適用とその設計、(3)社会的な負担 を減らす原子炉の開発などの研究指導を行う。

(45 大堀 道広)

原子力施設の立地地域とその周辺自治体において、地震と津波に関する 被害事実・観測結果を調査させた上で、将来の災害軽減を目指した地震・ 津波の解析研究の指導を行う。

安全社会基盤工学特別 講義I

外部講師を招き,「安全社会基盤」工学に関わる最新のトピックを講義 することで, 専門分野の研究動向及び深い知識の理解を図る。

		安全社会基盤工学特別 講義Ⅱ	外部講師を招き, 「安全社会基盤」工学に関わる最新のトピックを講義することで, 専門分野の研究動向及び深い知識の理解を図る。	
	専 攻 共 通	安全社会基盤工学ゼミ ナール I	(概要) 修論研究に関連する論文の要点をまとめ、発表、討論することで、自分の研究の位置づけの深い理解を図る。 (2 鞍谷 文保) (4 山田 泰弘) (32 田中 太) (31 酒井 康行) (3 永井 二郎) (29 川井 昌之) (1 太田 淳一) (28 太田 貴土) (30 川谷 亮治) (18 飯井 俊行) (5 小原 敦美) (6 葛原 正明) (7 橋本 明弘) (9 福井 一俊) (8 廣瀬 勝一) (38 Asubar Joel Tacla) (37 伊藤 雅一) (33 王 栄龍) (36 木村 欣司) (34 坂口 文則) (35 茂呂 征一郎) (58 重信 颯人) (10 明石 行生) (11 石川 浩一郎) (12 磯 雅人) (13 小嶋 齊介) (14 野嶋 慎二) (39 井上 圭一) (15 川本 義海) (40 菊地 吉信) (42 鈴木 啓悟) (43 原田 (山形) 陽子) (51 藤本 明宏) (53 桃井 良尚) (54 山田 岳晴) (17 玉川 洋一) (16 桑水流 理) (44 川崎 大介) (56 松尾 陽一郎) (55 中島 恭平) (19 有田 裕二) (21 宇埜 正美) (20 泉 佳伸) (24 渡辺 正) (22 福元 謙一) (25 大堀 道広)	共 同
	科目	安全社会基盤工学ゼミ ナールⅡ	(概要) 修論研究に関連する論文の要点をまとめ、発表、討論することで、自分 の研究の位置づけの深い理解を図る。	共 同
			(2 較谷 文保) (4 山田 泰弘) (32 田中 太) (31 酒井 康行) (3 永井 二郎) (29 川井 昌之) (1 太田 淳一) (28 太田 貴士) (30 川谷 亮治) (18 飯井 俊行) (5 小原 敦美) (6 葛原 正明) (7 橋本 明弘) (9 福井 一俊) (8 廣瀬 勝一) (38 Asubar Joel Tacla) (37 伊藤 雅一) (33 王 栄龍) (36 木村 欣司) (34 坂口 文則) (35 茂呂 征一郎) (58 重信 颯人) (10 明石 行生) (11 石川 浩一郎) (12 磯 雅人) (13 小嶋 啓介) (14 野嶋 慎二) (39 井上 圭一) (15 川本 義海) (40 菊地 吉信) (42 鈴木 啓悟) (43 原田 (山形) 陽子) (51 藤本 明宏) (53 桃井 良尚) (54 山田 岳晴) (17 玉川 洋一) (16 桑木流 理) (44 川崎 大介) (56 松尾 陽一郎) (55 中島 恭平) (19 有田 裕二) (21 宇埜 正美) (20 泉 佳伸) (24 渡辺 正) (22 福元 謙一) (23 安田 仲宏) (46 Van Rooi jen Willem Frederik Geert) (45 大堀 道広)	
		社会インフラ概論	(概要) 多様性を持った社会を支えるインフラの形成について、実例等を踏まえて概説する。主に、電気電子に関わるシステムや構成、および建築土木に関わる構造、計画、意匠、設計など幅広い社会インフラの関連分野について解説する。 (オムニバス方式/全15回)	オムニバス方式
専 攻 科 目 群	社会インフラ科目群		(名 英藤 勝一/1回) 情報通信ネットワークにおける通信制御及び交換の技術、インターネットの仕組み、無線通信、ネットワークセキュリティについて概説する。(33 王 栄龍/1回) あいまいな情報や不完全な情報を柔軟に処理することができるソフトコンピューティング技術の現状と将来、およびその代表的な手法であるニューラルネットワークの概要を解説する。(34 坂口 文則/1回) 音声・画像などの信号処理技術において線形代数やフーリエ解析などの数学の理論が具体的にどのように応用されているのか、その概略を解説し、社会インフラのために数学がどのように役立っているかを紹介する。(35 茂呂 征一郎/1回) 電気回路の動作解析手法について、ラプラス変換を用いた過渡解析手法やフェーザ法による定常解析手法について解説する。これらの手法が電気回路のみならず、工学の様々な分野で用いられる手法であることを事例を基に解説する。(36 木村 欣司/1回) 近年注目されているデータサイエンスにおける応用例を題材として計算科学の基礎を支える数値解析と計算機代数を概観する。	

	社会インフラ概論	(57 田邉 英彦/1回) 高度情報化社会を支える通信システムや記録システムなどにおいて誤り 制御技術は重要な役割を果たしている。本授業では、誤り制御の仕組みや 実装方法、応用例などについて解説する。 (13 小嶋 啓介/1回) 過去の地震被害を概観し、地震被害に影響を与える諸要因について概説 する。 (39 井上 圭一/1回) 地震災害が多発しており、今後も大きな地震災害の発生も懸念されている現状を踏まえ、建築物の耐震設計法の現状、免震構造及び制振構造の考え方や現状などを解説する。 (43 原田(山形)陽子/1回) 人口減少時代の地方都市において今後生じることが予想される住環境や 都市の課題を紹介した上で、低未利用地の創造的活用などによる住環境や 生活の質の向上に向けた改善策を考える。 (40 菊地 吉信/1回) 既存ストック活用と空き家問題等の実践的課題を題材として、住環境計画の手法と施策の概要を解説する。 (14 野嶋 慎二/1回) 都市づくりの歴史的な経緯及び近年の都市の課題や潮流を踏まえた都市 デザインやまちづくりの方法などについて実践事例を通して解説する。 (42 鈴木 啓悟/1回) 社会インフラの内、主に橋梁をテーマにして、社会的役割、設計手法、 維持管理手法について概説する。 (52 本間 礼人/1回) 構造物のみならずインフラの構成材料であるコンクリートの基礎的性質、施工上ならびに耐久上の問題を取り上げ、現状と取られている対策について解説する。 (54 山田 岳晴/1回) 社会生活の背景にある文化をふまえ、日本建築の見方の基礎知識を得る とともに、日本建築の意匠(デザイン)・構造が変化することを理解する。 (41 木曽 (本多)久美子/1回) 人間を含む多様な要素からなる人間一環境系としての環境の捉え方及 び、人間一環境系における建築・都市空間のあり方について探求する。 通して、現代における建築・都市空間のあり方について探求する。	オムニバス方式
専 攻 科 目 群 社会インフラ科目群	量子エネルギー応用論 半導体デバイス	(概要) 原子力や量子エネルギー分野の最前線を学ぶ。講師として、JAEA(原子力研究開発機構)の研究・開発を担当している研究者が担当する。 (オムニバス方式/全15回) (94 長谷川 和男/1回) 加速器の初歩とJ-PARC (95 月森 和之/2回) 廃止措置技術実証試験センター (スマデコ) 見学・体験会 (96 辻本 和文/1回) 加速器を用いた分離変換技術開発 (97 酉原 哲夫/1回) 高温ガス炉研究開発 (98 吉田 啓之/1回) 原子力安全性向上研究 (99 呉田 昌俊/1回) 原子力基礎基盤研究 (100 芳賀 芳範/1回) 先端原子力科学研究 (100 芳智 芳範/1回) 七一ぜ一技術の原子力保全への応用(溶融塩蓄熱発電の紹介) (102 金子 耕士/1回) 南出カレーザーによる熱加工と計算科学シミュレーション (104 井口 幸弘/1回) 廃止措置工学(ふげんの事例を踏まえて) (105 小山 真一/1回) 「序庭」にむけた大熊分析・研究センターの取り組み (106 大字 博昭/1回) 高速炉ブラントの動特性、機器内部熱流動の解析評価 (107 宮原 信哉/1回) 次世代炉システムの展望 ・半導体におけるボルツマン輸送方程式の導出方法とその意味について概説する。また、ボルツマン輸送方程式ので表的な近似解法を示し、半導体における電子輸送の基本式を理解する。次に、MOSダイオードの基礎とMOSFETの基本動作に関連して、MOSキャパシタのバンド構造、表面ボテンシャルの定義、蓄積・空乏と反転、理想C-V曲線、フラットバンド電圧、界	オムニバス方式

半導体に限らず絶縁体及び金属の結晶構造、電子構造、そして電気的 電子物性特論 熱的・光学的及び磁気的性質について概説する。あえて学部の「固体電子 論」で用いた教科書を再度採用し、一度読んだことのある教科書で学部時 代の復習から始め、卒業研究の土台となっていた固体の基本的性質を、卒 業研究を経た後においてより深く理解することを目的に、参考書も参考に し、量子力学・統計力学の知識も合わせながら、対話形式で講義を行う。 また、学部の講義では手薄だった半導体以外の物性にも配慮する。 システムとは、いくつかの要素が相互に密接に影響を及ぼしあい有機的 システム工学特論 につながっていて、まとまりや仕組みを形作って機能を発揮する集合体を システム工学は、システムの目的をもっとよく達成するために、対 象となるシステムの構成要素、組織要素、情報の流れ、制御機構などを分 析し、設計する工学技法である。本講義では主に、今後ますます複雑化・ 大規模化するシステム各種に対応できる工学技法であるシミュレーション 及び最適化について講義する。 信号処理特論 音声信号や過渡現象の測定データなどのように性質が時間的に激しく変 化する非定常な信号を分析するために有用な各種の数学的理論について詳 しく学ぶ。具体的には、重み付き直交多項式、Gabor変換、ウェーブレット変換、フラクショナル・フーリエ変換などの理論について解説する。これらの理論は、微分演算子とそれらが作る代数に深く関係しており、これら 変換, についても詳しく解説する。また、これらの理論は信号処理に応用される だけでなく、特に微分演算子とそれらが作る代数は不確定性原理など量子 力学の数学的基礎と密接な関連を持ち,それらの関連についても触れる。 計算科学 計算科学とは、計算機を効率的に利用して、理学、工学、さらには、経 済活動の問題までも扱う学問であり、数値解析と計算機代数は、その基礎を支える。HPC (ハイパフォーマンスコンピューティング) 技術と離散可積分系を基盤として,数値解析では、主に数値線形代数を、計算機代数では。 行列式・固有多項式・終結式・判別式・実根探索などをテーマとして最近 の進展を紹介する。さらに,数値線形代数の応用例として,近年注目され ているデータサイエンスの話題を取り上げる。 専 社 숲 攻 インフ 社会的・経済的活動において、日々発展し続ける重要な基盤技術であるコンピュータ・システム及びコンピュータ・ネット―ワークに関する講義 計算機工学特論 科 ラ と演習を行う。コンピュータ・ネットワークにおける講義では、プロトコ B 科 ル体系やアーキテクチャなどについて解説し、基本的な操作に関してコン ルドボイン・インターではこれで呼ばり、金年的な採行に関してコンピュータを用いた演習を行う。また、オペレーティング・システムの概念や管理方法などを学ぶために、仮想計算機を利用したオペレーティング・システムの導入や運用方法に関する演習を行う。本授業によって、計算機工学に関する基本的な知識や技能を習得することを目標とする。 目 群 莊 建築物の構造部材や骨組に関して, 弾塑性を考慮した力学性状, 塑性解析法, 増分解析法の概略を概説し, 構造設計に応用できる知識と技術を学 建築弾塑性力学 る。構造種別として、主に鋼構造を対象とする。弾塑性を考慮した力学性 状と塑性解析、増分解析の基本的な考え方を理解したうえで、例題の解析 などを実施し構造設計に応用できる能力を身に付ける。 耐震設計の実務で必要となる保有水平耐力等の解析法を修得する。構造 設計者として必要な建築設計における考え方及び解析手法の知識を身に付 ける。 人口減少時代の今後の我が国の住環境・都市環境を考える上で重要である と考えられるいくつかのテーマを挙げた上で、学生がそれらのテーマに関 する具体例や考察した内容をレポートに記述する。また、テーマごとに担 建築都市計画特論 当学生が毎回プレゼンテーションを行い、それに対して参加学生全員で意 見交換を行う。 都市論 都市計画・建築計画の基盤には都市の在り様に対する理解が不可欠であ る。本科目では都市について多面的に考察し、その在り様に対する視座を 涵養することを目標として、基本的文献の通読と討議を行う。都市計画関 連の教育目標の延長にある。 西欧の古典的な都市デザインの手法を通して、都市について考え、現在の都市デザインの方法を考える。過去と現在、西欧と日本、マクロとミクロを対比しながら、都市をデザインし計画するとは何かについて考える。また、同時にデザインや文化から、都市や都市づくりについて議論する。 都市計画特論

		土木構造特論	土木構造物の設計に必要な外力,安全性の照査の各種手法を解説し,さらに維持管理上のポイントである疲労破壊とその設計,腐食現象,また各種非破壊検査手法について解説する。	
		構造材料学	水と土に接することが出来る唯一の人工材料として、構造物のみならず 社会基盤の構成材料であるコンクリートの各構成素材のより高度な情報の 講義を前半にて行う。後半は施工性ならびに耐久性の改善のための新しい 各種工法および省力化のための自動化、ロボット化のことについて講義 し、より高度なコンクリートの技術者としての知識を総合的に養う。	
	社会インフ	日本建築史特論	社寺建築・住宅建築・城郭建築など,日本建築の意匠・構造の本質を歴史的観点から実践的に理解する。日本建築の美を学び,自然と風土が生きる地域的特徴が,世界的評価の根源であることを学ぶ。建築の実物に触れるなど学生の積極的な学習参加により,具体的に日本建築を理解し,伝統建築の設計等に必要とされる専門的で多様性を備えた日本の建築技術者としての実践的能力を養う。	
	ラ科目群	建築計画学特論	現代における建築の設計や計画の実践に資する、基礎的な知識や方法について建築計画学の視点から解説する。中でも人間行動を基準とした空間デザインをキーワードとして、建築計画学の各種理論を講じることを通して、設計や計画の実践における理論的基盤を与え、豊かな生活環境を育むための建築・都市空間のデザイン方法について探求していく。本講義を通して、建築物の設計や計画のプロセスを俯瞰的な視点から理論的に理解することができるようになること、またそれに基づいて計画や設計の実践ができるようになることを目標とする。	
専		建築インターンシップ	講義,演習等で学んだ内容を活かして,実際の建築士事務所等で実務を体験しながら,建築設計・構造設計・設備設計についての知識を深め,専門家になるために必要な技術を身につける。また実務の現場で働く人々との交流を通して職業倫理を身に付け,実践的な能力を育成することを目的としている。	
攻 科 目 群	エネルギー科目群	エネルギー概論	(概要) 安全で持続可能な社会の実現に必要不可欠なエネルギーシステムの現状と将来を概説する。主に、原子力発電を含む各種発電システムと電力ネットワーク,およびエネルギー関連機器における熱流体工学について解説する。 (オムニバス方式/全15回) (1 太田 淳一/1回) エネルギー利用と安全性の関連性をふまえ、流体を扱う機械(流体機器)の概要を解説する。 (3 未井 二郎/3回) 地球温暖化とエネルギー利用の関連性をふまえ、火力・原子力発電所を含む熟機関の現状と将来、および省エネルギー機器としてのヒートボンブ・ヒートバイプの概要を解説する。 (32 田中 太/1回) 身近な災害である火災の発生と拡大を防ぐための各種消火設備について、その概要を解説する。 (28 太田 貴士/1回) 各種流体機械の安全性とエネルギー効率に関わる複雑流体現象の特像と、数値シミュレーション技術を用いた予測方法の概要を解説する。 (31 酒井 康行/1回) 内燃機関に課されている法規制、および高効率・クリーンな燃焼を目指した次世代の内燃機関の開発について解説する。 (48 福島 密悟/1回) 近年、加工技術の進展により微細化していくデバイス内部における熱流体現象を理解するために、原子・分子の観点から物理現象を理解する重要性を実例を用いて解説する。 (7 橋本 明弘/2回) 再生可能エネルギー利用の現状について、特に内接合太陽電池の発電原理及びその特性を中心に概要を基礎的な視点から解説する。 (5 小原 敦美/3回) 各種エネルギー側の特性を活かした効率的利用を目指すエネルギーマネジメントにおいて、最適化手法の重要性が増してきている。一例として、ハイブリッド車においてエンジン・モータへのトルク分配をどのように行えば最適燃費走行が達成できるかを数理計画を用いて導出する。 (37 伊藤 雅一/1回) ボワーエレクトロニクスは電力の変換、制御を扱うもので、電力を有効に使うために不可欠な技術である。この講義は電力の変換、制御に関する基礎知識と応用について論じる。 (58 重信 颯人/1回) 電力システムを構成する各種電気機器の原理について、電力システム理論の基礎から概観する。	オムニバス方式

社会基盤となるシステムでは気液二相状態の媒体によってエネルギを輸 エネルギー輸送 送する場合が存在する。エネルギー輸送において現れる気液二相流につい て説明する。すなわち、具体的な流れの状態を表す気液二相流の流動様式 の概要、流動様式の判別のための流動様式線図、解析方法として均質流モ デルの基礎式、分離流モデルの基礎式、圧力損失の推定方法、臨界二相 流、ドリフトフラックスモデル等を概説する。さらに、これらに関連する 学術論文を紹介する。 数值流体力学 流体力学の基礎方程式をコンピューターを利用した数値シミュレーショ ンの技術で解くための数値解析法を習得することを目指す。 流れの数値シミュレーションにおける微分方程式の離散化方法、時間積分 法とその安定化の理論に関する知識を学ぶ。さらに、流体機械の安全性と エネルギー効率を予測、改善するための高度な専門知識として、各種乱流 モデルの利用や複雑な流れの現象の数値シミュレーションを実現するため の数値解析手法を理解する。 燃焼は燃料からエネルギーを抽出する手段として我々の身近な所で幅広 燃焼工学 く利用されている。固体・液体・気体燃料の燃焼に関連する化学および物 理の基本事項を学び、着火、消炎、火炎伝播、爆発限界、燃焼排出物生成 などの諸現象について詳細に解説する。また、内燃機関やガスタービンな どの燃焼機器の開発ツールとして必須である燃焼シミュレーションについ て、燃料の化学反応や流れ場のモデル化に関する最新の研究成果ついても 解説する。 統計力学 物質の物理的な特性を理解するためには、物質を分子の集まりとして捉 えその振る舞いを理解する必要がある。本講義では,微視的な観点から系 の巨視的な性質を導くという統計力学の基本的な考え方を解説して,実際の物質への適応例を用いて理解することを目的とする。到達目標は巨視的 な状態を記述する熱力学と微視的な状態を記述する力学との関連を理解す ること及び確率論の観点から物理現象及び工学的に重要な現象を理解し解 説できるようになることである。具体的にはマイクロカノニカルアンサン 車 ブルを始めとした基礎的な統計集団を理解し、固体比熱の温度依存性や黒 体輻射といった典型的な現象の説明を行う。 ネ 攻 ル ギ 科 科 英文の資料を使って半導体デバイスとしての太陽電池の基礎を学ぶ。 Ħ エネルギー工学特論 目 時に技術英文の正確な読み方,表現方法についても学ぶ。具体的には、序論としての太陽電池開発の歴史と現状の解説から始まり、太陽光スペクト 群 群 ルに関する基礎的事項やpn接合太陽電池の理想的な変換効率の求め方及び 損失の主因,また,Spectral Response,I-V特性や温度特性などについて論じる。さらに,後半では,高変換効率化に向けた太陽電池デバイス構造 やヘテロ接合太陽電池への展開などについて論考する。最後に、経済性や 半導体資源の有効活用を目指した新たな薄膜太陽電池の現状や太陽光発電 システムの一例として集光型太陽発電システムなどについても論考する。 パワーエレク トロニク 電力の変換・制御において重要な役割を担うパワーエレクトロニクスに 電力シスト 明神においく里安な区割を担フハワーエレクトロニクスについて、その基礎を理解すると共に、専門的な英語表現に慣れることを目標とする。最初にパワー半導体デバイスと電力変換・制御の概要について講義し、次に、コンバータおよびインバータの原理と特性について講義す ス特論 る。最後にそれらを基礎として、パワーエレクトロニクスの応用について 講義する。 電力システムを構成する各種電気機器の電気的等価回路表現を学び, 電力システム ステム全体の安定度、潮流計算、などの取り扱い方に習熟する。平衡三相 交流について論じた後、変圧器や送電線の等価回路について論じる。さら に、電力系統における周波数と電圧の特性について論じた後、安定度の計算法と安定度の向上対策について論じる。これらをとおして電力システム 理論に習熟すると共に、技術英語表現法を学ぶ。 様々な熱事象(伝熱現象や熱力学)が関与する社会的な問題や種々の技術を概説し、エネルギーシステムへの理解を深めるとともに、熱工学技術をしてのセンスを養うことを目的とする。環境・エネルギー問題と解決 埶事象・エネルギーシ ステム 策に関連するテーマ、および伝熱現象や熱力学が複合的に関与する様々な 機器やシステムについて講義する。

原子炉システム基礎I オムニバス方式 原子力発電システムの成り立ちとその機能について理解するため、原子 炉理論・伝熱流動理論・材料物性などの基礎について解説する。 (オムニバス方式/全15回) (46 Van Rooijen Willem Frederik Geert/3回) 原子炉炉心の挙動を理解するための炉物理・核反応の概要を解説する。 (24 渡辺 正/3回) 原子炉の安全を保つための炉心冷却に関する伝熱流動現象の基礎理論と 原子炉挙動の基礎を解説する。 (21 宇埜 正美/3回) 原子燃料の形態・性質について、基礎物性との関わりを解説する。 (22 福元 謙一/3回) 原子炉で使用される材料に関して、その特徴について解説する。 (19 有田 裕二/3回) 核燃料再処理に関する基礎化学を解説する。 原子炉システム基礎Ⅱ オムニバス方式 原子炉理論・伝熱流動理論・材料物性などの基礎を元として、現行炉の 構成や新型炉の設計について解説する。 (オムニバス方式/全15回) (46 Van Rooijen Willem Frederik Geert/3回) 炉物理・核反応の知識を元としてそれがどのように原子炉炉心の設計に 展開できるかを解説する。 (24 渡辺 正/3回) 伝熱流動現象の基礎理論と原子炉挙動の理解によってより原子炉を安全 を保つための機能設計に生かされているか解説する。 (21 字埜 正美/3回) 原子燃料の炉内での挙動について、基礎物性との関わりを解説する。 (22 福元 謙一/3回) 原子炉で使用される材料に関して、原子炉内での挙動について解説す (19 有田 裕二/3回) 核燃料再処理・処分に関する諸問題とその科学的背景を解説する。 専 核燃料サイクルについて学習する。同時に,放射線被爆管理・放射線計 測・ウラン抽出・高速増殖炉・ナトリウム冷却炉・高レベル放射性廃棄物 ネル 核燃料サイクル実習 攻 の地層処分などについて実験・実習をとおして理解させる。日本原子力研 ギー 科 究開発機構東海事業所における5日間の実習を主体とする。 科 目 目 群 原子炉実習 教育炉(近畿大学,近大炉)または研究炉(京都大学臨界集合体, 共 同 莊 KUCA) を用いた原子炉の実習。原子炉の臨界近接により原子炉の臨界状態 を学び、中性子束の測定を実施し、制御棒校正により制御棒価値の理解を 深める。 (46 Van Rooijen Willem Frederik Geert) (55 中島 恭平) 原子炉物理学 原子力の基本となる中性子と原子核の核反応に基づいて原子炉の物理的 な特徴を勉強する。原子炉の臨界,中性子束,出力分布,動特性を勉強する。原子炉の臨界,中性子束,出力分布,動特性を勉強する。原子炉の核燃料消費,核変換,長寿命放射性廃棄物の原因について学 5. 次世代炉システム (概更) オムニバス方式 国際団体「Generation IV International Forum」に提案されている次世 代炉の基本と特徴を学ぶ。特に,核変換の燃料サイクルの観点から期待される液体金属冷却炉(ナトリウム冷却炉,鉛ビスマス冷却炉)に集中し, 水素生産に期待される高温ガス炉の特性を勉強する。 (オムニバス方式/全15回) (106 大平 博昭/10回) 第1回 太陽エネルギーと原子力エネルギー 第2回 高速増殖炉システム設計(炉物理) 第3回 高速増殖炉システム設計(熱流動) 第4回 高速増殖炉システム設計 (構造) 第5回 高速増殖炉機器設計 第6回 高速增殖炉安全設計 第7回 高速増殖炉開発の歴史 第8回 ナトリウム冷却高速炉 ナトリウム冷却高速炉の伝熱流動解析 第9回 第10回 その他の液体金属冷却高速炉 (46 Van Rooijen Willem Frederik Geert/5回) 第11回 VHTR (高温ガス炉) と高温運転の原子炉 第12回 PBR (Pebble Bed Reactor) 第13回 SCWR (超臨界圧軽水炉) 第14回 MSR/MSBR (溶融塩炉) 第15回 Generation-IVと次世代炉のまとめ

- 13 -

展示力を重プラントにおける活動、信勢の基礎を学び、気能工利欲の特 数 交合部の概要、プラントの常業無及び消費室化、さらに事故時の 機能でついて関係する。 (アムニベスアメー会169) 第回 第年京 日、71回) 第回 第4下の基理(1、港体の建設的性質、基礎が設式) 第回 第1下の基理(2、12年の表理)(2、12年の表理的性質、基礎が設式) 第回 4年大学の基础(1、形件等と対視影響に) 第回 4年大学の基础(2、20回) 第回 4年大学の基础(2、20回) 第回 20年末上や多様(3、20回) 第回 20年末上や多様(3、20回) 第回 20年末上や多様(3、20回) 第回 20年末上や多様(3、20回) 第回 20年末上や3年前 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 第11回 3年20年的 1日 3年10年的 第11回 3年20年的 1日 3年10年的 第11回 3年20年的 第1回 4年20年的 第1回 4年20年的 第10年30年的 第10年30年的 第10年30年的 第10年30年30年30年30年30年30年30年30年30年30年3	ı	I	熱水力安全工学	(概要)	オムニバス方式
現象について理解する。 (イメニバス方式/全自四) (108 歌呼原 高一/7回) (108 歌呼原 高一/7回) (28 第1			然外刀女王工于	原子力発電プラントにおける流動、伝熱の基礎を学び、気液二相流の特	7 4 - 7 17 17 1
(108 泰野原、 語一 77回) 第1回 原本2子の業常 7 77回) 第1回 成本2子の素で 1、流体の基础的性質、基礎方程式) 第2回 流体2子の基礎 (1、流体の基础的性質、基礎方程式) 第2回 流体2子の基礎 (1、粉色準と対域熱伝達) 第3回 総数1二次の基礎 (1、粉色準と対域熱伝達) 第3回 監禁1一 2 70回 (2 7年間) 第3回 監禁1 7 7年間 2 7年間 (1 7年間) 第3回 監禁1 7 7年間 (1 7年間) 第4 7 7年間 (1 7年間) 第5 1 9年間 (1 7年間) 第6 1 9年間 (現象について理解する。	
第2回 液体工作の基礎 (2 基礎、方能力、資格の流統的性質、基礎方程大) 第3回 域性工作の基礎 (2 基礎、物体工作の基礎 (3 基本) 第5回 不整元字の基礎 (1 基本) 第6回 长数元字の基礎 (1 基本) 第6回 长数元字の基礎 (2 基础) 第6回 长数元字の基礎 (2 基础) 第6回 长数元字の基礎 (3 基本) 第6回 长数元字の基礎 (3 基本) 第6回 长数元字の基礎 (3 基本) 第6回 大数元 無理之 安定條所 第6回 大数元 無理の形力損失 第1回 政安定機動 第12回 不安定機動 第13回 配量 第12回 不安定機動 第13回 配量 第12回 不安定機動 第13回 配量 第12回 不安定機動 第13回 配量 第12回 不安定機動 (2 基本) 第14 中央 大型 大型 (2 基础) 第15 中央 大型 (2 基础) 第16 中央 大型 (2 基础) 第17 中央 大型 (2 基础) 第18 中央 大型 (2 基础) 第19 国 建筑				(108 歌野原 陽一/7回)	
第4回 然工学の基礎 (1. 熱伝導と対応熱伝達) 第5回 伝統工学の基礎 (2. 独向対流と自由対流、私流熱伝達) 第5回 伝統工学の基礎 (2. 独向対流と自由対流、私流熱伝達) 第5回 最近 表示の数点 (2. 独向对流と自由对流、私流热伝達) 第5回 最近 表示的数点 (2. 独向对流 (2. 独向				第2回 流体工学の基礎 (1. 流体の基礎的性質, 基礎方程式)	
等回 伝教工学の基礎 (2. 強制対流と自由対流、乱流熱伝達) 第四				第4回 熱工学の基礎	
24 渡辺 正ノ9回) 第年回 2歳元相志と安全解析 第9回 二相派の肝力損失 第1回 海療 第1回 東連計価と統計評価 第1回 東連計価と統立 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 2				第6回 伝熱工学の基礎 (2. 強制対流と自由対流, 乱流熱伝達)	
第9回 二和流の圧力損失 第1回 清職 第1回 不安定流動 第1回 医系统 第1回 安全解析と安全経備 第1回 最高於値と統計評価 ※ 数				(24 渡辺 正/8回)	
第1回 海際 第1回 海際 第1回 安全保険 1				第9回 二相流の圧力損失	
原子力材料学特論				第11回 沸騰	
原子力材料学特論 放射線と物質の相互作用による照射下材料学動の知識を元に、中性子照射				第14回 安全解析と安全評価	
専攻 大阪・金田県上、原子力材料の寿命評価事法・分配診断法・予防ン対 法指置主法を学ぶ、本講義より原子力材料の高経年化対策や次世代原子力 材料の課題対応策を習得する。 核燃料工学特論 (概要) 原子力発電に使用される様々な核燃料について、主要なセラミックス燃料・金融燃料を中心として、新型燃料を含めて、その化学と被覆管との相互作用を継続し、原子庁のでの照射挙動を学ぶ。本講義を通じて、燃料設計・新型燃料開発への実践力を高める。 (オムニバス方式・全15回) (19 有田 裕二/7回) 第1回 議案内容説明と統料を確認(発語)第5回 校監内を延伸性上第5回 校監と経料(実語)第5回 燃料の基礎物性上第5回 原型と燃料(実語)第5回 燃料の基礎的性 第5回 原型と燃料(実語)第5回 燃料の基礎的性 第5回 原料学動 3 第10回 照射学動 1 第5回 原料学動 3 第10回 照射学動 3 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 3 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 3 第10回 照射学動 1 第10回 照射学動 1 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 2 第10回 照射学動 4 第12回 成本 4 第12回 成本 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5				第15回 最適評価と統計評価	
専攻 大阪・金田県上、原子力材料の寿命評価事法・分配診断法・予防ン対 法指置主法を学ぶ、本講義より原子力材料の高経年化対策や次世代原子力 材料の課題対応策を習得する。 核燃料工学特論 (概要) 原子力発電に使用される様々な核燃料について、主要なセラミックス燃料・金融燃料を中心として、新型燃料を含めて、その化学と被覆管との相互作用を継続し、原子庁のでの照射挙動を学ぶ。本講義を通じて、燃料設計・新型燃料開発への実践力を高める。 (オムニバス方式・全15回) (19 有田 裕二/7回) 第1回 議案内容説明と統料を確認(発語)第5回 校監内を延伸性上第5回 校監と経料(実語)第5回 燃料の基礎物性上第5回 原型と燃料(実語)第5回 燃料の基礎的性 第5回 原型と燃料(実語)第5回 燃料の基礎的性 第5回 原料学動 3 第10回 照射学動 1 第5回 原料学動 3 第10回 照射学動 3 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 3 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 3 第10回 照射学動 1 第10回 照射学動 1 第10回 照射学動 4 第12回 原料学動 2 第10回 照射学動 4 第12回 成本 4 第12回 成本 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5 年 5			原子力材料学特 論	放射線と物質の相互作用による昭射下材料※動の知識を示に 中性子昭	
技統料工学特論 (概要) (概要) 原子力発電に使用される様々な技感料について、主要なセラミックス機 オムニバス方式 原子力発電に使用される様々な技感料について、主要なセラミックス機 ターカル 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			WH 1 1 1-11 14 FW	射による材料照射損傷素過程から損傷組織発達過程による照射効果・照射	
原子力発電に使用される様々な核燃料について、主要なセラミックス燃料・金属燃料を中心として、新型燃料を含めて、その化と被覆管との相互作用を理解し、原子炉内での照射挙動を学ぶ。本講義を通じて、燃料設計、新型燃料開発への実践力を高める。 (オムニバス方式/全15回) 19 第1回 議義内容説明と核燃料基礎 第2回 被終料の基礎物性 1 第3回 炉型と燃料 (英語) 第4回 核燃料の基礎物性 2 第6回 燃料製造 1 無対 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1					
原子力発電に使用される様々な核燃料について、主要なセラミックス燃料・金属燃料を中心として、新型燃料を含めて、その化と被覆管との相互作用を理解し、原子炉内での照射挙動を学ぶ。本講義を通じて、燃料設計、新型燃料開発への実践力を高める。 (オムニバス方式/全15回) 19 第1回 議義内容説明と核燃料基礎 第2回 被終料の基礎物性 1 第3回 炉型と燃料 (英語) 第4回 核燃料の基礎物性 2 第6回 燃料製造 1 無対 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1 1 第 1					
及	専		核燃料工学特論	10-2-17	オムニバス方式
# 1 科目		ネ		料・金属燃料を中心として、新型燃料を含めて、その化学と被覆管との相	
日 計	科	ギ			
(概要)	目	目		(19 有田 裕二/7回)	
第4回 核燃料サイクル概論(英語) 第5回 燃料製造と再処理 第7回 演習1 (燃料の物性基礎) (21 宇埜 正美/8回) 第8回 照射挙動1 第9回 照射挙動2 第11回 照射挙動4 第12回 減習2 (燃料の照射挙動基礎) 第13回 核燃料の事故時の挙動1 第14回 核燃料の事故時世界の挙動2 第15回 レポート作成 (概要) 原子力プラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に 必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1996年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学	群	群		第2回 核燃料の基礎物性1	
第7回 演習1 (燃料の物性基礎) (21 宇埜 正美/8回) 第8回 照射挙動 1 第9回 照射挙動 2 第10回 照射挙動 3 第11回 照射挙動 4 第12回 演習2 (燃料の照射挙動基礎) 第13回 核燃料の事故時の挙動 1 第14回 核燃料の事故時世界の挙動 2 第15回 レポート作成 「展子力プラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) 「6 桑水流 理/5回) 「6 桑水流 理/5回) 「7ラントの設計・製造・維持に必要な基礎知識として、材料強度、材料力学の基礎について講義する。 (45 大畑 道広/5回) 「1995年兵庫県南部地震以降、多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第4回 核燃料サイクル概論(英語)	
第8回 照射挙動 1 第9回 照射挙動 2 第1回 照射挙動 3 第11回 照射挙動 4 第12回 演習 2 (燃料の照射挙動基礎) 第13回 核燃料の事故時の挙動 1 第14回 核燃料の事故時世界の挙動 2 第15回 レポート作成 (概要) 原子力プラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に 必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第7回 演習1 (燃料の物性基礎)	
第10回 照射挙動 3 第11回 照射挙動 4 第12回 演習2 (燃料の照射挙動基礎) 第13回 核燃料の事故時の挙動 1 第14回 核燃料の事故時世界の挙動 2 第15回 レポート作成 「概要) 原子力プラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第8回 照射挙動 1	
第12回 演習2 (燃料の照射挙動基礎) 第13回 核燃料の事故時の挙動 1 第14回 核燃料の事故時世界の挙動 2 第15回 レポート作成 (概要) 原子カプラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第10回 照射挙動 3	
第14回 核燃料の事故時世界の挙動2 第15回 レポート作成 (概要) 原子カプラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第12回 演習2 (燃料の照射挙動基礎)	
I 原子カプラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				第14回 核燃料の事故時世界の挙動 2	
I 原子カプラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として,材料強度,材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学					
必要な基礎知識をオムニバスで講義する。 (オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として、材料強度、材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降、多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				(1)227	オムニバス方式
(16 桑水流 理/5回) 原子炉構造の設計・製造・維持に必要な基礎知識として、材料強度、材料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年長庫県南部地震以降、多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学			1		
料力学の基礎について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高 加速度の地震記録に着目し,地震動の持つ建物の破壊力特性について学 ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学					
1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高加速度の地震記録に着目し、地震動の持つ建物の破壊力特性について学ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				料力学の基礎について講義する。	
ぶ。 (44 川崎 大介/5回) リスク論の基礎を,リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				1995年兵庫県南部地震以降,多発している被害地震と蓄積されてきた高	
リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学				కం	
				リスク論の基礎を、リスクの概念およびリスク評価の具体例とともに学	

1 1		プラント安全工学基礎	(概要)	オムニバス方式
		Ⅱ	原子力プラントの設計,製造,維持,廃止措置,その他の安全性確保に 必要な基礎知識をオムニバスで講義する。	7 4 - 77 77 78
			(オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/8回) 原子炉の設計に用いられる有限要素解析を実施するのに必要な数値解析 の基礎を講義する。	
			(44 川崎 大介/7回) 原子力施設の廃止措置および環境修復,放射性廃棄物の処分の基礎知識 を与える。わが国における現状や海外の事例を通して,国際的な考え方お	
			よび課題について学ぶ。	
		原子力の安全性と地域 共生	(概要) 核燃料サイクル,次世代炉,放射性廃棄物の処理・処分,高経年化対 策,福井県の原子力行政などを各専門家から講義してもらう。更に非破壊 検査,構造健全性評価,破壊実験から成る構造安全実習を実施し,結果報 告会で議論する。原子力発電所を見学し,現場を体感する。	オムニバス方式
			(複数・オムニバス方式/全15回) (16 桑水流 理/7回) 原子力システム安全の概要,核燃料サイクルの高速炉の役割,軽水炉の	
	エネ		安全技術などについて講義する。施設見学として、高速増殖原型炉もんじゅ、日本原電敦賀発電所を訪問する。構造安全実習を実施し、構造健全性評価の妥当性を議論する。 (15 川本 義海/5回)	
	ルギー 科		放射性廃棄物の処理・処分、廃止措置の現状、福井県の原子力行政の歴 史について講義し、学生間で原子力の地域との共生について意見交換を行 う。 (42 鈴木 啓悟/3回)	
車	群		非破壊検査の概要を講義し、構造安全実習の1部として非破壊検査実習を 実施する。検査結果の妥当性について学生間で議論する。	
攻科目		原子力プラント設計工 学	構造設計に必須の知識として、有限要素法の基礎理論を理解し、適切に 有限要素解析を実施できるようになる。高速炉の設計を例として、考慮す べき破損形態と、それぞれの破損形態に対する設計法を学ぶ。原子力発電 プラントの安全性を確保するためには、構造物の変形や強度を正しく評価 しなければならない。本講義では、そのための基礎知識を与える。	
群		原 スカプラン1.個 △ エ	(概要)	オムニバス方式
		原子力プラント保全工学	(城安) 原子カプラントの維持に必要な構造安全性と高経年化対策の基礎を講義 する。	オムーハス万式
			(オムニバス方式/全15回) (109 福谷 耕司/7回) 原子炉構造材料の強度,照射劣化および環境劣化について,金属組織や 格子欠陥の観点から講義する。	
			(110 釜谷 昌之/8回) 原子炉構造材料の脆性破壊,延性破壊,疲労,応力腐食割れについて講 義する。	
		リスクマネージメント 概論	(概要) リスクマネージメントの観点から,原子炉システム,原子炉材料,熱流動,構造健全性,放射線防護,廃止措置の基礎を総合的に学習する。	オムニバス方式
	リスク		(オムニバス方式/全15回) (19 有田 裕二/2回) 核燃料サイクル・使用済燃料の毒性低減とそれらのリスクについて講義	
	マネー ジ 料 目 群		する。 (21 宇埜 正美/2回) 原子炉核燃料の概要を解説し、軽水炉および高速炉での実際の課題や核 拡散等のリスク管理について講義する。 (22 福元 謙一/1回)	
	メン		(22 個元 疎一/1回) 燃料被覆管の基礎を解説し、被覆管の設計とリスク管理について講義する。	
	F		(46 Van Rooijen Willem Frederik Geert/2回) 炉物理の基礎と概要を解説し、次世代炉の開発に向けた、原子炉のリスク管理について講義する。	

		リスクマネージメント概論	(24 渡辺 正/1回) 原子炉熱流動の概要と熱設計の基礎を解説し、熱流動システムによる事故時のリスクについて講義する。 (16 桑水流 理/2回) 原子炉構造の設計と維持の基礎を解説し、高経年化等のリスクとその対策について講義する。 (45 大堀 道広/2回) 地震と津波のメカニズムについて概要を説明し、それらのリスクに対処する方策について講義する。 (56 松尾 陽一郎/2回) 放射線のリスクについて解説し、生体への影響とその評価方法について講義する。 (44 川崎 大介/1回) 放射性廃棄物の処理および処分の概要を解説し、放射性廃棄物の処理および処分の概要を解説し、放射性廃棄物のリスクとその対策について講義する。放射線のリスクについて解説し、生体への影響とその評価方法について講義する。	オムニバス方式
		安全安心の熱流体工学	学部で学んだ熱流体工学(流れ学,伝熱学など)の基礎知識に基づいて,火災に関する燃焼,伝熱,煙流動現象に関する専門知識について学習する。身近な災害である火災を熱流体工学の視点でとらえ,その発生から成長,消火に至るまでに生じる様々な物理現象について学び,防災に役立つ知識を得ることを目標とする。	
専 攻 科	リスクマネー ジ	地震工学特論	1948年福井地震は震源が福井平野東縁の丸岡付近のいわゆる直下型地震であり、福井平野に位置するほとんどの村落で、家屋の倒壊率が60%以上という未曾有の被害が発生し、震度7を設定する契機となった地震である。このような壊滅的被害の要因はどこにあったのであろうか? 地震動は震源特性、伝播特性および地盤特性によって決定される。本講義ではそれぞれを特性づける震源断層の破壊メカニズム、地震動の減衰特性および地盤構造による反射・屈折と周波数ごとの増幅特性などを理解する。授業は、各項目について具体的な問題を想定し、その解を求める方法の解説の後、演習ならびに結果のプレゼンテーションを交えながら行う。	
群 群	ンメント科目群	国土・地域計画特論	地域・都市計画, まちづくり, あるいは各種社会資本整備にとっての最上位計画である国土計画に焦点をあて, 戦後の我が国の国土づくり(全国総合開発計画)の変遷とその総括, その帰結としての国土の現状と今後の課題, 新しい国土づくりの体制としての「国土形成計画」とそのもとでの全国計画・広域地方計画を, 講義とディスカッションを通して理解する。	
		原子力・エネルギー法 規	多岐にわたる原子力および放射線に関する法令について、その仕組みの要点を理解する。 潜在的危険性のある原子力を安全に社会の中で活用していくために法令等の様々な社会制度が必要であり、これを学習することにより、原子力利用の実践力を高める。	
		原子力規制	原子力規制に必要な安全評価と基礎となる事故現象や安全設備関連の知識を習得する。原子炉の構造,安全設計,事故事象の進展,原子力発電所緊急時活動レベルから防災対策を含む重大事故対策,国際的な関係などを系統的に学び,原子力規制に必要な素養を身につける。	
		放射線基礎I	放射性核種の性質, 壊変について, 放射平衡, 放射性物質の反応に関わる物理化学的基礎, 放射性核種を利用した分析手法などについて講述する。 (概要)	オムニバス方式
		放射線基礎Ⅱ	(城安) 放射線の物理過程・化学過程・生物過程の一連の反応の内容を理解し、 放射線の基礎を体系的に学習することを目的とする。また、原子力災害・ 放射線事故の特徴について学ぶ。	A ムーハヘ万式

		放射線基礎Ⅱ 放射化学特論	(オムニバス方式/全15回) (17 玉川 洋一/5回) 放射線物理学の基礎を学ぶ。放射線の種類とその相互作用について学習し、それらの放射線の持つ特徴を利用した検出方法について講義する。 (56 松尾 陽一郎/5回) 放射線による化学反応および生体応答の基礎を習得する。水の放射線化学、DNA損傷、修復について学習する。 (23 安田 仲宏/5回) 東京電力福島第一原子力発電所事故の教訓とその後の対策事例を中心にして、過去の原子力・放射線事故、および人体影響の基礎について学ぶ。 放射性核種の壊変と放射平衡、放射線と物質の相互作用、核反応につい	オムニバス方式
		从外记于作曲	が対は核種の象をと放射干関、放射体と初員の相互下角、核反応について詳述する。放射性核種の分離、放射化分析、トレーサー利用法など、放射化学の手法が分離、分析で応用される際の原理について理解する。	
		放射線化学・生物学特論	(概要) 有機物及び水溶液系,或いは生体試料に関する放射線化学初期過程及び 反応メカニズム,ならびに放射線生物影響,放射線防護について講義する。 (オムニバス方式/全15回) (20 泉 佳伸/7回) 有機物及び水溶液系,或いは生体試料に関する放射線化学初期過程及び 反応メカニズムについて講義する。 (56 松尾 陽一郎/8回) 放射線による生物影響と放射線の防護を理解するうえで重要な事項について講義する。	オムニバス方式
専 攻 科 目 群	リスクマネージメント科目群	原子力防災特論	(概要) 東電福島第一原発事故の教訓とその後の対策事例を中心にして、過去の原子力・放射線事故、放射線と人体影響について学ぶ。ケーススタディとして防災対策関連法令および対策の現状について最近の地震や水害など自然災害対策との対比により、問題点を議論できる素養を身につける。 (オムニバス方式/全15回) (23 安田 仲宏/10回) 原子力・放射線事故、放射線と人体影響、防災対策関連法令について講義する。 (45 大堀 道広/5回) 最近の地震や水害など自然災害対策について講義する。	オムニバス方式
	Ø+	放射線物理学・計測学	(概要) 放射線の検出原理と検出方法について学ぶ。 (オムニバス方式/全15回) (17 玉川 洋一/7回) 放射線と物質との物理的な相互作用について基本的なことからの詳しく解説を通して理解する。 ・原子核崩壊と放射線・放射性崩壊概要・荷電粒子と物質の相互作用 (ベーテの式)・ガンマ線と物質の相互作用・中性子と物質の相互座用・ 放射線検出器の種類と原理・放射線検出システム (55 中島 恭平/8回) 相互作用を用いた検出方法について詳しく学ぶ。計算機シミュレーションによる確認を行う。 ・放射線検出システムとデータ収集・データ収集システム・放射線と物質との相互作用を理解するためのシミュレーション・シミュレーションの設定と計算過程・計算手順と出力・結果の解析・統計的手法・まとめ	オムニバス方式
		放射線利用	(概要) 放射線は透過性、電離作用、減衰といった性質を持つため、工業や医療、農業など様々な分野で利用されている。これらの利用を実現させるための原理について学び、実際の応用について理解する。を実現させるための原理について学び、実際の応用について理解する。 (オムニバス方式/全15回) (20 泉 佳伸/5回) 放射線化学を学び、放射線による材料の改質・変化について理解する。 放射線を用いた材料の改質、高分子の架橋などの工業利用について学ぶ。 放射線の産業利用の際に重要となる放射線防護の基礎について学ぶ。 (23 安田 仲宏/4回) 放射線物理学および放射線による生体影響の基礎を学び、放射線がん治療の特徴について理解する。	オムニバス方式

	リスクマネージメント科目群	放射線利用 リスク評価特論 廃止措置・廃棄物管理 工学	(17 玉川 洋一/4回) レントゲン, X線CT, PET検査(陽電子放射断層撮影)の基礎および原理を学ぶ。一部, 実習を行う。 (56 松尾 陽一郎/2回) 放射線の生体効果を利用した殺菌, 突然変異を利用した育種技術について学習する。 リスク論に基づく一般的な安全の概念およびシステム安全工学を学ぶ。特に, 複雑なシステムのリスク評価において重要となる信頼性評価手法を, その基礎を構築する確率論や確率過程, 信頼性理論の関連トピックも含めて, 習得する。 原子力施設の運転や廃止措置で発生する放射性廃棄物の管理・処分に関する考え方や, 安全評価手法および安全確保の概念について学ぶ。放射性廃棄物の取り扱いや環境の問題について, 現状の知識を拡げるだけではなく, 自ら深く考える能力を身につける。	オムニバス方式
	41+	原子力·耐震耐津波工 学特論	国内外の地震や津波の被害事例を学ぶとともに、観測事実の解明を通じて発展してきた近代地震学の到達点や、将来の巨大地震・巨大津波に対する災害を軽減するための課題や問題点について学ぶ。このほか防災関連技術の社会実装や技術移転を意図した大型研究プロジェクトの動向も学ぶ。	
専 攻 科 目 群	安全設計科目群	安全設計概論	(概要) 社会インフラやエネルギー利用システムで用いられる構造物や製品の安全を実現するための機械・電気・建築・土木・環境に関わる設計技術の概要を解説する。 (オムニバス方式/全15回) (2 鞍谷 文保/2回) 製品安全を実現するための設計手法、並びに機械製品および構造物の振動・騒音問題およびそれらの特性の解析・測定法を概説する。 (4 山田 泰弘/1回) 機械システムのモデリング、シミュレーション、最適化についての概要を解説する。 (30 川谷 亮治/1回) フィードバック制御の基礎を紹介するとともに、いくつかの実例を通して、制御理論の必要性ならびに有用性を紹介する。 (29 川井 昌之/1回) 工場や我々の日常生活におけるロボットや自動制御機器の導入状況や安全面に対する法的整備状況の概要を解説する。 (49 吉田 達哉/1回) 製品の設計・機発・評価に用いられているマルチボディダイナミクス解析に関しの設計・機発・評価に用いられているマルチボディダイナミクス解析に関しの設計・機発・評価に用いられているマルチボディダイナミクス解析に関しの設計・機発・評価ではないということを前提とした強度評価の概要を解説する。 (18 飯井 俊行/1回) 実際の構造物が無欠陥ではないということを前提とした強度評価の概要を解説する。 (11 石川 浩一郎/1回) 未造住宅や学校体育館の避難所としての概要を解説する。 (11 石川 浩一郎/1回) 株造の声炎を解説する。 (12 礙 雅人/1回) 鉄筋コンクリート構造物を対象とした建築および土木構造物について、安全に設計・施工、維持管理するための手法について解説する。 (50 寺崎 明女上、上圧、支持力、斜面安定など地盤工学における場中なに間が表別を対しましまが表別を対しませが表別である。 (59 寺崎 寛章/1回) 近年の大の青成がよりまでは関連を取り上げ。それらの安定性を評価するための防災技術、今後の防災対策などを概説する。 (10 明石 行生/1回) 最新の省にネルギー・低炭素建築の事例や高効率な換気・空調設備に関する技術を紹介するとともに、それらを評価するための測定手法や解析手法について説明する。	オムニバス方式

		安全設計概論	(50 西本 雅人/1回) ふくい建築賞を受賞した事例を元に福井県内の建築設計について意匠・計画の特性を解説する。 (15 川本 義海/1回) 車社会における交通安全問題を取り上げ、社会を取り巻く環境を背景としてその現状と課題を概説する。また事故削減に向けたハード・ソフト両面の安全対策の考え方とその実情を示すとともに、今後の展望について概説する。	オムニバス方式
		計算機援用制御系設計	制御理論は現代の技術者が身につけておくべき分野の一つである。学部における講義では、座学が中心であった。しかし、より深く理論を理解するためには、解析ならびに設計の実体験が必要となる。本講義では、制御系解析・設計をサポートするソフトウェアの一つとして Scilab を取り上げる。最初に、その利用法を紹介した後、いくつかの実例を通して、古典制御から現代制御さらにロバスト制御に至る理論を講述するとともに、それと並行して演習を行うことで、使える制御理論の習得を目指す。	
		機械システム工学	機械システムのモデリング、シミュレーション、シミュレーション環境の構築法、最適化手法について、専門知識を修得する。2次元グラフィックスの基礎と応用、2次元シミュレーションの基礎と応用、3次元グラフィックスの基礎と応用、3次元シミュレーションの基礎と応用を修得し、機械システムの課題に取り組んで実践的スキルを身に付ける。	
	安	機械動力学	機械システムの運動学および動力学を解析するための基礎的な知識について講義を行う。機械システムを構成する複数の剛体の運動方程式を構築するための知識を習得することを目標とする。また、構築した運動方程式を数値計算するためのシミュレーションプログラムを作成する際に必要となる数値計算手法とその特性を理解することを目指す。最終レポート課題として、シミュレーションプログラムを作成することで講義内容の理解をより深める。	
専 攻 科 目	全設計科	破壞力学	本講義では「き裂の力学」を、破壊力学に特有のき裂先端近傍で支配的な特異応力場の概念およびエネルギーバランスに基づいて解説し、き裂の健全性評価を行う場合に必要となる応力拡大係数、J積分、CTOD、エネルギー解放率などの破壊力学パラメータの意味と役割について解説する。	
群	群	破壞力学実習	破壊力学の理解を確実なものとするため、本実践科目では材料の「破壊 靱性値」を求める実験に対応するき裂試験片の弾塑性有限要素解析を行 い、破壊力学パラメーター評価をできるようになることを目標とする。	
		ロボット工学	この講義では、ロボット工学の基礎理論とロボットを動かすためのハードウェアの基礎知識について学習するとともに、これからの社会におけるロボットの活用方法などについて議論できる能力の習得を目標とする。ロボット工学の基礎理論では座標変換、運動学、静力学、動力学などの数学的な理論を学習し、ハードウェアの基礎知識では、ロボットに用いられる一般的なセンサー、アクチュエータ、計算機システムについて学習する。また、ロボットの実際の応用事例を参照しながら議論を行うことで、これからの安全・安心な社会の実現に向けたロボットの活用方法などについて議論できる能力を養う。	
		回路・システム論	線形および非線形電気回路を中心に連続時間力学系について,システムの常微分方程式を用いた定式化の手法とその解析法について学ぶ。線形システムにおいてはその可制御性,可観測性,安定性等を解析できるようにする。非線形システムにおいては,リアプノフ法等のエネルギー的アプローチやボアンカレ写像を用いた幾何学的手法により,平衡点や,周期解の安定性について議論する。また,回路・システムに関する英語文献を読み,専門的な英語に親しむ。	
		システム制御論	あるクラスの凸最適化問題と深く関わる線形行列不等式 (LMI) について概説した後、線形常微分方程式で表される動特性を有するシステムの安定性、有界実性、正実性などの基礎的諸性質を線形行列不等式を通した観点から詳しく解説する。最後にこれらの結果が凸最適化を通してシステム解析、ロバスト制御系設計などの応用とどのように関わってくるかを概説する。以上の解説を通して、学生に諸概念の理解を深め新しい知識を習得してもらうことが目標となる。	

暗号と情報セキュリ ティ	本講義の目的は、情報通信システムに不可欠となった情報セキュリティ技術の中核をなす暗号技術に関する知識の提供であり、その理論的基礎と代表的な方式、さらに、最近の話題について講義する。まず初めに、暗号方式の理解に必要な代数、整数論に関する結果や諸定義について講義する。次に、共通鍵暗号、公開鍵暗号、ハッシュ関数、ディジタル署名、個人識別、秘密分散共有など種々の暗号方式について、それらの原理、アルゴリズム、安全性について述べる。	
構造振動解析	現実に近い構造物の振動問題を解析するための多自由度振動系および連続体の振動解析法さらに振動測定とそのデータ処理法を講義する。基礎理論として、理論モード解析および実験モード解析を説明する。加えて、実問題の解析に用いられる有限要素法による振動解析を説明し、知識の発展を目指す。教科書および配布資料を基に授業を進める。授業の理解度を確認するために、授業中に演習を行う。さらに、解析実習(グループワーク)を組み込むことで、授業内容の理解を助ける。	
建築構造設計学	鉄筋コンクリート建物を例題として、許容応力度設計法、保有耐力設計 法について学習するとともに、建物全体の構造のあり方、つまり構造計画 について学習する。	
建築耐震構造解析学	建物の耐震構造の歴史や地震に対して安全な建物、耐震設計における安全性の考え方、免震・制震についての知識を修得する。また、弾性及び弾塑性応答スペクトルや建築構造物の弾性及び弾塑性地震応答解析、建築構造物の地震応答と地震力等の耐震構造解析法も修得する。そして、建築構造物の性能設計で必要となる目標性能の設定や性能の検証、性能の表示、応答値等についても学び、性能規定型設計法を理解する。	
安 建築都市設計論 全 設 計	建築都市設計に関して、建築を設計図書にまとめていく上で必要となる 理論や技法について学習する。理論は人間工学、建築プログラミング、地 域ブランディングを、技法はディテール、建築プレゼン、規模計画などを 中心に扱う。今までの設計課題で得た知識や取り組みに加えて、建築を現 実的に実現させるために必要な理論や応用力を習得する。	
料 地盤解析学 目 群	「土」は、土粒子・水・空気の三相から構成される混合自然材料であり、条件や状況に応じて多様で複雑な挙動を示す材料である。地盤工学では、このような材料を取り扱うために、特有のモデルや解析手法が発展してきた。この講義では、圧密と斜面安定問題の古典的解法を題材に数値解析の基礎を学ぶ。	
環境水理学	流域圏における水理現象や水循環を基礎とし、それらと密接に関係する 熱・水分および物質の移動の理論に関わる諸問題を学ぶとともに、その流 域圏を対象とした地下水の利用と保全、地下水流動を考慮した総合的な流 域圏環境を保全・改善するため技術を概説する。	
交通論	真に豊かで持続的な社会を築いていくために交通環境は今後どのようにあるべきか、また私たちは具体的に何に取り組むべきか、二十一世紀の交通社会におけるデザインの力とその役割を理解する。また過去、現在、そして未来を俯瞰し、望ましい交通社会を創造していくための議論を通じて技術者としての表を深める。さらに交通計画を通して人類の持続的な発展に寄与できる方策を主体的に企画立案し評価するための基本的能力を養う。 以上により、都市、国土に及ぶ生活空間について、それらを構成する社会基盤をはじめとするハード面、また社会システムや市民といったソフト面の両面から持続可能で豊かな社会空間の形成を実現していくための理論とその実践方法について学修する。	
建築換気力学	建築環境工学に関する知識を基に、地球的視野でアメニティ環境設計を実践する能力を養成する。具体的には、自然換気建物における換気量予測を行うための換気設計手法の知識及び実践能力を習得し、多角的な視点から実用的な設計を行うことを目標とする。講義と演習の両方を盛り込み、グループごとにテキストの割り当てられた担当箇所(連続多数室の換気計算法、圧力仮定法による逐次計算法、流量仮定法による逐次計算法、換気の多様性など)を読み込み、講義時間中に学生自らが他の学生に対してMS Powerpoint等を用いて議論を行う。最終的には、全員が中間課題と最終課題において、MS Excelを用いた演習課題に取り組む。	

攻科目群

		光環境工学特論	視覚・色覚のメカニズムについて理解するとともに、光環境の条件が人間の視作業性、快適性、行動にどのように影響を及ぼすかを理解する。また、その知見が実際の光環境工学においてどのように応用されるかを理解する。	
		原子力工学基礎 I	(概要) 放射線から原子炉内での中性子による核分裂までの原子力工学の基礎について学ぶ。講師はJNENに参加している大学に所属する教員が担当し、NETで双方向配信する。内容としては、原子力初学者にもわかりやすい初歩的なものから専門的なものまで幅広く学ぶものとする。	オムニバス方式
専	安全		(オムニバス方式/全15回) (20 泉 佳伸/2回) 核・放射化学の基礎 放射能・放射線の基礎 (17 玉川 洋一/3回) 放射線と環境 放射線計測 (56 松尾 陽一郎/1回) 放射線の人体への影響 (23 安田 仲宏/1回) 放射線健康科学 (55 中島 恭平/6回) 原子校の基礎的性質 核反応 核交裂 核変換 (22 福元 謙一/1回) 軽水炉発電の基礎工学概論 (19 有田 裕二/1回) 原子力研究開発の最前線	
攻	設	原子力工学基礎 II	(概要)	オムニバス方式
科	計		核燃料サイクルや廃止措置等の原子力工学の基礎について学ぶ。講師は JNENに参加している大学に所属する教員が担当し、NETで双方向配信する。	7 44-7 17 77 34
目	科		内容としては、原子力初学者にもわかりやすい初歩的なものから専門的なものまで幅広く学ぶものとする。	
群	目		(オムニバス方式/全15回)	
	群		(19 有田 裕二/7回) 原子炉工学・核燃料サイクル概論:核燃料サイクル,原子炉の仕組み,構成,放射性廃棄物, 高速增殖炉 エネルギー問題:原子力エネルギーなどの課題について解説し,エネルギーに関する問題意識を醸成する。日本・世界のエネルギー政策:日本と世界のエネルギー政策を理解する。また,世界のエネルギー事情を理解する。同位体分離 高速増殖炉サイクル概論:高速増殖炉燃料サイクル,軽水炉との違いや特徴原子力の安全性:安全の確保はどのように達成するのか,最近の国内および国際動向について講義する。 再処理プロセルの化学と工学:再処理の意義,溶媒抽出の基礎理論,アクチニド及び核分裂生成物の基礎分配特性及び分配挙動,初歩PUREX工学,放射性廃棄物について解説する。 (21 宇埜 正美/8回) 核種分離技術:分離変換の意義,高レベル廃液の特性,MA(Am,Cm)及びFP(Cs,Sr他)分離化学の基礎,群分離技術分離積分解技術。分離到用技術の最先端:有用核種の分離/変換/利用概念,希少金属FP,発熱性FPの分離利用技術等の先端的分離研究放射性廃棄物地層処分技術の利活用:放射性廃棄物の地層処分に関係する様々な技術開発の動向と、その応用について解説 地層処分システム論:放射性廃棄物管理に関する基本的概念や地層処分システムの科学,安全評価の方法論に知いて紹介日本列島の対方がに対と地質環境の長期安定性:地層処分の安全評価で考慮すべき自然現象や最新研究を紹介する。 深地層の研究施設と地質環境調査評価技術:深地層の研究施設や地質環境電音評価手法を概観する。 地層処分の安全評価手法を概観する。	

(研究指導)

(概要

指導教員の指導のもと, 先行研究の調査や予備実験等を行い, をふまえて修士論文テーマの具体的かつ詳細な研究背景・研究目的・研究 目標・研究計画を策定する。さらに、研究計画に沿って修士論文の研究を遂行し、修士論文としてまとめる。これらを通して、修論研究に関する専 受ける。 門知識を獲得し、さらに情報を収集・分析・整理し問題を解決する問題解 決能力及びプレゼンテーション能力を身に付ける。

(2 鞍谷 文保)

数値解析と実験解析を併用した手法を用いて、振動・音響工学に関する 課題の研究指導を行う。

(4 山田 泰弘)

安全社会基盤を高度化するための次世代型機械システムの研究課題を対 象として,研究指導を行う。

(32 田中 太) 理論解析,模型実験,数値シミュレーションなどの手法を用いて,トン ネル火災時における煙流動や火災拡大性状などに関する課題の研究指導を

(31 酒井 康行)

量子化学および化学反応の統計論的手法を用いて、内燃機関の燃焼が抱 える課題の研究指導を行う。

(3 永井 一郎)

沸騰や凝縮の気液相変化現象を用いた伝熱技術やエネルギー機器を対象 として, それらの現象解明や性能向上に関する研究指導を行う。

(29 川井 昌之)

人と機械の相互作用の観点から,人工現実感で用いる力覚提示やパワー アシスト機器に関する課題の研究指導を行う。

(1 太田 淳一)

マイクロバブルや微小粒子などを含む液である混相媒体に超音波を照射 した場合の各々の挙動の解明について研究指導を行う。

(28 太田 貴士)

数値シミュレーションの技術を用いた乱流のような複雑な流体現象のメ カニズム解明と予測、制御に関する課題の研究指導を行う。

(30 川谷 亮治)

現代制御理論を活用して、実システムに対する制御系設計ならびにその 実装に関する研究指導を行う。

(18 飯井 俊行)

数値解析と材料強度実験を通じて、実際の構造物が無欠陥ではないとい うことを前提とした強度評価の高度化に関する研究指導を行う。

(5 小原 敦美)

数理モデルに基づくシステム制御・最適化の理論的な方法とそれらの実 応用に関する研究指導を行う。

(6 葛原 正明)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバ イス応用に関する課題の研究指導を行う。

(7 橋本 明弘)

分子線エピタキシャル(Molecular Beam Epitaxy: MBE)法及び有機金 属気相成長 (Organometallic Vapor Phase Epitaxy: OMVPE) 法を用いた III族窒化物半導体及びナノカーボン材料の結晶成長及びその太陽電池応用 に関する研究指導を安全社会基盤工学特別演習及び実験Iに引き続き修士 論文の完成に向けて行う。

(9 福井 一俊)

半導体デバイス材料の物理的性質を主に光学的手法で明らかにすること を目的に、実験手法や解析方法を身に付けさせるための研究指導を行う。 (8 廣瀬 勝一)

暗号方式の設計,安全性解析および実装に関する課題の研究指導を行

(38 Asubar Joel Tacla)

化合物半導体バルク中やヘテロ界面における電子輸送現象の解明とデバ イス応用に関する課題の研究指導を行う。

(37 伊藤 雅一)

次世代電力システムにおける再生可能エネルギーシステムの制御、導入 に関する課題の研究指導を行う。

(33 王 栄龍)

ソフトコンピューティングの技術を用いて, 最適化問題に関する課題の 研究指導を行う。

(36 木村 欣司)

計算機代数,数値計算について,高効率,高精度の行列演算アルゴリズ ムとそのソフトウェア実装に関する研究指導を行う。

(34 坂口 文則)

有理関数の波束の組を正規直交基底に用いて整数の四則演算だけで微分 方程式が解く手法や、それを利用した微分作用素の固有値の整数型高確度 計算法について,研究指導を行う。 (35 茂呂 征一郎)

電気・電子回路およびそれらを用いたシステムの設計・解析等をとおし て、非線形理論の工学的応用に関する研究指導を行う。

(58 重信 颯人)

次世代電力システムの配電系統におけるエネルギー運用に関する課題の 研究指導を行う。

(研究指導)

(10 明石 行生)

社会背景の調査と文献調査に基づいて明らかにした課題を解決するため の実験またはコンピュータシミュレーションを計画・実施し、論文を執筆 するために研究指導を行う。

(11 石川 浩一郎)

金属系及び木質系建築構造物の静的及び動的弾塑性解析や実験等を用い て、耐雪性能評価や耐震・制振等の性能設計の課題の研究指導を行う。

(12 磯 雅人) 鉄筋コンクリート造建物の設計・施工・維持管理に関する様々な課題・ 問題に対して、実験および解析等を通じて、それらを解決・克服するための開発・提案ができるように研究指導を行う。

(13 小嶋 啓介)

地域の三次元地下構造の解明を目的とし, 地盤の振動計測情報から弾性 波速度構造を求める方法等に関する応用的研究指導を行う。

(14 野嶋 慎二)

具体的なプロジェクトに取り組み,実践や提言を通して,都市計画及び まちづくりの計画技術を習得し、望ましい都市構造と自律的な都市再生の方法論を研究課題とし、包括的な計画技術の研究指導を行う。

(39 井上 圭一)

建築構造物や構造部材の力学的挙動の解明や構造性能の評価法などに関 して解析や実験を用いた研究指導を行う。

(15 川本 義海)

道路空間の利活用、冬期の道路交通確保、安全安心な交通環境づくり 公共交通の維持及び活性化、原子力と地域との共生に関する課題の研究指 導を行う

(40 菊地 吉信)

フィールドワーク, 統計分析等の手法を用いて, 住環境計画, 居住政 策,都市計画の諸課題に関する研究指導を行う。

(42 鈴木 啓悟)

構造物の維持管理向上を目的とする研究課題について, 構造物モニタリ ング, 構造耐荷力, 非破壊評価に関する研究指導を行う。 (43 原田(山形)陽子)

人口減少時代における低未利用地の創造的活用による住環境や生活の質 の向上に関する研究指導を行う。

(51 藤本 明宏)

冬期道路における路面凍結問題を取り上げ、凍結予測や凍結防止剤散布 の効率化の課題の研究指導を行う。

(53 桃井 良尚)

熱・空気環境の分野について、専門書の輪講および最新論文の調査を行 わせ、環境設計に用いる定量的評価指標について習得させる。それらの評 価指標を算出するための現場測定方法や測定技術の現状を把握させる。学 生には、これらの測定機器を用いて、実務的課題の解決に取り組ませる。 また、測定機器を使用するにあたって重要な機器の取り扱い方や注意点、 機器の較正方法についても習得させる。

(54 山田 岳晴)

日本建築史・文化財学に関する調査結果・史資料等をまとめ、課題につ いて解明し、学術的に適切に表現するための研究指導を行う。 (17 玉川 洋一)

小型原子炉ニュートリノモニターの開発について研究指導を行う。

(16 桑水流 理)

構造材料の強度に関する知識を身に付けさせ、実験力学および計算力学 の手法を用いた新しい評価・設計方法について研究指導を行う。

(44 川崎 大介)

放射性廃棄物処分や廃止措置における計算機シミュレーションを用いた 安全評価手法の高度化を課題とし、放射性廃棄物管理の安全確保及び合理 化に関する研究指導を行う。

(56 松尾 陽一郎) 放射線の被ばくによる生体応答・影響の解明について研究指導を行う。 (55 中島 共平)

放射線計測技術を用いた素粒子・原子核実験について研究指導を行う。

(19 有田 裕二) 核燃料サイクル,新型炉,燃料デブリに関する知見を調査させ,関連材 料評価に対する物性論的研究指導およびプレゼン指導を行う。

(21 宇埜 正美)

燃料ペレットと被覆管からなる燃料について、通常運転時および事故時 の熱的 性質および機械的性質について、模擬物質を用いた実験や熱力学 計算等により理解するとともに、その評価方法を習得する。

泉 佳伸)

放射線の生体分子及び細胞への影響について理解させ、培養及び試料精 製・作製、照射、分析、データの取り扱い等の一連の研究指導を行う。 (24 渡辺 正)

原子炉事故時の熱流動現象について理解させ、安全評価解析の高精度 化、事故管理の最適化、応用解析技術について研究指導を行う。

(22 福元 謙一)

照射下における材料挙動の素過程や原子力材料の照射効果・照射損傷に ついて,中性子・イオン・電子照射を用いた実験や現象論模擬シミュレ ション・速度論計算等を用いて理解し、材料健全性評価や予防/対応措置 手法を習得する

(23 安田 仲宏)

原子力災害に強い地域連携について研究指導を行う。

	(46 Van Rooi jen Willem Frederik Geert) 原子炉の安全設計と安全運転のための基礎研究:(1)原子炉の数値解析手 法の開発,(2)原子炉の新たな分野への適用とその設計,(3)社会的な負担 を減らす原子炉の開発などの研究指導を行う。 (45 大堀 道広) 原子力施設の立地地域とその周辺自治体において,地震と津波に関する 被害事実・観測結果を調査させた上で,将来の災害軽減を目指した地震・ 津波の解析研究の指導を行う。	
--	---	--